

宮城県 栗原市
子ども・子育てに関するアンケート調査

集計報告書

平成31年3月

栗原市

目 次

I	調査概要	3
1	調査の目的と実施概要	3
2	集計結果を読む際の留意事項	4
3	集計結果概要	5
II	調査結果①（就学前児童）	25
II-1	お住まいの地域について	25
II-2	お子さんとご家族の状況について	26
II-3	子どもの育ちをめぐる環境について	31
II-4	保護者の方の就労状況について	39
II-5	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	49
II-6	地域の子育て支援事業の利用状況について	63
II-7	土曜・休日や長期休暇中の保育施設等の利用について	72
II-8	病気の際の対応について	77
II-9	一時預かり等の利用について	87
II-10	職場の両立支援制度（育児休業、短時間勤務等）について	97
III	調査結果②（小学校就学児童）	118
III-1	お住まいの地域について	118
III-2	お子さんとご家族の状況について	119
III-3	子どもの育ちをめぐる環境について	124
III-4	保護者の方の就労状況について	132
III-5	お子さんの放課後の過ごし方について	142

I 調査概要

1 調査の目的と実施概要

1. 調査の目的

本調査は、子ども・子育て支援事業計画の策定にあたり、住民の皆さんの意見等を収集し、計画の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 実施概要

本調査の対象及び配布、回収状況は、以下のとおりとなっています。

《 調 査 概 要 》

- 調査対象：就学前児童及び小学校就学児童のいる家庭
- 抽出方法：調査対象より無作為抽出
- 調査内容：1. お住まいの地域について（就学前児童・小学校就学児童）
2. お子さんご家族の状況について（就学前児童・小学校就学児童）
3. 子育て環境について（就学前児童・小学校就学児童）
4. 保護者の方の就労状況について（就学前児童・小学校就学児童）
5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（就学前児童）
6. 地域の子育て支援事業の利用状況について（就学前児童）
7. 土曜・休日や長期休暇中の保育施設等の利用について（就学前児童）
8. 病気の際の対応について（就学前児童）
9. 一時預かり等の利用について（就学前児童）
10. 職場の両立支援制度（育児休業、短時間勤務等）について（就学前児童）
11. お子さんの放課後の過ごし方について（小学校就学児童）
- 調査期間：平成30年12月～平成31年1月
- 調査方法：郵送配付・回収、または支所にて直接回収

○ 配付・回収：

対象	配付数	回収数	回収率
就学前児童のいる世帯	750 票	424 票	56.5%
小学校就学児童のいる世帯	750 票	427 票	56.9%

2 集計結果を読む際の留意事項

この調査の集計結果を読む際の留意事項は以下のとおりです。

《 留 意 事 項 》

- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で示しています。
- 調査結果の図表に示す「n」は「Number of case」の略で、構成比算出の母数、つまり、当該設問の回答者数（限定設問においては該当者数）を示しています。
- 設問には、当該設問に回答した人のみが答える「限定設問」があり、この場合の「n」（該当者数）は回答者数全数より少ない場合があります。
- 図表の構成比（百分率）は、回答者数（限定設問においては該当者数）を100%として算出しており、本文及び図表の構成比（百分率）は小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。
(※四捨五入のため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても各比率の合計が100.0%とならない場合があります。)
- 複数回答の設問では、各比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「0.0」、「-」は、四捨五入の結果（0.05%以下）、もしくは回答者が皆無であることを示しています。
- 特定の項目（属性・設問）と該当設問との相互関係を明らかにする分析結果（クロス集計）においては、縦軸の「無回答」は表示していないため、回答全体の合計（母数）と合致しない場合があります。
- 単純集計、クロス集計ともに、抽出された構成比の母数（属性・設問毎の回答者数）が極端に少数となる場合、各比率は統計的な誤差の大きい可能性があるため、比率の取り扱いに注意する必要があります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中で省略した表現を用いている場合があります。

3 集計結果概要

1. 回答者の概要（就学前児童・小学校就学児童）

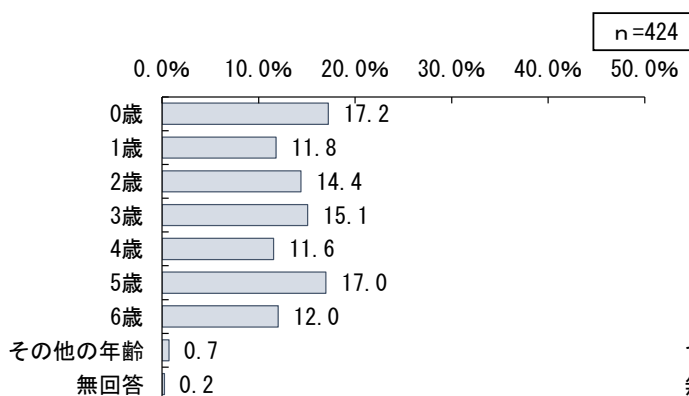
(1) お子さんの年齢・学年、きょうだいの数 【共通：問2、問3】（★前回比率、増減）

- ◎ 就学前児童のいる家庭の回答は、「0～2 歳児のいる家庭」が 4 割、「3 歳児以上のいる家庭」が 6 割を占めています。
- ◎ 小学校就学児童のいる家庭の回答は、「低学年」、「高学年」ともに 5 割となっています。

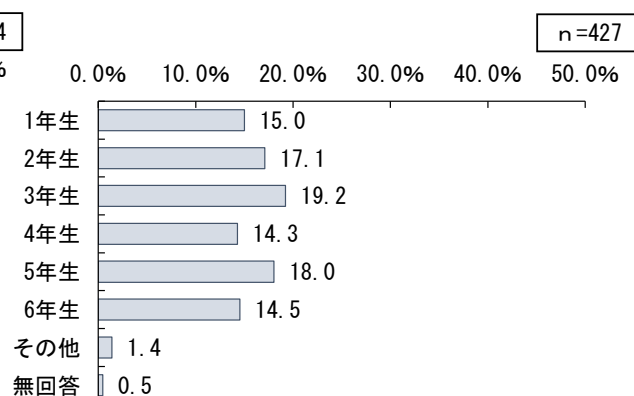
お子さんの年齢から就学前児童のいる家庭の回答は、「0～2 歳児のいる家庭」が 43.4%（★36.9%、+6.5 ㊦）、「3 歳児以上のいる家庭」が 56.4%（★63.1%、-6.7 ㊦）となっています。また、小学校就学児童のいる家庭の回答は、「小学 1～3 年生（低学年）」が 51.3%（★42.8%、+8.5 ㊦）、「小学 4～6 年生（高学年）」が 46.8%（★56.0%、-9.2 ㊦）となっています。

一方、きょうだいの人数について、就学前児童のいる家庭の平均は 1.96 人、小学校就学児童のいる家庭の平均は 2.30 人となっています。

図表 就学前児童の年齢



図表 小学校就学児童の年齢



図表 きょうだいの人数

	(単位：人)
就学前児童のきょうだいの人数（平均）	1.96 人
小学校就学児童の年齢のきょうだいの人数（平均）	2.30 人

※ 「n」は当該設問の回答者数（限定設問においては該当者数）を示しています。

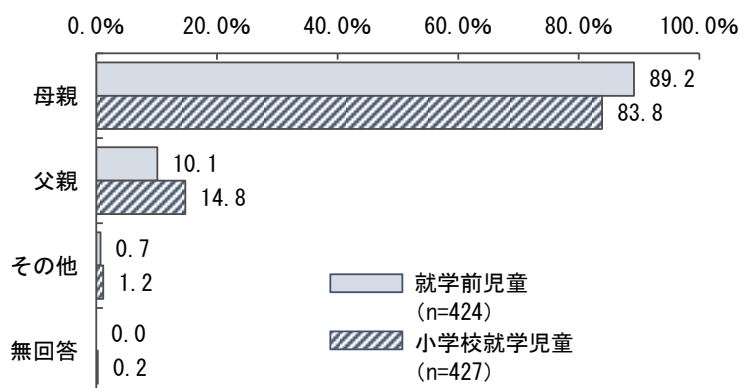
(2) 本調査の回答者・配偶者の有無 【共通：問4、問5】 (★前回比率、増減)

- ◎ 調査票への回答は、就学前児童・小学校就学児童のいる家庭ともに、8割以上が「母親」が回答しています。
- ◎ 配偶者の回答状況から就学前児童・小学校就学児童のいる家庭ともに、1割がひとり親家庭の回答とみられます。

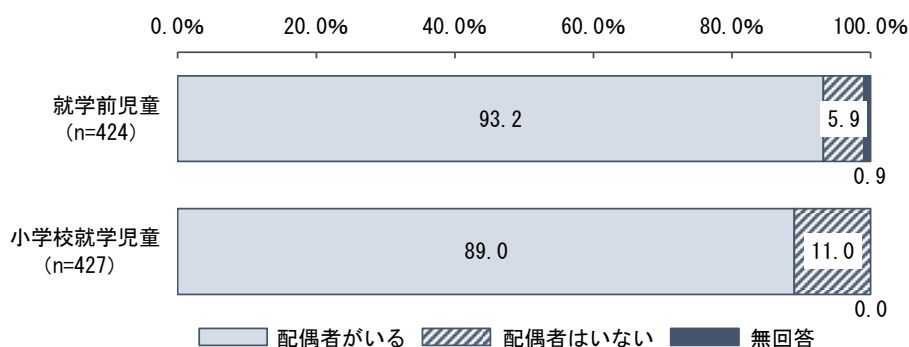
本調査での回答は就学前児童のいる家庭では89.2% (★84.1%、+5.1 ㊦)、小学校就学児童のいる家庭では83.8% (★81.3%、+2.5 ㊦) が「母親」の回答となっており、本調査では、特に子育て家庭における母親の視点からの回答が中心とみられます。

また、配偶者の有無から、ひとり親と考えられる家庭 (※配偶者がいないと回答した家庭) は、就学前のいる家庭で5.9% (★6.7%、-0.8 ㊦)、小学校就学児童のいる家庭で11.0% (★15.1%、-4.1 ㊦) となっています。

図表 回答者について



図表 配偶者の有無



2. 子どもの育ちをめぐる環境について（就学前児童・小学校就学児童）

（1）お子さんの子育てへの関わり 【共通：問7、問9】（★前回比率、増減）

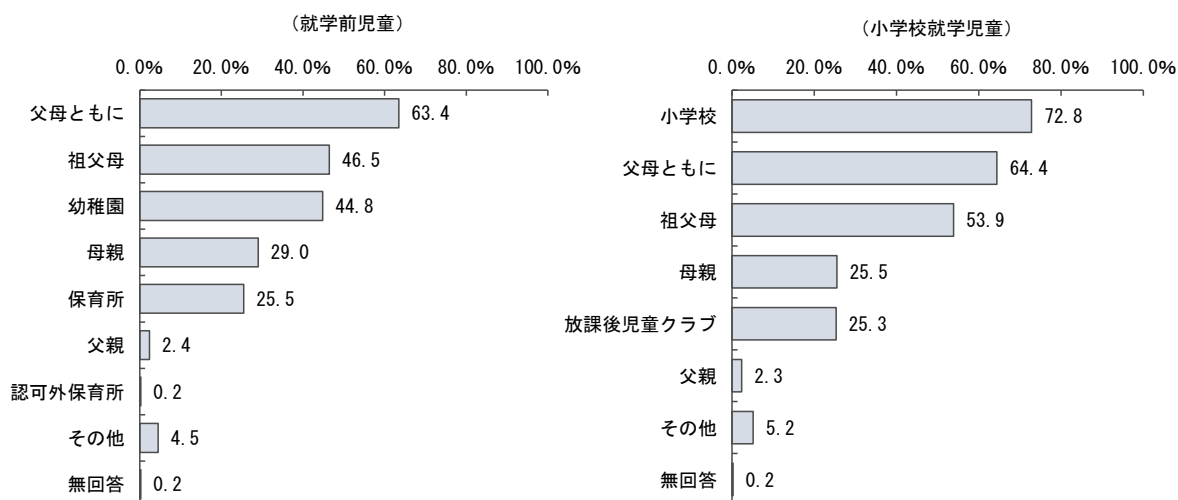
- ◎ 就学前児童・小学校就学児童のいる家庭ともに、いざというときには子どもをみてもらえる環境にあります。
- ◎ お子さんを預かってもらえる親族・友人が「いずれもない」割合は、就学前児童・小学校就学児童のいる家庭ともに、1割程度を占めています。

子育てに日常的に関わっている方・施設について、就学前児童のいる家庭では、「父母ともに」(63.4%) (★57.0%、+6.4 ㊦)、「祖父母」(46.5%) (★54.8%、-8.3 ㊦)、「幼稚園」(44.8%) (★29.2%、+15.6 ㊦)を、小学校就学児童のいる家庭では、「小学校」(72.8%) (★59.8%、+13 ㊦)、「父母ともに」(64.4%) (★54.7%、+9.7 ㊦)、「祖父母」(53.9%) (★57.3%、-3.4 ㊦)を上位に挙げています。

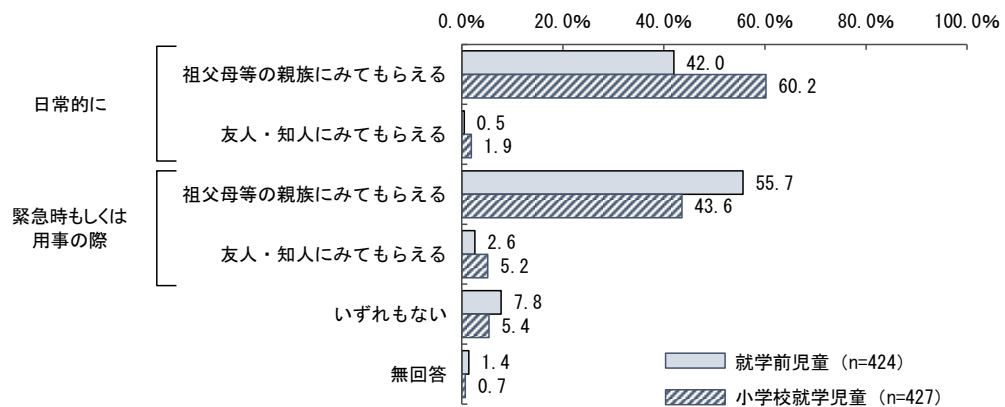
また、日頃、お子さんをみてもらえる親族の状況を見ると、就学前児童のいる家庭では、日常的に祖父母等の親族にみてもらえる割合が42.0% (★48.4%、-6.4 ㊦)、緊急時や用事の際はみてもらえる割合が55.7% (★51.4%、+4.3 ㊦)、小学校就学児童のいる家庭では、日常的に祖父母等の親族にみてもらえる割合が60.2% (★62.1%、-1.9 ㊦)、緊急時や用事の際はみてもらえる割合が43.6% (★39.7%、+3.9 ㊦)となっており、4~5割の家庭で、いざというときの預かりや子育て相談など、子育て家庭を支える環境にあります。

一方で、お子さんを預かってもらえるとしては、「いずれもない」と回答した割合は、就学前児童のいる家庭では7.8% (★7.7%、+0.1 ㊦)、小学校就学児童のいる家庭では5.4% (★7.0%、-1.6 ㊦)となっており、地域での孤立状態が懸念されます。

図表 お子さんの子育てに日常的に関わっている方・施設



図表 お子さんをみてもらえる親族・知人



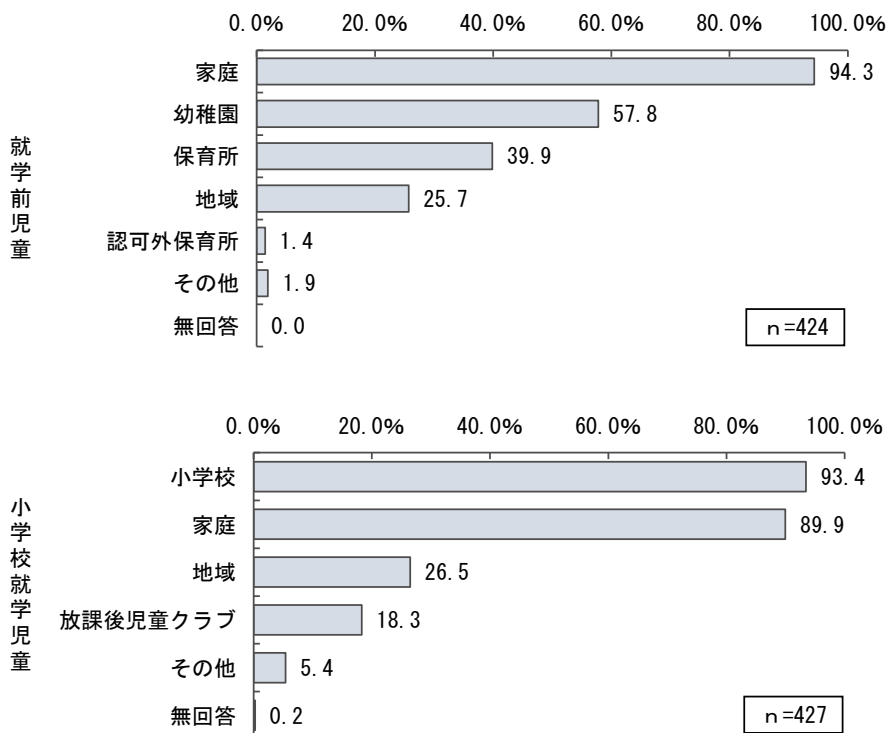
(2) 子育てに影響すると思われる環境 【共通：問8】

◎ 子育てに影響すると思われる環境について、就学前児童のいる家庭では「家庭」を、小学校就学児童のいる家庭では「小学校」を、それぞれ最上位に挙げています。

子育てに影響すると思われる環境について、就学前児童のいる家庭では、「家庭」が94.3%と最も多く、次いで「幼稚園」が57.8%、「保育所」が39.9%を上位に挙げています。

また、小学校就学児童のいる家庭では、「小学校」が93.4%と最も多く、次いで「家庭」が89.9%、「地域」が26.5%となっています。

図表 子育てに影響すると思われる環境



(3) 子育てに関する相談先 【共通：問 10、問 10-1】 (★前回比率、増減)

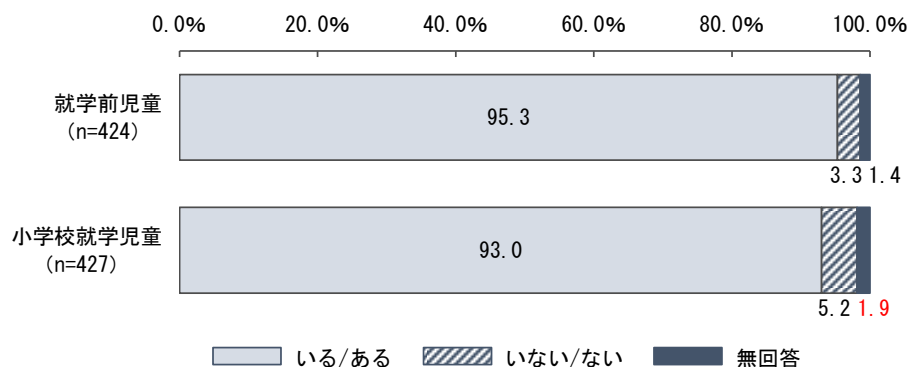
- ◎ 子育てを相談できる人（場所）について、就学前児童、小学校就学児童のいる家庭ともに9割以上が、「いる/ある」と回答しています。
- ◎ 子育てに関する相談先について、就学前児童、小学校就学児童のいる家庭ともに「祖父母等の親族」を最上位に挙げています。

子育ての事を相談できる相手の有無について、就学前児童のいる家庭では、「いる/ある」が95.3% (★92.9%、+2.4 ㊦)、 「いない/ない」が3.3% (★5.4%、-2.1 ㊦) となっています。

また、小学校就学児童のいる家庭では、「いる/ある」が93.0% (★88.4%、+4.6 ㊦)、 「いない/ない」が5.2% (★8.0%、-2.8 ㊦) となっています。

なお、相談相手が「いる（ある）」と回答した方の相談相手について、就学前児童のいる家庭では、「祖父母等の親族」(84.7%) (★82.2%、+2.5 ㊦)、「友人や知人」(75.0%) (★71.7%、+3.3 ㊦)、「幼稚園教諭」(30.4%) (★16.5%、+13.9 ㊦) を、小学校就学児童のいる家庭では、「祖父母等の親族」(78.3%) (★73.5%、+4.8 ㊦)、「友人や知人」(74.6%) (★72.2%、+2.4 ㊦)、「小学校教諭・養護教諭」(46.9%) (★28.7%、+18.2 ㊦)、それぞれ上位に挙げています。

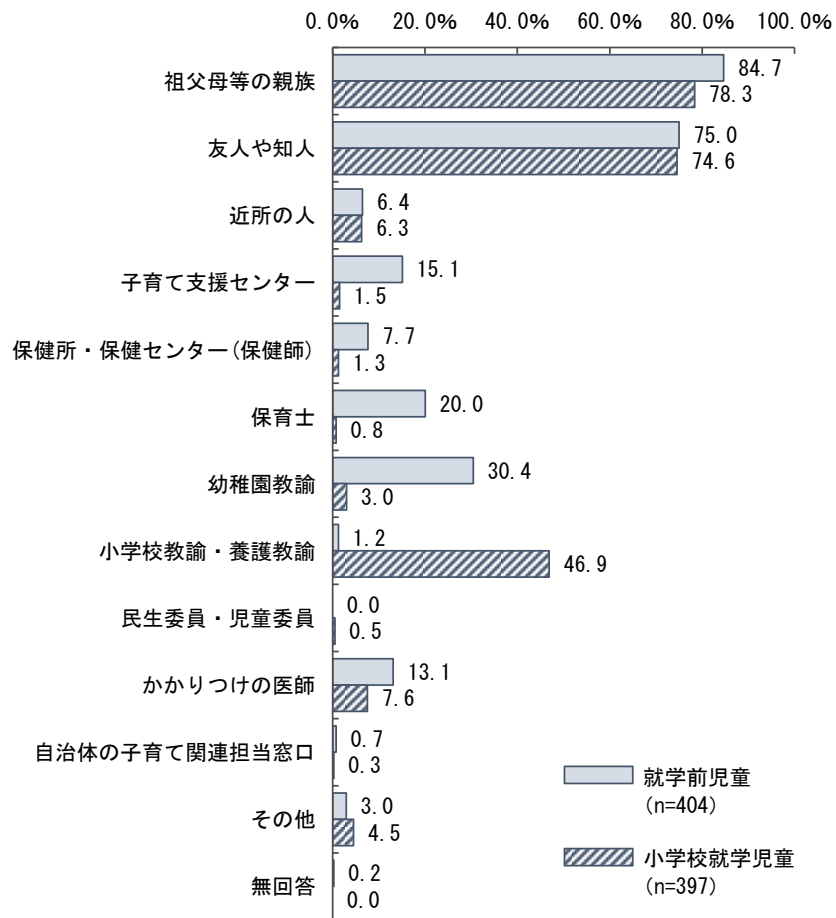
図表 子育てについて相談できる人（場所）の有無



図表 子育てに関する相談先 (就学前・小学校就学児童：上位3項目)

	第1位	第2位	第3位
就学前児童 (n=404)	祖父母等の親族 84.7%	友人や知人 75.0%	幼稚園教諭 30.4%
小学校就学児童 (n=397)	祖父母等の親族 78.3%	友人や知人 74.6%	小学校教諭・養護教諭 46.9%

図表 子育てに関する相談先



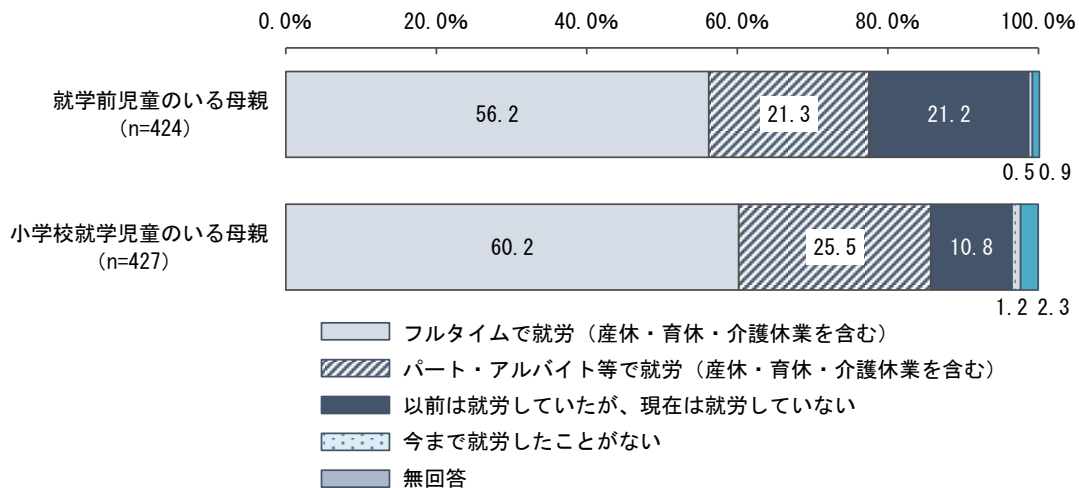
3. 母親の就労状況（就学前児童・小学校就学児童）

(1) 母親の就労状況 【共通：問12(1)】（★前回比率、増減）

◎ 回答のあった母親の就労している割合（現在休業中を含む）は、就学前児童では8割、小学校就学児童のいる家庭では8割強を占めています。

現在は育休、介護休業中の方を含めた母親の就労状況について、就学前児童の保護者では、「就労している（フルタイム）」（56.2%）（★53.7%、+2.5 ㊦）、「就労している（パートタイム、アルバイト等）」（21.3%）（★21.4%、-0.1 ㊦）を合わせた就労している方は77.5%（★75.1%、+2.4 ㊦）、小学生の保護者では、「就労している（フルタイム）」（60.2%）（★59.3%、+0.9 ㊦）、「就労している（パートタイム、アルバイト等）」（25.5%）（★24.8%、+0.7 ㊦）を合わせた就労率は85.7%（★84.1%、+1.6 ㊦）となっています。

図表 現在の就労状況



(2) 今後の就労意向について 【共通：問13(1)、問14(1)】（★前回比率、増減）

◎ パート・アルバイト等からフルタイムへの転換について、就学前児童・小学校就学児童の母親ともに、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」と回答した割合が最も高くなっています。

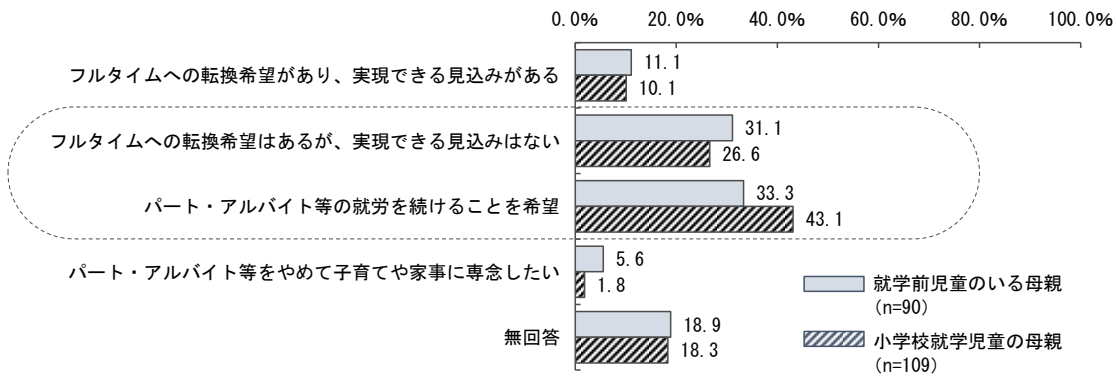
◎ 現在就労していない母親のうち、就学前児童の母親では7割、小学校就学児童の母親では5割が“就労したい”と回答しています。

今後の就労意向として、「パート・アルバイト等で就労している」母親のフルタイムへの転換意向をみると、就学前児童、小学校就学児童の母親ともに、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が最も多くなっています。

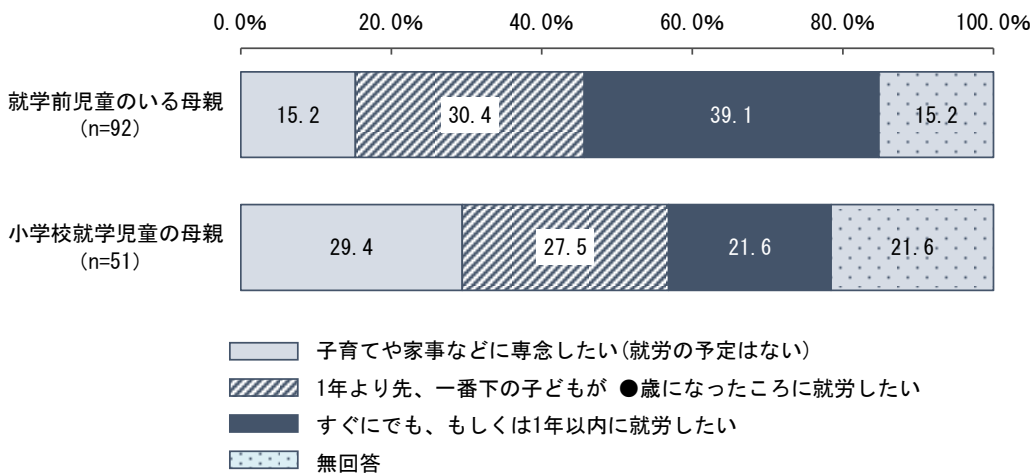
また、「フルタイムへの転換できる見込みがある」と回答した割合は、就学前児童の母親 (n=90) で11.1%（★10.2%、+0.9 ㊦）、小学校就学児童の母親 (n=109) で10.1%（★6.3%、+3.8 ㊦）となっています。

そのほか、現在就労していない方で今後“就労したい（「1年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい」、または「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい）」意向のある潜在的な就労意向は、就学前児童の母親（n=92）で69.5%（★47.9%、+21.6 歳）、小学校就学児童の母親（n=51）で49.1%（★37.4%、+11.7 歳）となっています。

図表 就労している母親の就労の意向



図表 現在就労していない母親の就労の意向



4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（就学前児童）

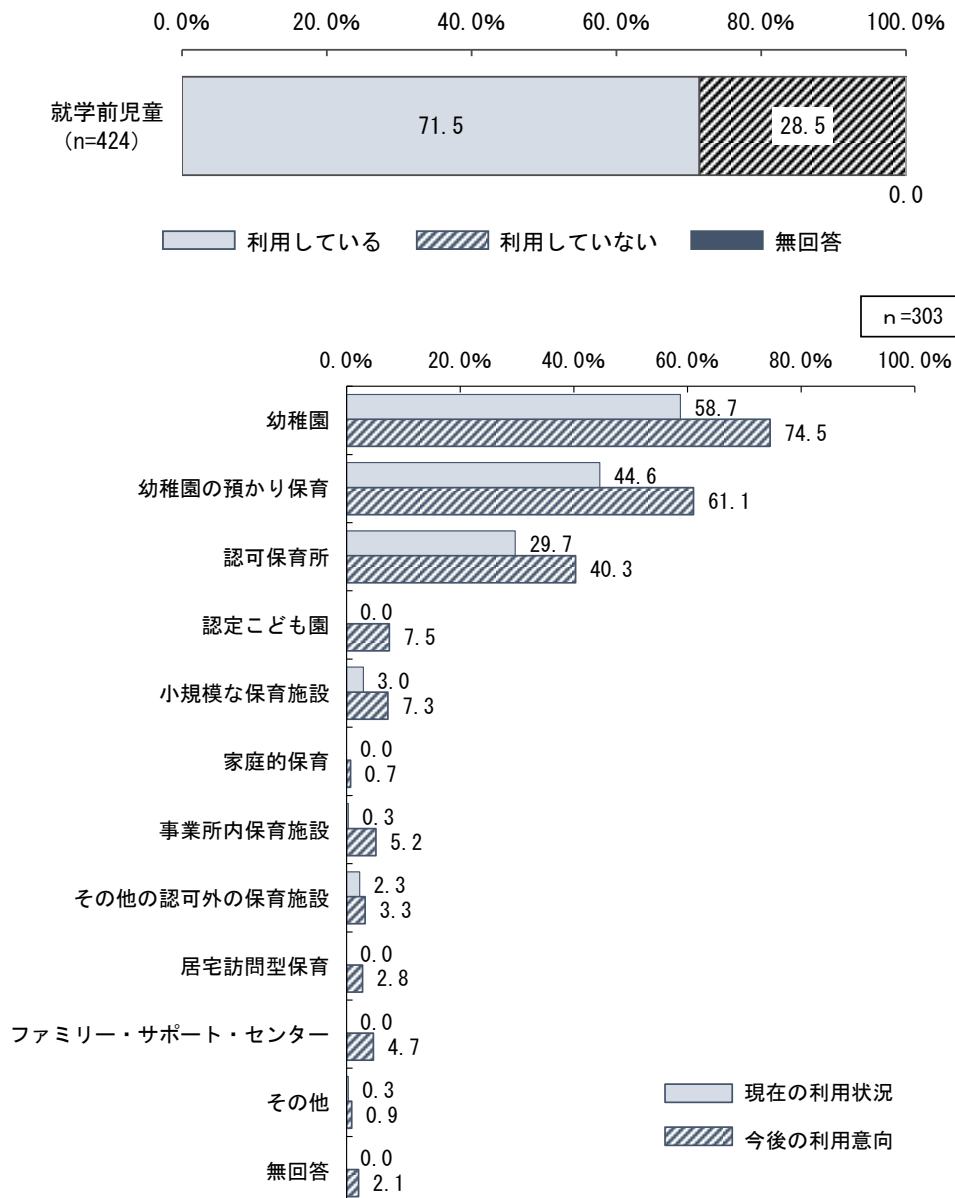
(1) 教育・保育の利用状況・今後の利用意向 【就学前：問 15、問 15-1、問 16、問 16-2】

◎ 回答のあった就学前児童の教育・保育施設の利用率は7割、主な利用は、「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」、「認可保育所」となっています。

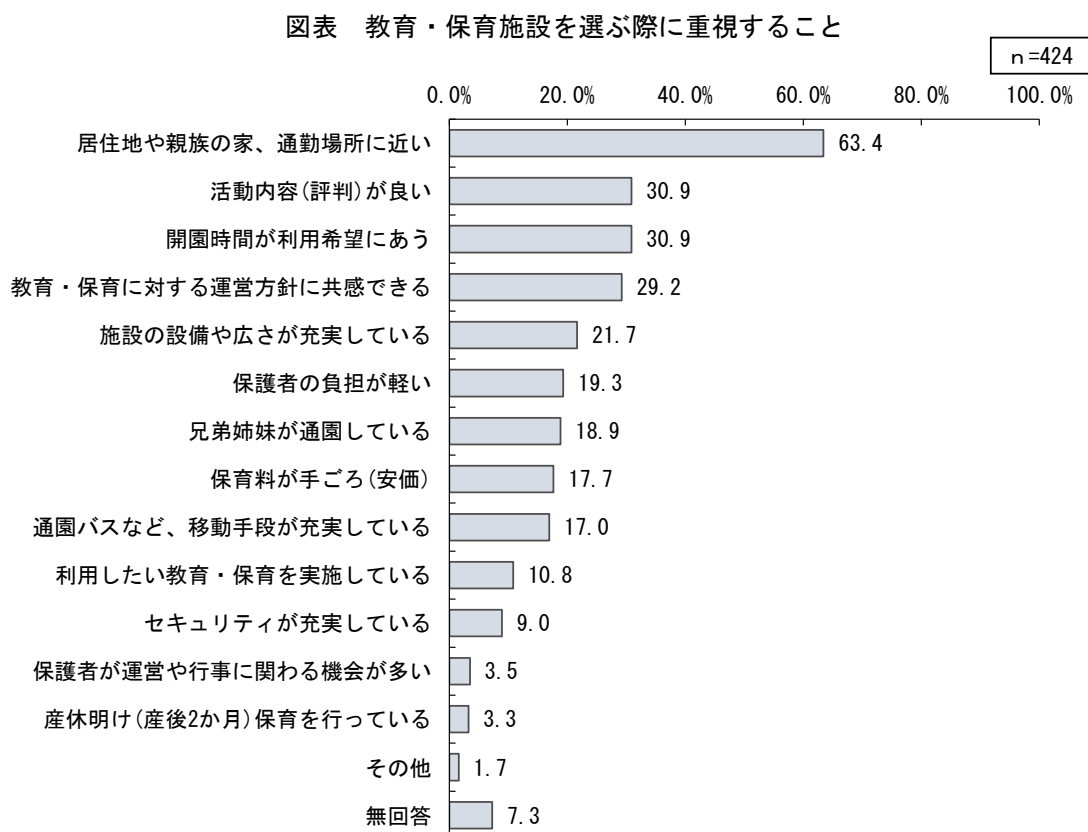
就学前児童の教育・保育施設を現在「利用している」割合は71.5%（★66.0%、+5.5 ㊦）で、利用しているサービスとしては、「幼稚園」（58.7%）（★46.1%、+12.6 ㊦）、「幼稚園の預かり保育」（44.6%）（★19.1%、+25.5 ㊦）、「認可保育所」（29.7%）（★46.2%、-16.5 ㊦）が多くなっています。

また、今後の定期的な利用の意向として、「幼稚園」（74.5%）（★63.4%、+11.1 ㊦）、「幼稚園の預かり保育」（61.1%）（★43.0%、+18.1 ㊦）、「認可保育所」（40.3%）（★44.8%、-4.5 ㊦）を上位に挙げています。

図表 教育・保育の利用状況・今後の利用意向



なお、教育・保育施設を選ぶ際に重視することとしては、「居住地や親族の家、通勤場所に近い」(63.4%)、「活動内容(評判)が良い」、「開園時間が利用希望に合う」(ともに30.9%)、「教育・保育に対する運営方針に共感できる」(29.2%)といった点を挙げています。



(2) 利用している理由・利用していない理由 【就学前：問15-3、問15-4】

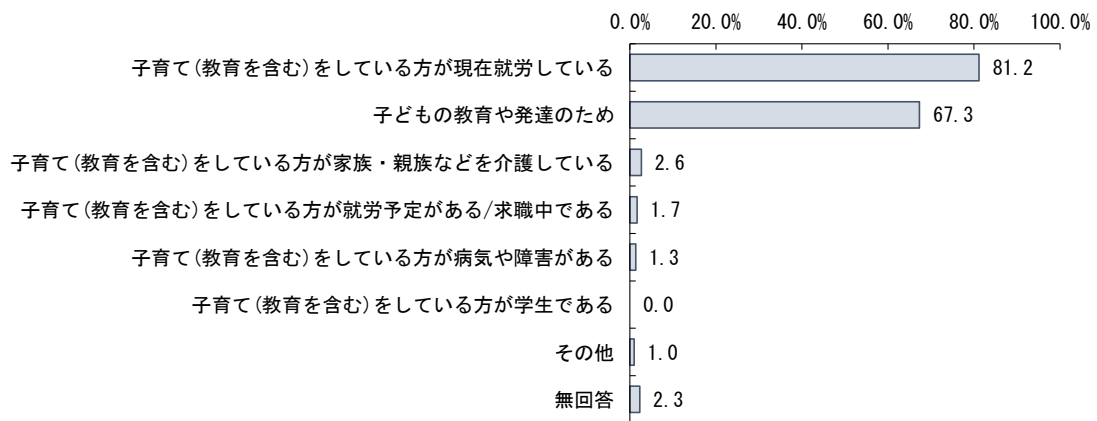
- ◎ 教育・保育施設を「利用している」理由として「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」を、「利用していない」理由として「利用する必要がない」を、それぞれ最上位に挙げています。
- ◎ 「利用していない」方の2割は、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」ことを理由として挙げています。

定期的な教育・保育施設等を「利用している」と回答した方(n=303)の利用している理由として、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」(81.2%)、「子どもの教育や発達のため」(67.3%)、「子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している」(2.6%)を上位に挙げています。

また、定期的な教育・保育施設等を「利用していない」と回答した方(n=121)の利用していない理由として、「利用する必要がない」(39.7%) (★34.9%、+4.8割)、 「子どもがまだ小さいため●歳くらいになったら利用しようと考えている」(31.4%) (★27.7%、+3.7割)、 「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」(16.5%) (★15.0%、+1.5割)を上位に挙げています。

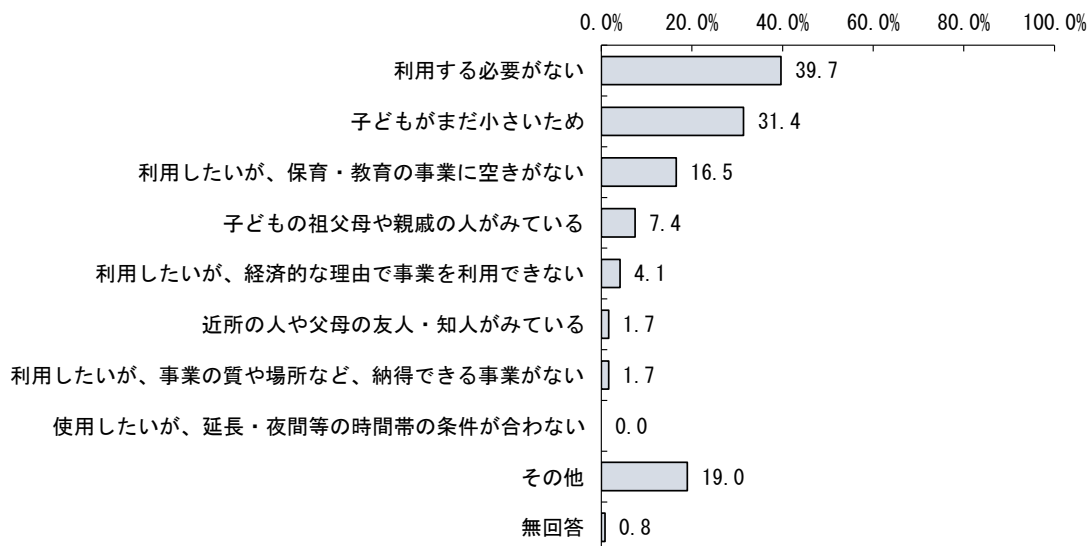
図表 利用している理由

n=303



図表 利用していない理由

n=121



(参考) 「子どもがまだ小さいため●歳くらいになったら利用しようと考えている」と回答した方の利用開始の希望年齢

(単位：歳)

就学前児童の利用開始の希望年齢 (平均)

1.65 歳

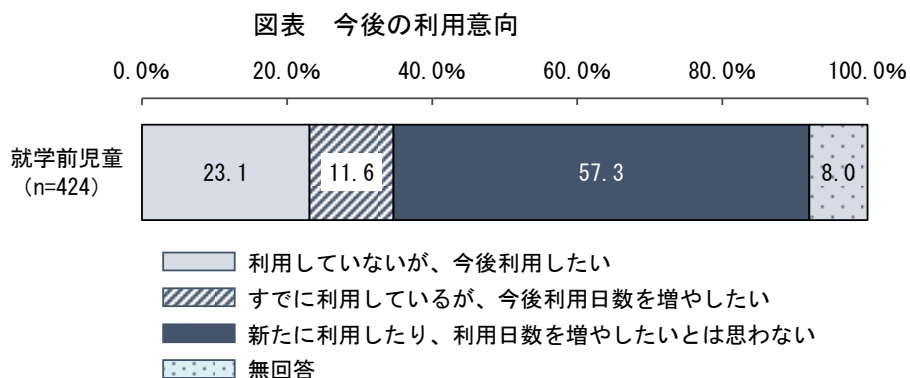
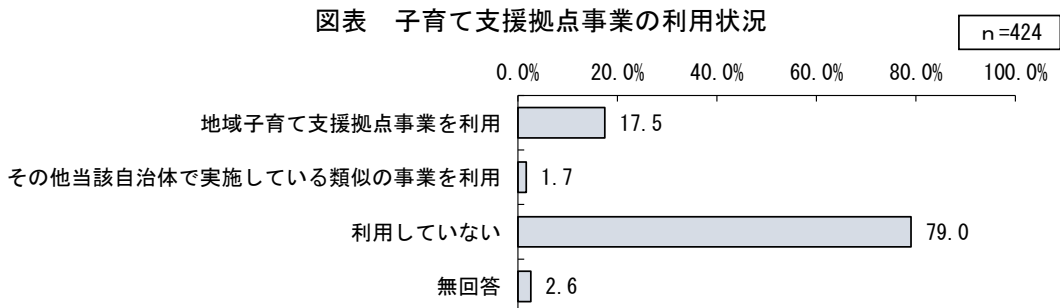
5. 地域の子育て支援事業の利用状況について（就学前児童）

（1）子育て支援拠点事業の利用状況 【就学前：問 17、問 18】（★前回比率、増減）

- ◎ 地域子育て支援拠点事業について、就学前児童のいる家庭の2割が、市内及び他の自治体で「利用している」と回答しています。
- ◎ 地域子育て支援拠点事業の利用意向として3割が「利用していないが、今後利用したい」、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答しています。

地域子育て支援拠点事業の利用状況として、「地域子育て支援拠点事業」の利用は17.5%（★13.1%、+4.4 ㊦）、「その他当該自治体で実施している類似の事業」の利用は1.7%（★0.7%、+1 ㊦）となっています。

また、地域子育て支援拠点事業の今後利用意向について、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が57.3%（★60.3%、-3 ㊦）と最も多くなっており、「利用していないが、今後利用したい」（23.1%）（★25.1%、-2 ㊦）、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」（11.6%）（★7.6%、+4 ㊦）を合わせた利用意向は34.7%（★32.7%、+2 ㊦）となっています。



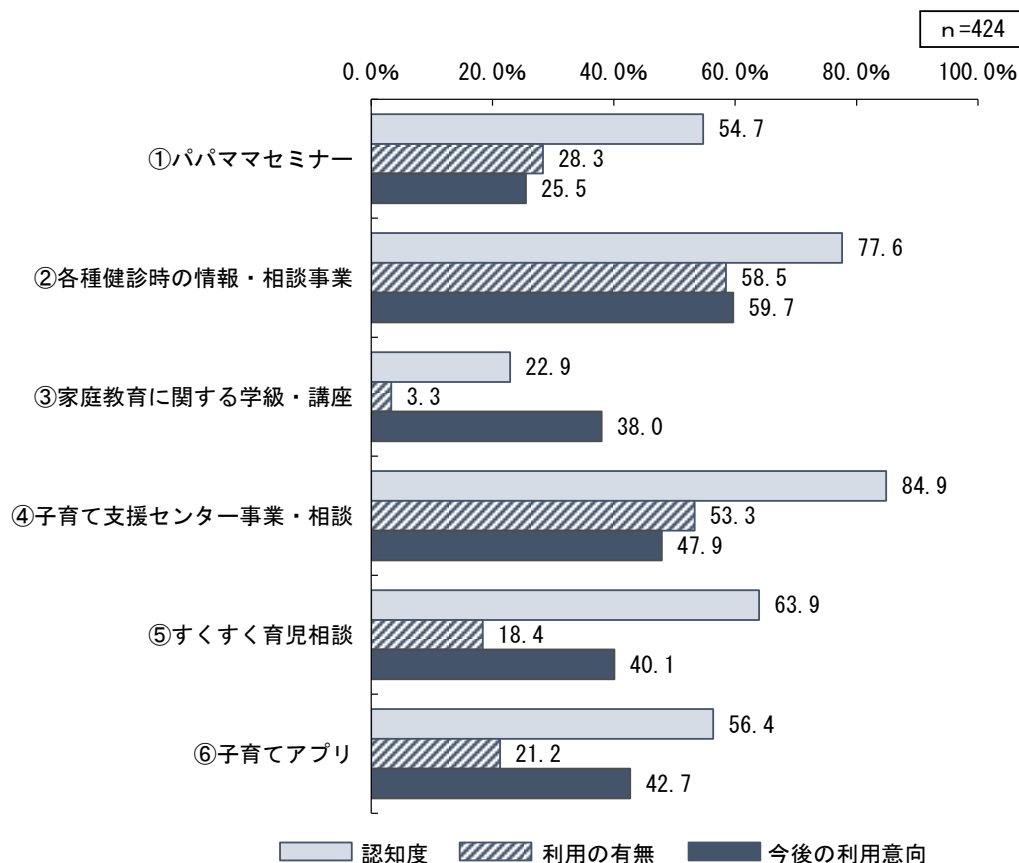
(2) 各種事業の認知度・利用状況・利用意向 【就学前：問 19】

◎ 各種事業について半数以上が「知っている」と回答しているなか、目的や内容によって利用状況や利用意向は異なります。

各種事業について5割以上が「知っている」と回答しており、「子育て支援センター事業・相談」(84.9%)、「各種健診時の情報・相談事業」(77.6%)、「すくすく育児相談」(63.9%)を上位に挙げています。

また、利用したことのある事業では「各種健診時の情報・相談事業」(58.5%)、「子育て支援センター事業・相談」(53.3%)、「パパママセミナー」(28.3%)を、今後利用したい事業では、「各種健診時の情報・相談事業」(59.7%)、「子育て支援センター事業・相談」(47.9%)、「子育てアプリ」(42.7%)を、それぞれ上位に挙げています。

図表 各種事業の認知度・利用状況・利用意向



6. 土日・休日、長期休暇の利用・病気の際の預かりについて

(1) 土日・休日、長期休暇の利用について 【就学前：問20、問21】 (★前回比率、増減)

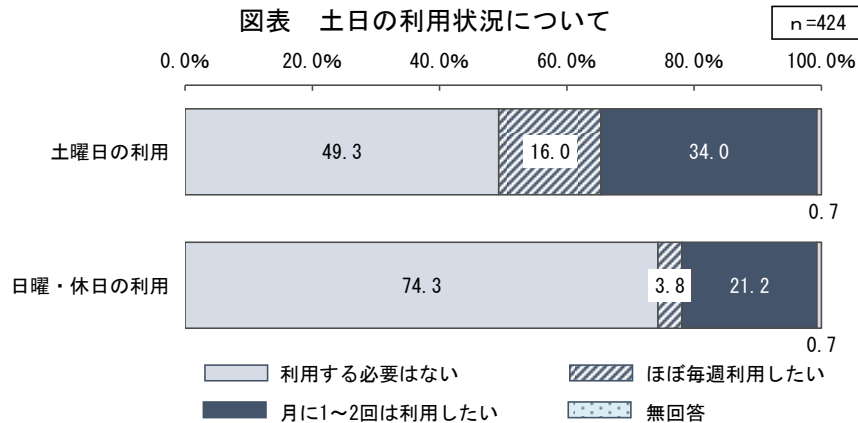
- ◎ 教育・保育施設等の土日・休日利用について、土曜日は5割、日曜・祝日は2割強の利用希望がみられます。
- ◎ 幼稚園利用者の長期休暇期間中の利用希望として、8割が休みの期間中、“ほぼ毎日”または“週に数日”利用したいと回答しています。

曜日、日曜・祝日の教育・保育施設等の利用希望をみると、土曜日については「月に1～2回は利用したい」(34.0%) (★30.4%、+3.6ポイント)、「ほぼ毎週利用したい」(16.0%) (★19.2%、-3.2ポイント)を合わせた50.0% (★49.6%、+0.4ポイント)が“利用したい”と回答し、「利用する必要はない」(49.3%) (★48.6%、+0.7ポイント)を上回っています。

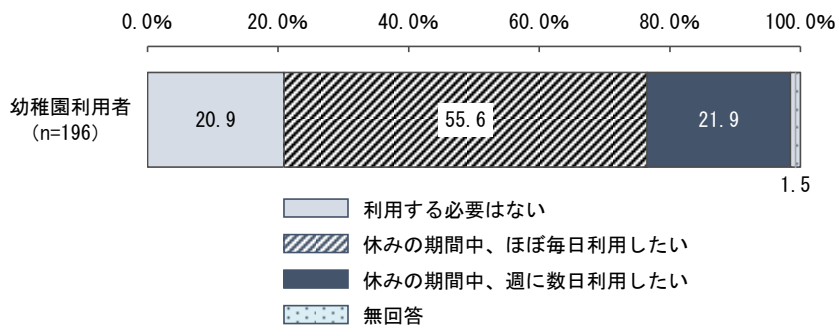
また、日曜・祝日については、「利用する必要はない」が74.3% (★70.5%、+3.8ポイント)を占め、“利用したい(「月に1～2回は利用したい」、または「ほぼ毎週利用したい」)”意向は25.0% (★27.3%、-2.3ポイント)となっています。

なお、預かり保育を含めた幼稚園利用者(n=196)の長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望は、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(55.6%) (★36.0%、+19.6ポイント)、「休みの期間中、週に数日利用したい」(21.9%) (★26.3%、-4.4ポイント)、合わせた77.5% (★62.3%、+15.2ポイント)が“利用したい”と回答しています。

図表 土日の利用状況について



図表 長期休暇の幼稚園利用



※本項目の利用希望は単純集計によるものであり、今後家庭の就労状況等を踏まえながら、今後ニーズ量を算出、検討することとなります。

(2) 病気の際の預かりについて 【就学前：問 22、問 22-1、問 22-2】 (★前回比率、増減)

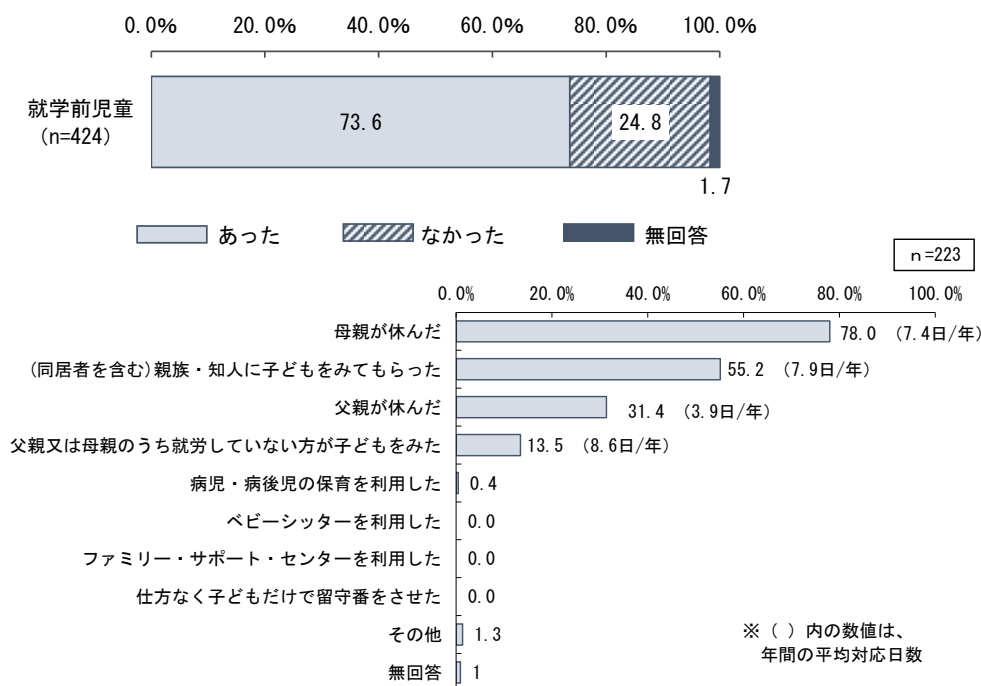
- ◎ 回答のあった就学前児童のいる家庭の7割が、この1年間で、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったと回答し、その際に保護者や親族がみることで対処している状況がみられます。
- ◎ 病児・病後児のための保育施設等の利用意向については、3割となっています。

平日の定期的な教育・保育事業を「利用している」と回答した方 (n=303) のうち、この1年間で、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことについて、73.6% (★69.1%、+4.5 ㊦) が「あった」と回答しています。

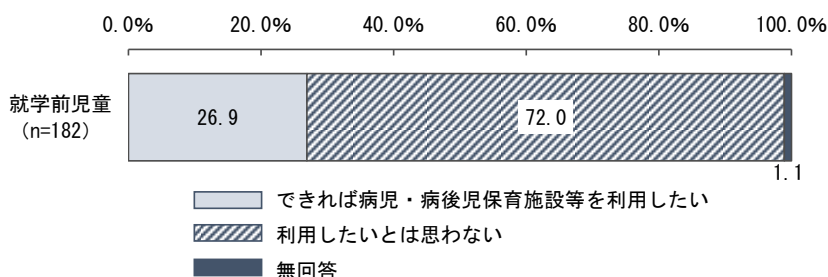
その際の対処法としては、「母親が休んだ」(78.0%) (★77.8%、+0.2 ㊦) が最も多く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」(55.2%) (★55.2%、0 ㊦)、「父親が休んだ」(31.4%) (★27.9%、+3.5 ㊦) を上位に挙げています。

なお、病児・病後児のための保育施設等の利用意向については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が26.9% (★36.6%、-9.7 ㊦)、「利用したいと思わない」が72.0% (★60.9%、+11.1 ㊦) となっています。

図表 子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験とその対処法について



図表 病児・病後児のための施設利用希望について



※本項目の利用希望は単純集計によるものであり、今後家庭の就労状況等を踏まえながら、今後ニーズ量を算出、検討することとなります。

7. 放課後の過ごし方について（小学校就学児童）

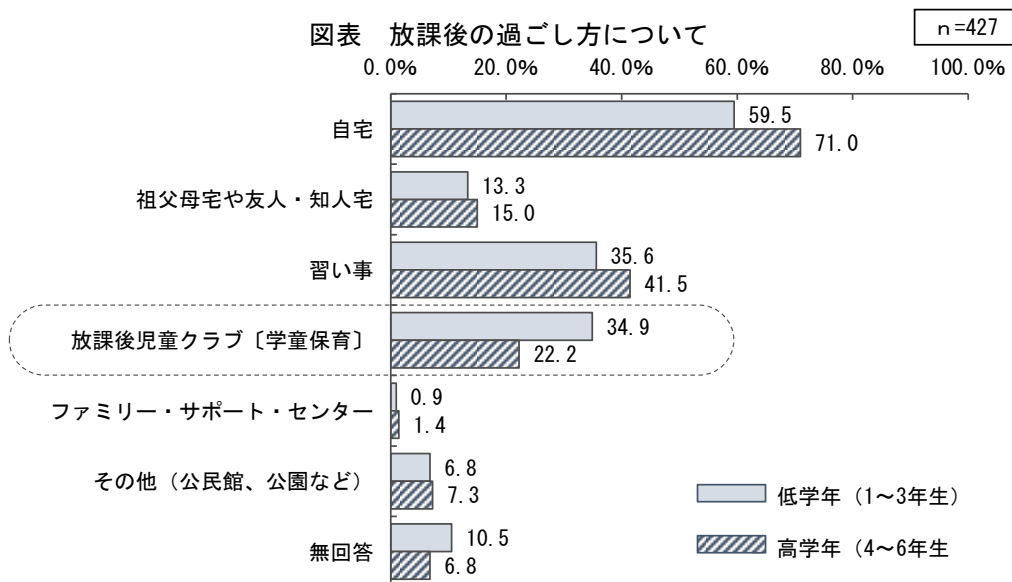
【小学生：問15、問16、問17、問18】

◎ 小学校就学児童の放課後児童クラブ（学童保育）の利用は、低学年では3割、高学年では2割となっているほか、土曜日の利用意向が3割を占めています。

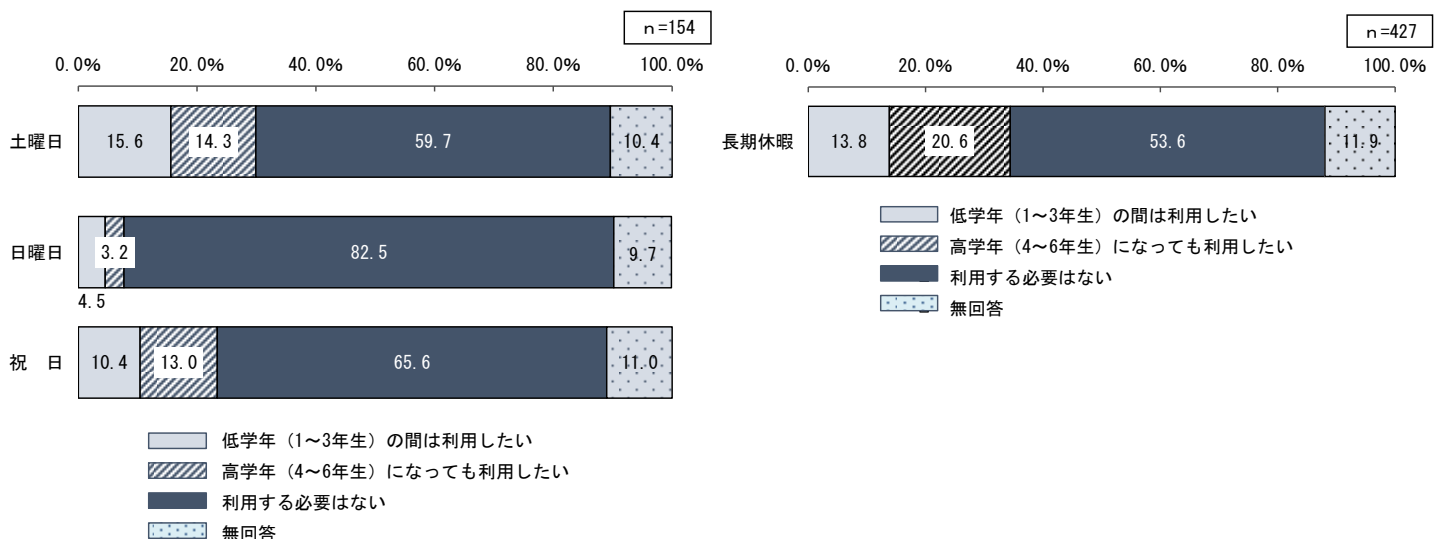
小学校就学児童の放課後の時間を過ごさせたい場所として、低学年、高学年を問わず、「自宅」、「習い事」、「放課後児童クラブ（学童保育）」を上位に挙げており、放課後児童クラブ（学童保育）を「放課後の時間を過ごさせたい場所」として回答した割合は、低学年では34.9%（★47.6%、-12.7ポイント）、高学年では22.2%（★42.4%、-20.2ポイント）となっています。

なお、土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）利用意向は、低学年、高学年合わせて29.9%（★37.3%、-7.4ポイント）となっていますが、日曜では7.8%、祝日は23.4%（日曜・祝日★16.7%）となっています。また、長期休暇中の利用意向34.4%（★30.4%、+4.0ポイント）は、となっています。

図表 放課後の過ごし方について



図表 土日祝日・長期休暇の放課後児童クラブ（学童保育）利用意向



8. 職場の両立支援制度について（就学前児童）

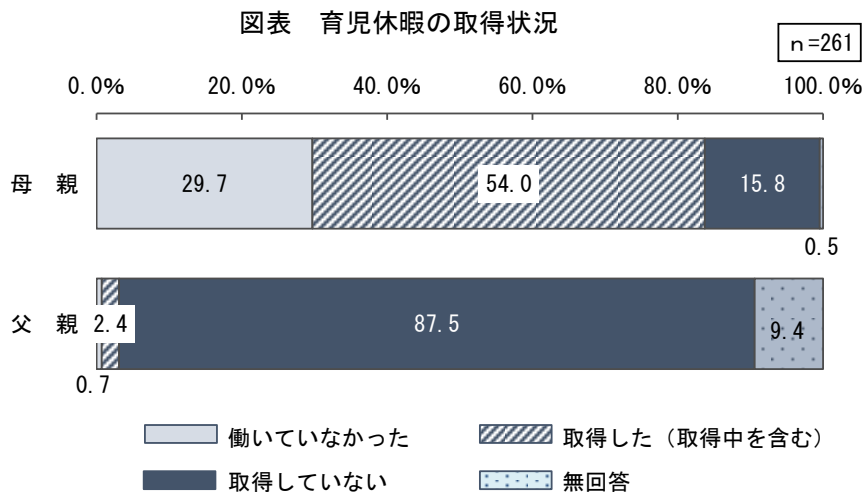
【就学前：問 26】

- ◎ 育児休暇取得状況は母親が 54.0%、父親が 2.4%となっています。
- ◎ 育児休暇を「取得していない」理由として、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」を、父親は「配偶者が育児休業制度を利用した」を、それぞれ最上位に挙げています。

育児休暇の取得について、母親の 54.0%（★38.1%、+15.9 ㊦）が「取得した」と回答しています。

一方で、父親の取得状況は 2.4%（★2.3%、+0.1 ㊦）であり、87.5%（★80.3%、+7.2 ㊦）が「取得していない」と回答しています。

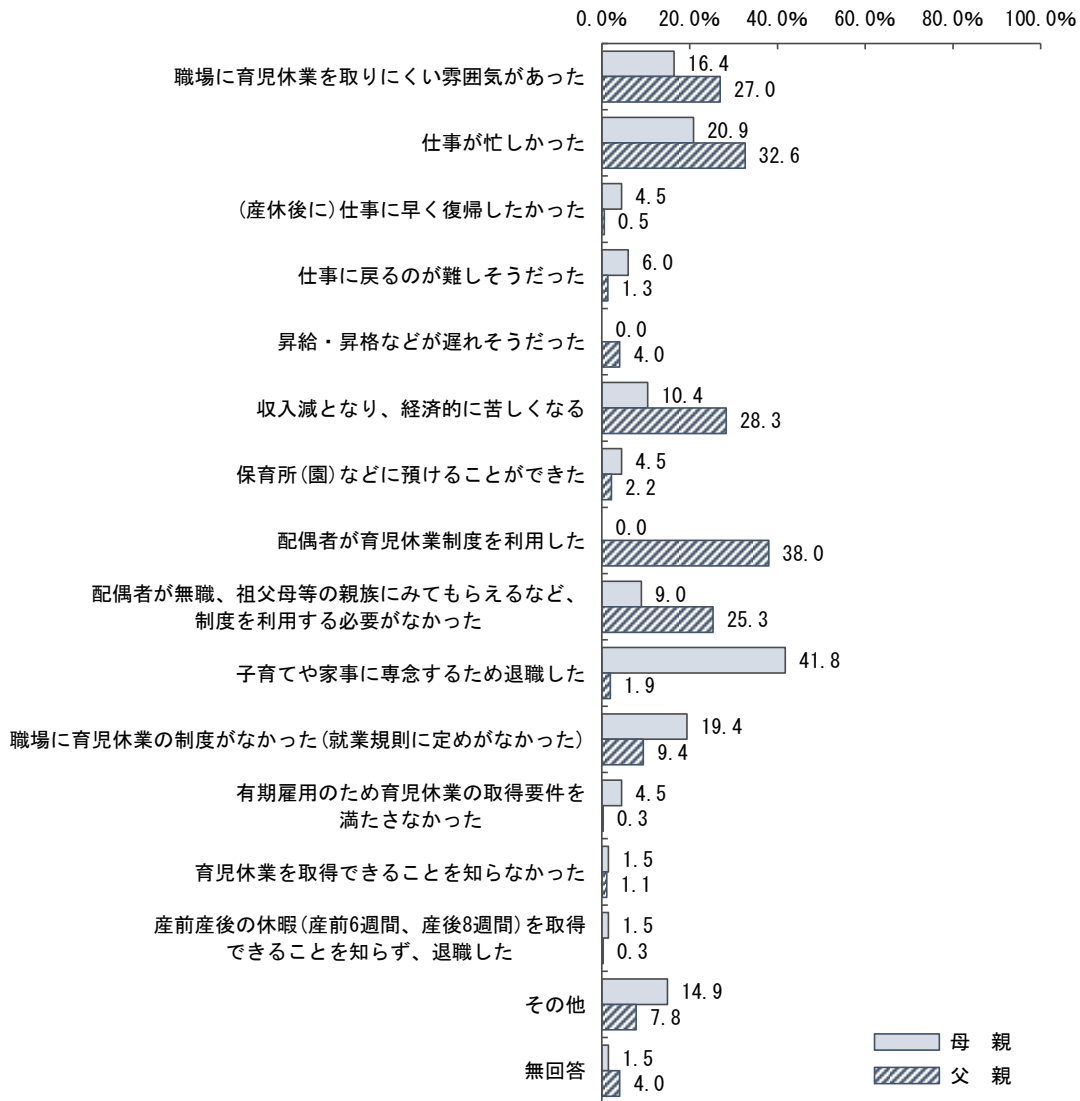
なお、「取得していない」と回答した方の理由として、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」(41.8%)（★3.3%、+38.5 ㊦）、「仕事が忙しかった」(20.9%)（★5.6%、+15.3 ㊦）、「職場に育児休業の制度がなかった」(19.4%)（★5.6%、+13.8 ㊦）を、父親では「配偶者が育児休業制度を利用した」(38.0%)（★23.3%、+14.7 ㊦）、「仕事が忙しかった」(32.6%)（★26.1%、+6.5 ㊦）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(28.3%)（★23.0%、+5.3 ㊦）を、それぞれ上位に挙げています。



図表 育児休業の取得していない理由
(父親・母親別：上位 3 項目)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
母親 (n=67)	子育てや家事に専念する ため退職した 41.8%	仕事が忙しかった 20.9%	職場に育児休業の制度が なかった 19.4%
父親 (n=371)	配偶者が育児休業制度を 利用した 38.0%	仕事が忙しかった 32.6%	収入減となり、経済的に 苦しくなる 28.3%

図表 育児休業の取得していない理由



9. 地域における子育ての環境や支援への満足度（就学前児童・小学校就学児童）

【共通 就学前：問27 小学生：問19】

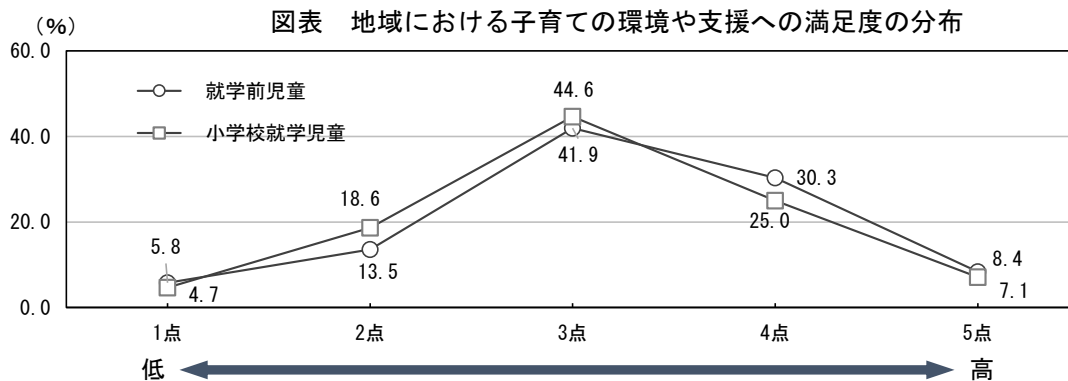
◎ 地域における子育ての環境や支援への満足度（5段階評価）について、就学前児童のいる家庭では3.2点を、小学校就学児童のいる家庭では3.1点となっています。

就学前児童のいる家庭の地域における子育ての環境や支援への満足度については、5段階で3.2点となっており、点数は、「3点」（41.9%）、「4点」（30.3%）、「2点」（13.5%）の順に分布しています。

また、小学校就学児童のいる家庭では、5段階で3.1点となっており、点数は、「3点」（44.6%）、「4点」（25.0%）、「2点」（18.6%）の順に分布しています。

図表 地域における子育ての環境や支援への満足度

	（単位：点）
就学前児童の満足度（5段階）	3.2点
小学校就学児童の満足度（5段階）	3.1点



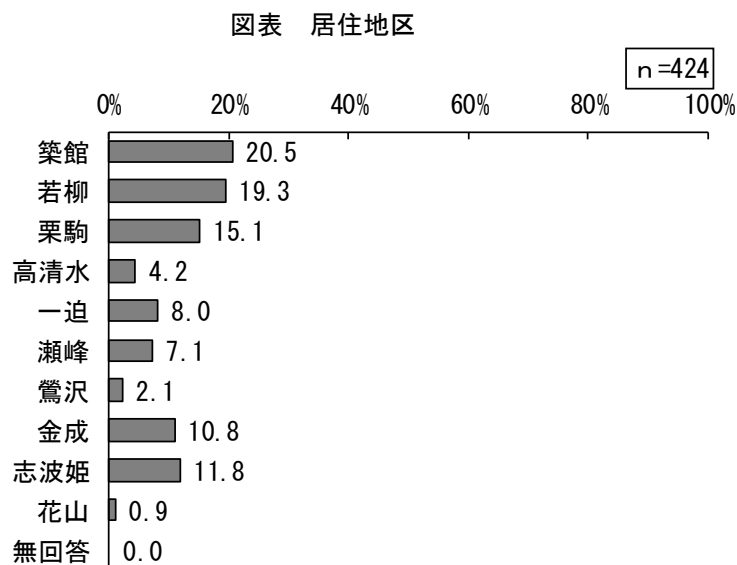
Ⅱ 調査結果①（就学前児童）

Ⅱ-1 お住まいの地域について

1. お住いの地区

問 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

○ 居住地区については、「築館」が20.5%と最も多くなっています。次いで「若柳」が19.3%、「栗駒」が15.1%となっています。



(n=424)		
	回答数	構成比
1 築館	87	20.5%
2 若柳	82	19.3%
3 栗駒	64	15.1%
4 高清水	18	4.2%
5 一迫	34	8.0%
6 瀬峰	30	7.1%
7 鶯沢	9	2.1%
8 金成	46	10.8%
9 志波姫	50	11.8%
10 花山	4	0.9%
無回答	0	0.0%

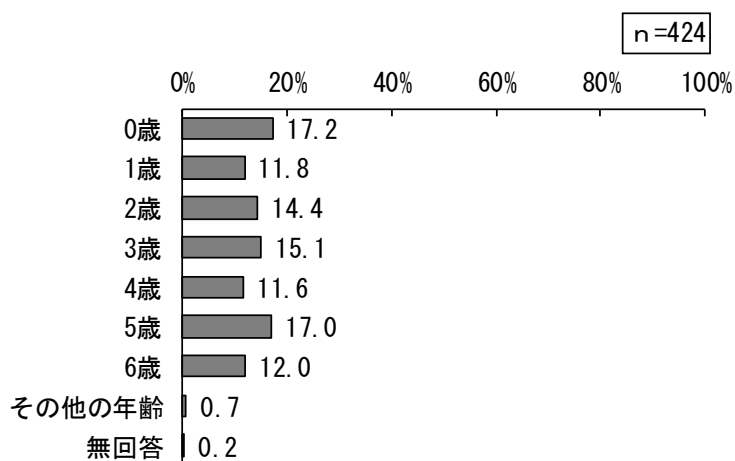
Ⅱ-2 お子さんのご家族の状況について

1. お子さんの年齢

問 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

○ 宛名の子どもの年齢については、「0歳」が17.2%と最も多くなっています。次いで「5歳」が17.0%、「3歳」が15.1%となっています。

図表 お子さんの年齢



(n=424)

	回答数	構成比
1 0歳	73	17.2%
2 1歳	50	11.8%
3 2歳	61	14.4%
4 3歳	64	15.1%
5 4歳	49	11.6%
6 5歳	72	17.0%
7 6歳	51	12.0%
8 その他年齢	3	0.7%
無回答	1	0.2%

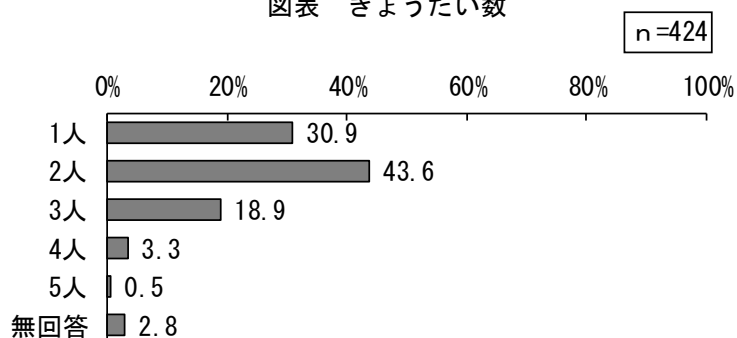
※その他の年齢は平成31年1月1日時点で、誕生年月から6歳以上にあたるお子さんが該当します。

2. きょうだいの数と末子の年齢

問 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

- きょうだいの人数について、回答全体の平均は1.96人となっています。
- 人数別にみると、「2人」が43.6%と最も多くなっています。次いで「1人」が30.9%、「3人」が18.9%となっています。

図表 きょうだい数



(n=424)

	回答数	構成比
1 1人	131	30.9%
2 2人	185	43.6%
3 3人	80	18.9%
4 4人	14	3.3%
5 5人以上	2	0.5%
6 無回答	12	2.8%

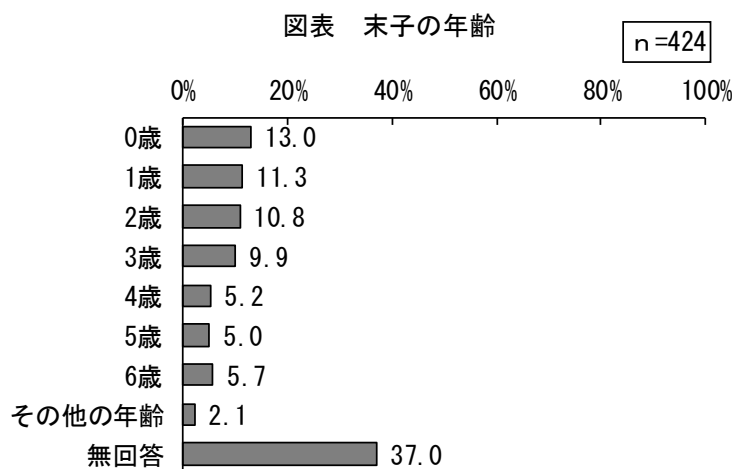
図表 きょうだいの人数

(n=424)

(単位：人)

きょうだいの人数	1.96人
最大	5人
最小	1人

○ 末子の年齢については、「0歳」が13.0%と最も多くなっています。次いで「1歳」が11.3%、「2歳」が10.8%となっています。



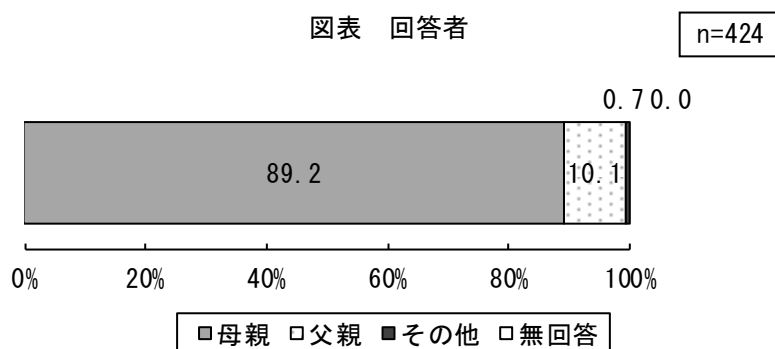
(n=424)

	回答数	構成比
1 0歳	55	13.0%
2 1歳	48	11.3%
3 2歳	46	10.8%
4 3歳	42	9.9%
5 4歳	22	5.2%
6 5歳	21	5.0%
7 6歳	24	5.7%
8 その他年齢	9	2.1%
無回答	157	37.0%

3. 回答者について

問 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

○ 回答者について、「母親」が89.2%、「父親」が10.1%となっています。

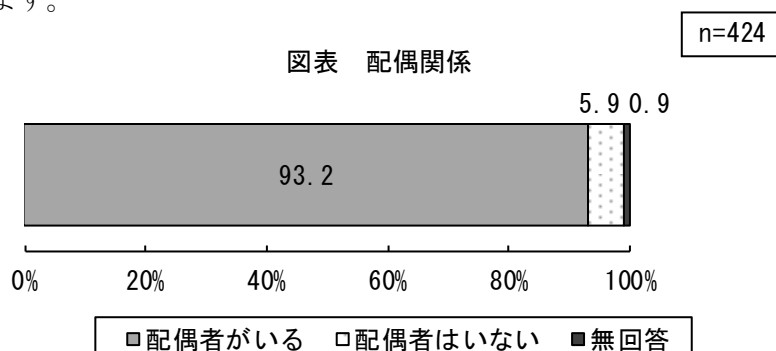


(n=424)		
	回答数	構成比
1 母親	378	89.2%
2 父親	43	10.1%
3 その他	3	0.7%
無回答	0	0.0%

4. 配偶者の有無

問 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

○ 配偶者の有無について、「配偶者がいる」が93.2%、「配偶者はいない」が5.9%となっています。



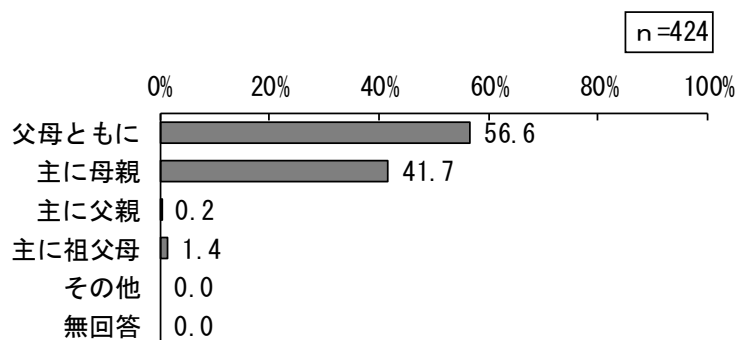
(n=424)		
	回答数	構成比
1 配偶者がいる	395	93.2%
2 配偶者はいない	25	5.9%
無回答	4	0.9%

5. お子さんの子育てを主に行っている方

問 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

○ 子育てを主に行っている方については、「父母ともに」が 56.6%と最も多くなっています。次いで「主に母親」が 41.7%、「主に祖父母」が 1.4%となっています。

図表 子育てを主に行っている方



(n=424)

	回答数	構成比
1 父母ともに	240	56.6%
2 主に母親	177	41.7%
3 主に父親	1	0.2%
4 主に祖父母	6	1.4%
5 その他	0	0%
無回答	0	0%

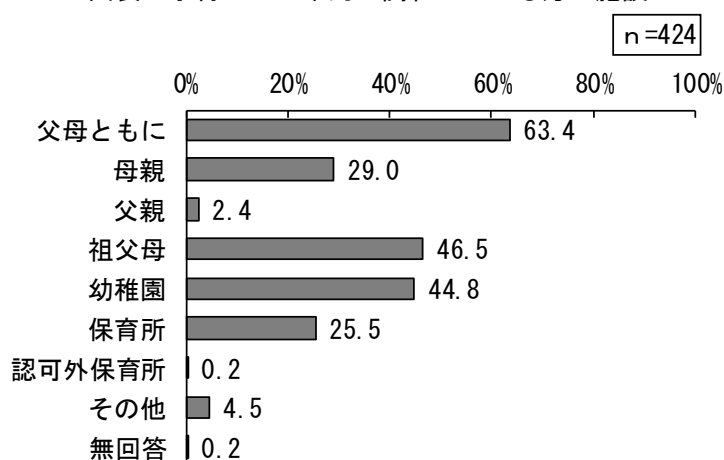
Ⅱ-3 子どもの育ちをめぐる環境について

1. お子さんの子育てに日常的に関わっている方・施設

問 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 子育てに日常的に関わっている方・施設については、「父母ともに」が 63.4%と最も多くなっています。次いで「祖父母」が 46.5%、「幼稚園」が 44.8%となっています。

図表 子育てに日常的に関わっている方・施設



(n=424)

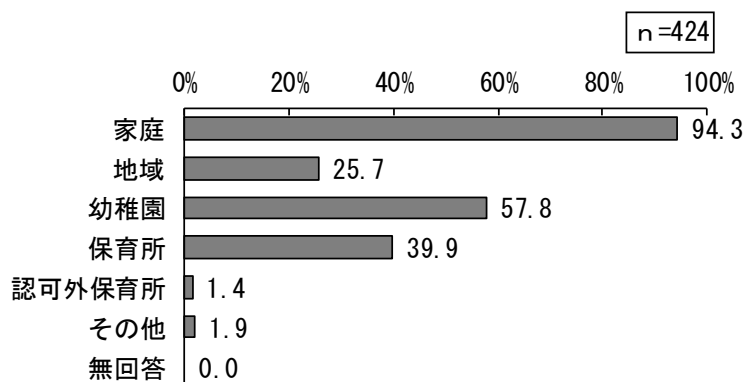
	回答数	構成比
1 父母ともに	269	63.4%
2 母親	123	29.0%
3 父親	10	2.4%
4 祖父母	197	46.5%
5 幼稚園	190	44.8%
6 保育所	108	25.5%
7 認可外保育所	1	0.2%
8 その他	19	4.5%
無回答	1	0.2%

2. 子育てに影響すると思われる環境

問 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

○ 子育てに影響すると思われる環境については、「家庭」が94.3%と最も多くなっています。次いで「幼稚園」が57.8%、「保育所」が39.9%となっています。

図表 子育てに影響すると思われる環境



(n=424)

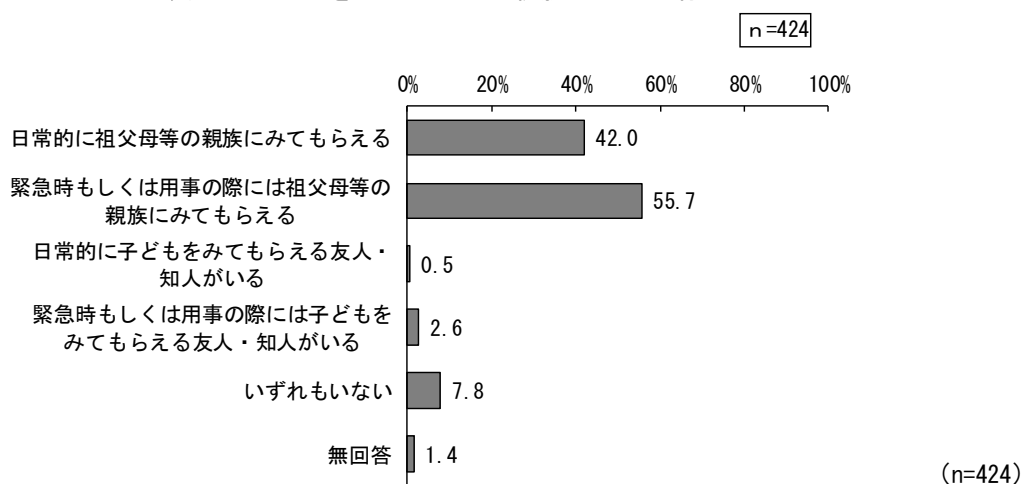
	回答数	構成比
1 家庭	400	94.3%
2 地域	109	25.7%
3 幼稚園	245	57.8%
4 保育所	169	39.9%
5 認可外保育所	6	1.4%
6 その他	8	1.9%
無回答	0	0.0%

3. お子さんをみてもらえる親族・知人の有無

問 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- お子さんをみてもらえる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.7%と最も多くなっています。次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が42.0%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が2.6%となっています。
- 「いずれもない」と回答した割合は7.8%となっています。

図表 お子さんをみてもらえる親族・知人の有無



	回答数	構成比
1 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	178	42.0%
2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	236	55.7%
3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	2	0.5%
4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	11	2.6%
5 いずれもない	33	7.8%
無回答	6	1.4%

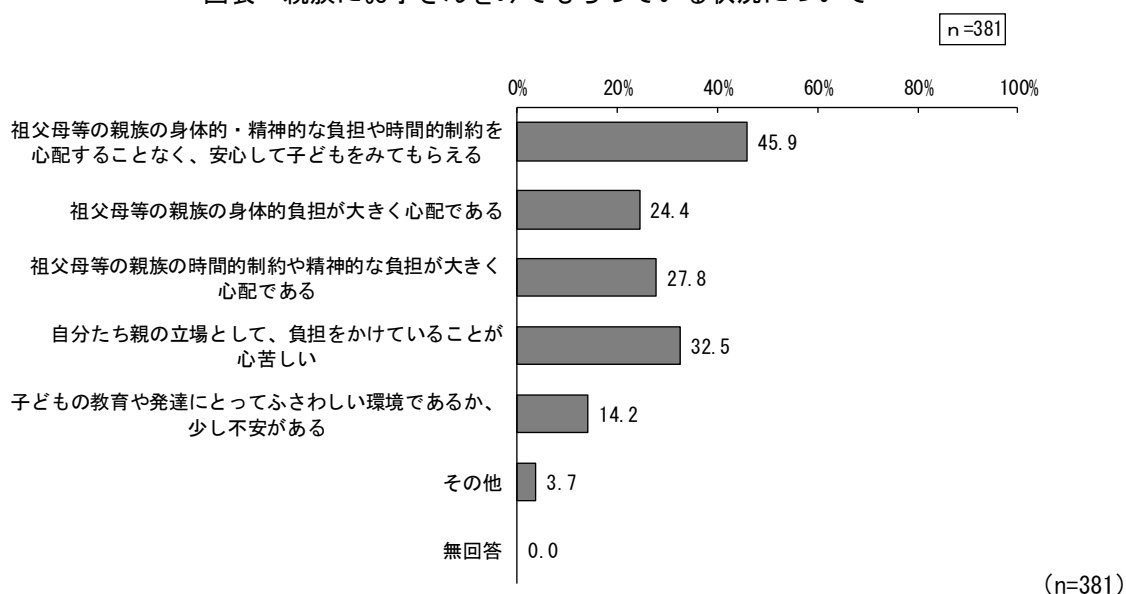
4. 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について

《前問で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。》

問 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 前問で子どもをみてもらえる親族・知人が「親族にみてもらえる」、「緊急時等には親族にみてもらえる」と回答した方 (n=381) のうち、子どもをみてもらっている状況について、「安心して子どもをみてもらえる」が 45.9%と最も多くなっています。次いで「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 32.5%、「祖父母等の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 27.8%となっています。

図表 親族にお子さんをみてもらっている状況について



	回答数	構成比
1 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	175	45.9%
2 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	93	24.4%
3 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	106	27.8%
4 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	124	32.5%
5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	54	14.2%
6 その他	14	3.7%
無回答	0	0.0%

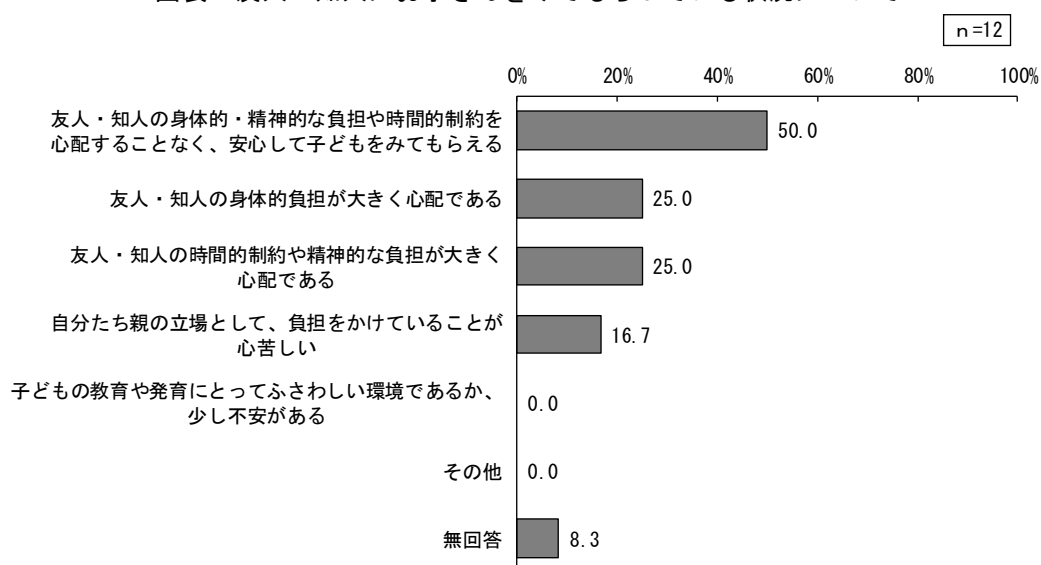
5. 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について

《前問で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。》

問 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 前問で子どもをみてもらえる親族・知人が「友人・知人にみてもらえる」、「緊急時等には友人・知人にみてもらえる」と回答した方 (n=12) のうち、子どもをみてもらっている状況については、「安心して子どもをみてもらえる」が50.0%と最も多くなっています。次いで「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が、ともに25.0%となっています。

図表 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について



(n=12)

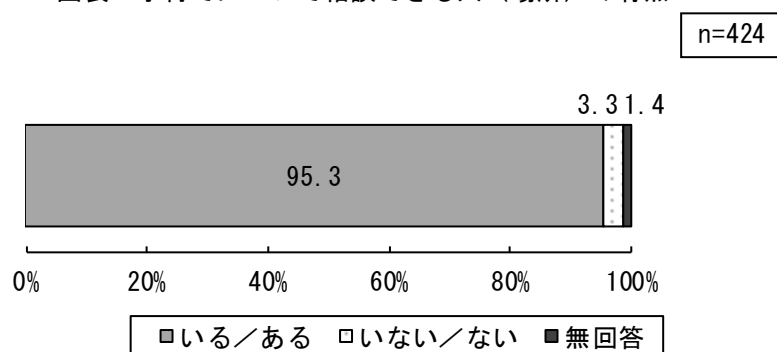
	回答数	構成比
1 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	6	50.0%
2 友人・知人の身体的負担が大きく心配である	3	25.0%
3 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	3	25.0%
4 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	2	16.7%
5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	0	0.0%
6 その他	0	0.0%
無回答	1	8.3%

6. 子育てについて相談できる人（場所）の有無

問 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

○ 子育てを相談できる人（場所）の有無について、「いる/ある」が95.3%、「いない/ない」が3.3%となっています。

図表 子育てについて相談できる人（場所）の有無



		(n=424)	
		回答数	構成比
1	いる/ある	404	95.3%
2	いない/ない	14	3.3%
	無回答	6	1.4%

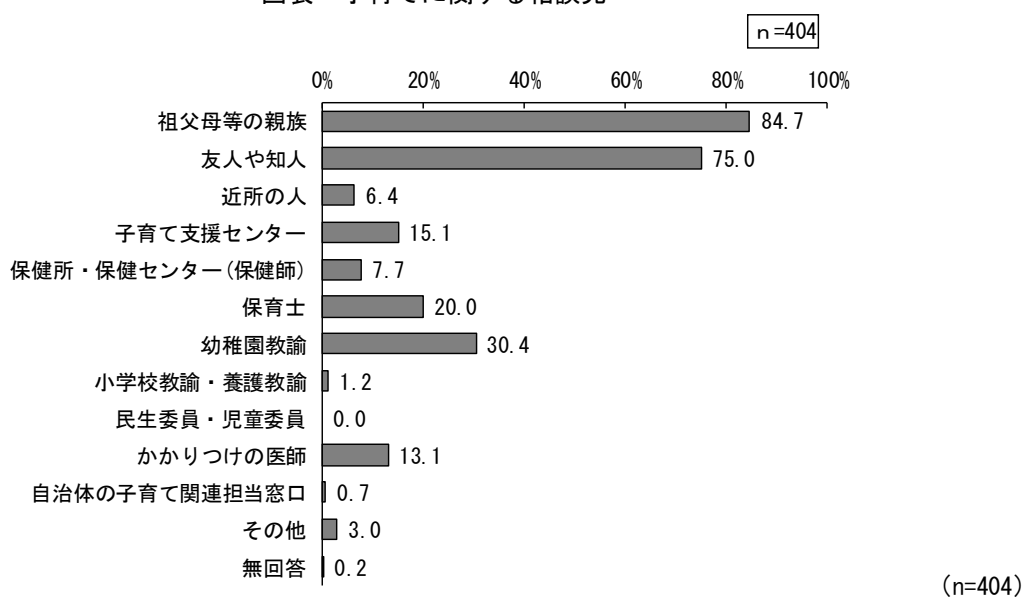
7. 子育てに関する相談先

《前問で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。》

問 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 前問で子育てを相談できる人（場所）が「いる/ある」と回答した方（n=404）のうち子育てに関する相談先については、「祖父母等の親族」が84.7%と最も多くなっています。次いで「友人や知人」が75.0%、「幼稚園教諭」が30.4%となっています。

図表 子育てに関する相談先



	回答数	構成比
1 祖父母等の親族	342	84.7%
2 友人や知人	303	75.0%
3 近所の人	26	6.4%
4 子育て支援センター	61	15.1%
5 保健所・保健センター（保健師）	31	7.7%
6 保育士	81	20.0%
7 幼稚園教諭	123	30.4%
8 小学校教諭・養護教諭	5	1.2%
9 民生委員・児童委員	0	0.0%
10 かかりつけの医師	53	13.1%
11 自治体の子育て関連担当窓口	3	0.7%
12 その他	12	3.0%
無回答	1	0.2%

- 子育てに関する相談先を地区別にみると、全体の回答と同様に「祖父母等の親族」、「友人や知人」が上位に挙がっているほか、一迫では「保育士」、金成では「子育て支援センター」も上位に挙がっています。

図表 子育てに関する相談先（地区別・年齢層別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
築館 (n=80)	祖父母等の親族 85.0%	友人や知人 78.8%	幼稚園教諭 26.3%
若柳 (n=79)	祖父母等の親族 83.5%	友人や知人 70.9%	幼稚園教諭 32.9%
栗駒 (n=60)	祖父母等の親族 83.3%	友人や知人 81.7%	幼稚園教諭 28.3%
高清水 (n=18)	友人や知人 100.0%	祖父母等の親族 94.4%	幼稚園教諭 50.0%
一迫 (n=32)	祖父母等の親族 84.4%	友人や知人 62.5%	保育士 28.1%
瀬峰 (n=28)	祖父母等の親族 89.3%	友人や知人 82.1%	幼稚園教諭 39.3%
鶯沢 (n=9)	祖父母等の親族 88.9%	友人や知人 66.7%	幼稚園教諭 33.3%
金成 (n=44)	祖父母等の親族 84.1%	友人や知人 70.5%	子育て支援センター 幼稚園教諭 22.7%
志波姫 (n=50)	祖父母等の親族 82.0%	友人や知人 74.0%	幼稚園教諭 30.0%
花山 (n=4)	祖父母等の親族 幼稚園教諭 75.0%	子育て支援センター 50.0%	保健所・保健センター かかりつけの医師 25.0%
0歳～2歳 (n=174)	祖父母等の親族 85.6%	友人や知人 77.0%	保育士 29.9%
3歳～5歳 (n=179)	祖父母等の親族 83.2%	友人や知人 75.4%	幼稚園教諭 51.4%
6歳以上 (n=50)	祖父母等の親族 86.0%	友人や知人 66.0%	幼稚園教諭 56.0%

Ⅱ-4 保護者の方の就労状況について

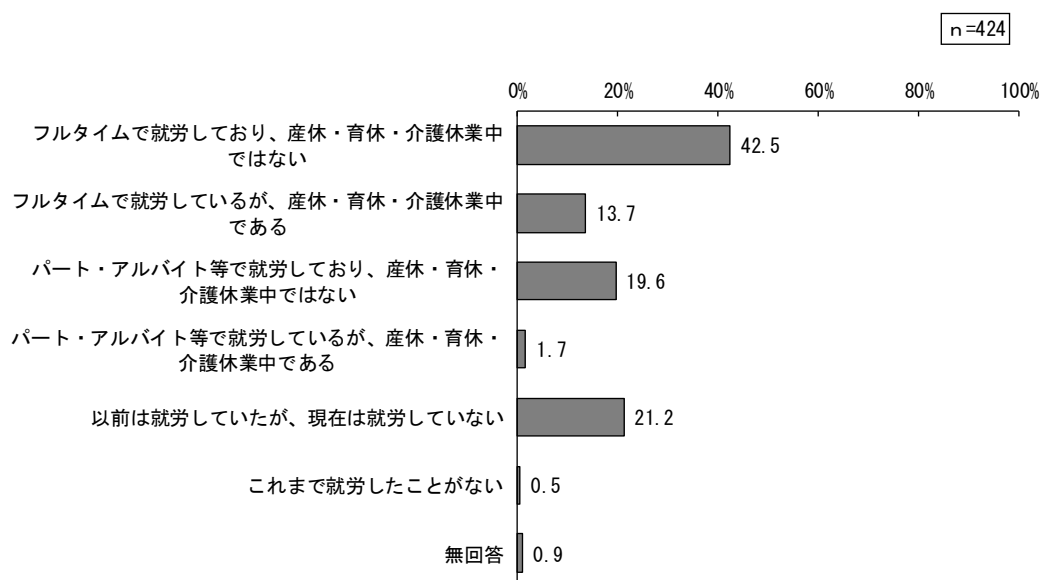
1. お子さんの保護者の現在の就労状況

問 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親の就労状況

○ 母親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が42.5%と最も多くなっています。次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が21.2%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が19.6%となっています。

図表 就労状況（母親）



(n=424)

	回答数	構成比
1 フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	180	42.5%
2 フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	58	13.7%
3 パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	83	19.6%
4 パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	7	1.7%
5 以前は就労していたが、現在は就労していない	90	21.2%
6 これまで就労したことがない	2	0.5%
無回答	4	0.9%

- 母親の就労状況を地区別にみると、全体の回答と同様に「フルタイムで就労しており、休業中ではない」が最上位の地区が多い中、若柳では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が、高清水、花山では「パート・アルバイト等で就労しており、休業中ではない」が最上位に挙がっています。
- また、母親の就労状況を年齢層別にみると、年齢層が上がるとともに「就労している（フルタイム、パート・アルバイト等）」方の割合が増加傾向にあります。

図表 母親の就労状況（地区別・年齢層別）

	フルタイムで就労しており、休業中ではない	フルタイムで就労しているが、休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しているが、休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない
築館 (n=87)	46.0%	12.6%	20.7%	0.0%	19.5%	0.0%
若柳 (n=82)	24.4%	18.3%	24.4%	1.2%	28.0%	1.2%
栗駒 (n=64)	42.2%	12.5%	21.9%	1.6%	21.9%	0.0%
高清水 (n=18)	33.3%	5.6%	38.9%	0.0%	22.2%	0.0%
一迫 (n=34)	67.6%	5.9%	2.9%	2.9%	20.6%	0.0%
瀬峰 (n=30)	43.3%	23.3%	13.3%	0.0%	16.7%	0.0%
鶯沢 (n=9)	55.6%	33.3%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
金成 (n=46)	43.5%	10.9%	19.6%	6.5%	19.6%	0.0%
志波姫 (n=50)	50.0%	12.0%	16.0%	2.0%	20.0%	0.0%
花山 (n=4)	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%
0歳～2歳 (n=184)	31.5%	25.0%	12.5%	3.3%	26.1%	0.5%
3歳～5歳 (n=185)	48.6%	5.9%	25.9%	0.5%	18.4%	0.0%
6歳以上 (n=54)	59.3%	1.9%	22.2%	0.0%	13.0%	1.9%

《(1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。》

問 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

○ 前問で母親が「就労している」と回答した方(n=328)のうち、週当たりの就労日数の平均は5.04日、1日当たりの就労時間の平均は7.52時間となっています。

図表 1 週当たり(母親)

(n=328)

(単位:日)	
平均日数	5.04日
最大	7日
最小	1日

図表 1日当たり(母親)

(n=328)

(単位:時間)	
平均時間	7.52時間
最大	13時間
最小	1時間

《(1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。》

問 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

○ 前問で母親が「就労している」と回答した方(n=328)の出発時刻、帰宅時刻の平均から、主に7時30分~8時に出発、18時~18時30分に帰宅しているとみられます。

図表 出発時刻(母親)

(n=328)

(単位:時刻)	
平均出発時刻	7:51
最大	17:00
最小	5:00

図表 帰宅時刻(母親)

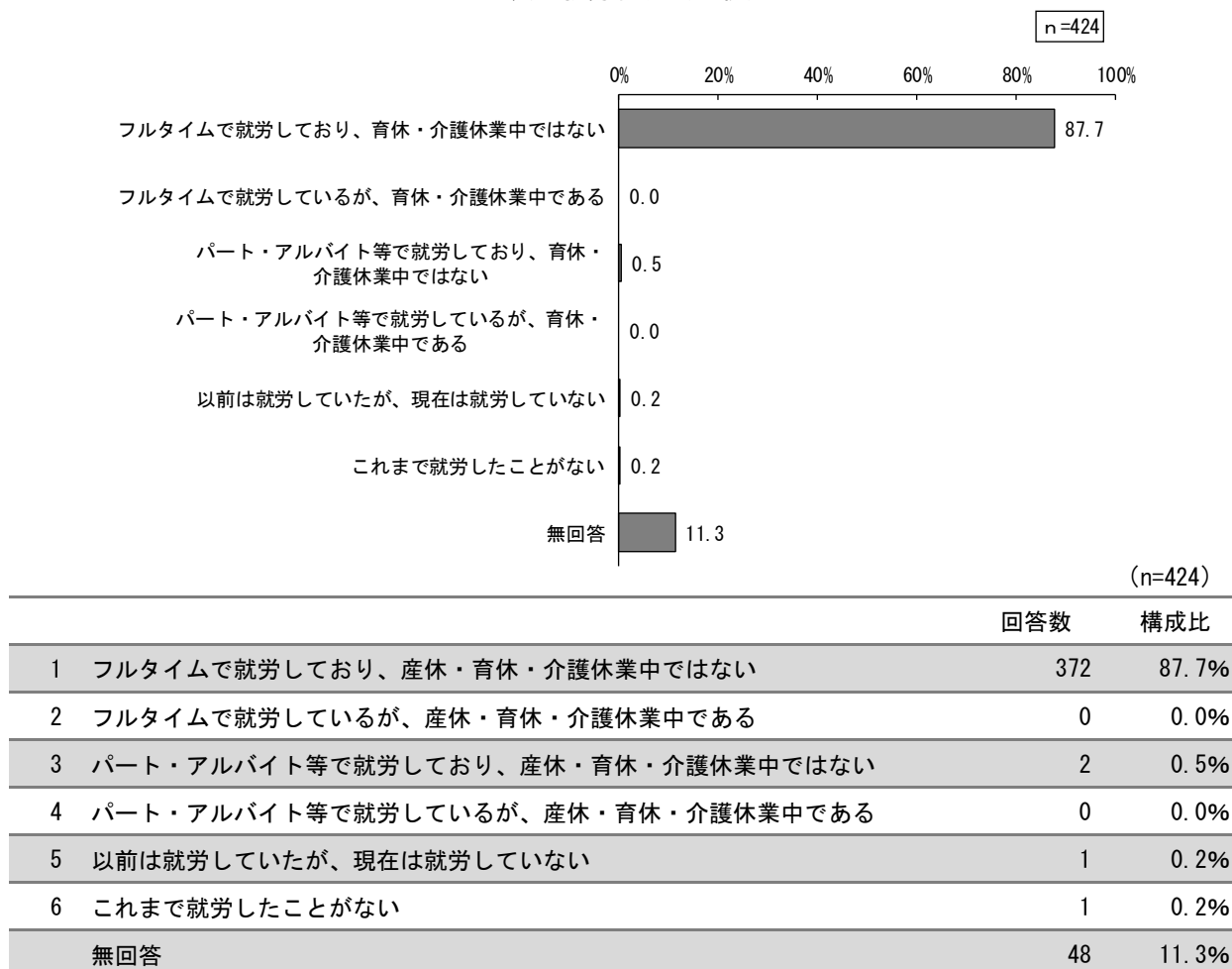
(n=328)

(単位:時刻)	
平均帰宅時刻	18:04
最大	24:00
最小	12:00

(2) 父親の就労状況

- 父親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が87.7%と最も多くなっています。

図表 就労状況（父親）



《(2) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。》

問 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

- 前問で父親が「就労している」と回答した方(n=374)のうち、週当たりの就労日数の平均は5.42日、1日当たりの就労時間の平均は9.30時間となっています。

図表 1週当たり（父親）

(n=374)

(単位：日)

平均日数	5.42日
最大	7日
最小	3日

図表 1日当たり（父親）

(n=374)

		(単位：時間)
平均時間		9.30時間
最大		17時間
最小		1時間

《(2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。》

問 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

- 前問で父親が「就労している」と回答した方 (n=374) の出発時刻、帰宅時刻の平均から、主に7時~7時30分に出発、19時~19時30分に帰宅しているとみられます。

図表 出発時刻（父親）

(n=374)

		(単位：時刻)
平均出発時刻		7:21
最大		16:00
最小		2:00

図表 帰宅時刻（父親）

(n=374)

		(単位：時刻)
平均帰宅時刻		19:23
最大		26:00
最小		12:00

2. フルタイムへ転換希望

《前問の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。》

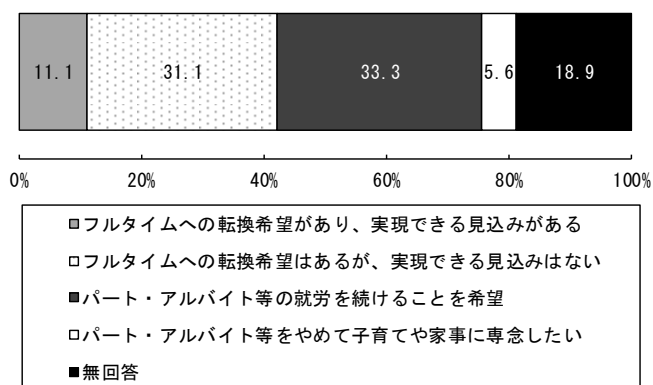
問 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

○ 前問で母親が「パート・アルバイト等で就労している」と回答した方(n=90)のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が33.3%と最も多くなっています。次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が31.1%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が11.1%となっています。

図表 フルタイムへ転換希望(母親)

n=90



(n=90)

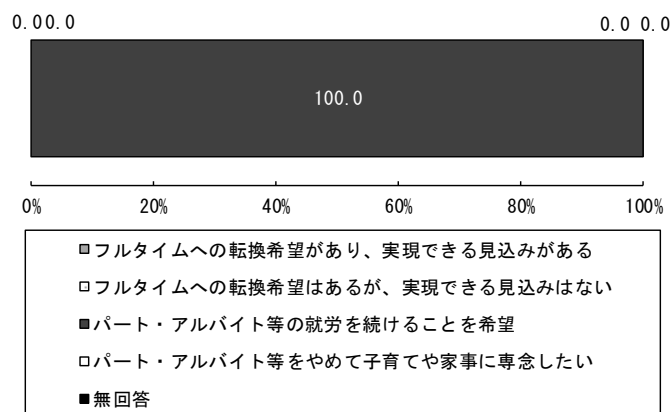
	回答数	構成比
1 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	10	11.1%
2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	28	31.1%
3 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	30	33.3%
4 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	5	5.6%
無回答	17	18.9%

(2) 父親

- 前問で父親が「パート・アルバイト等で就労している」と回答した方 (n=2) のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 100%となっています。

図表 フルタイムへ転換希望 (父親)

n=2



(n=2)

	回答数	構成比
1 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	0	0.0%
2 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	0	0.0%
3 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	2	100.0%
4 パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0%
無回答	0	0.0%

3. 就労意向

《前問の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。》

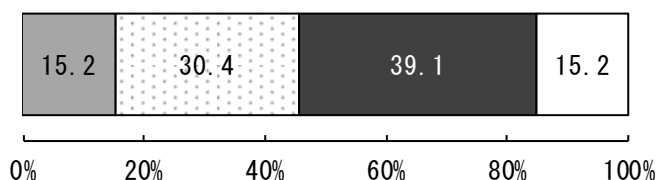
問 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください

(1) 母親

- 前問で母親が「現在は就労していない（したことがない）」と回答した方（n=92）の就労意向については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が39.1%、「1年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい」が30.4%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が15.2%となっています。
- また、「1年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい」と回答した方の就労したい時期となる一番下の子ども年齢については、平均で4.0歳となっています。
- なお、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方（n=36）のうち、希望する就労形態については、「パート・アルバイト等」が83.3%、「フルタイム」が13.5%となっています。

図表 就労希望（母親）

n=92



- 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 1年より先、一番下の子どもが ●歳になったところに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答

(n=92)

	回答数	構成比
1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	14	15.2%
2 1年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい	28	30.4%
3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	36	39.1%
無回答	14	15.2%

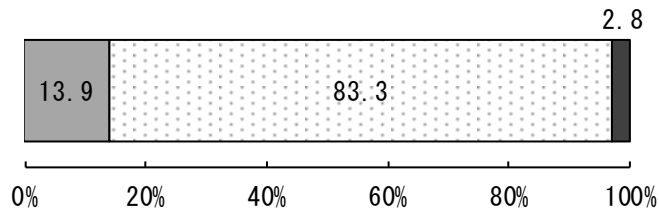
図表 一番下の子どもが●歳になったころに就労したい（母親）

(n=28)

		(単位：歳)
平均年齢		4.04 歳
最 大		7 歳
最 小		1 歳

図表 希望する就労形態（母親）

n=36



- ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
- イ. パートタイム、アルバイト等 (「ア」以外)
- 無回答

(n=36)

3. (すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい)		回答数	構成比
ア	フルタイム	5	13.5%
イ	パート・アルバイト等 (「ア」以外)	30	83.3%
	無回答	1	2.7%

図表 (イ. の場合) 1 週当たり (母親)

(n=30)

		(単位：日)
平均日数		4.36 日
最 大		5 日
最 小		3 日

図表 (イ. の場合) 1 日当たり (母親)

(n=30)

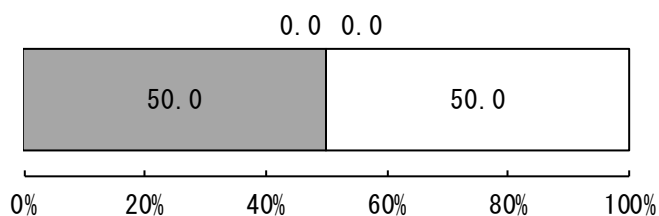
		(単位：時間)
平均時間		5.43 時間
最 大		8 時間
最 小		3 時間

(2) 父親

- 前問で父親が「現在は就労していない（したことがない）」と回答した方（n=2）のうち、父親の就労意向については、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が50.0%となっています。

図表 就労希望（父親）

n=2



- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答

(n=2)

	回答数	構成比
1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	1	50.0%
2 1年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい	0	0%
3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	0	0%
無回答	1	50.0%

Ⅱ-5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

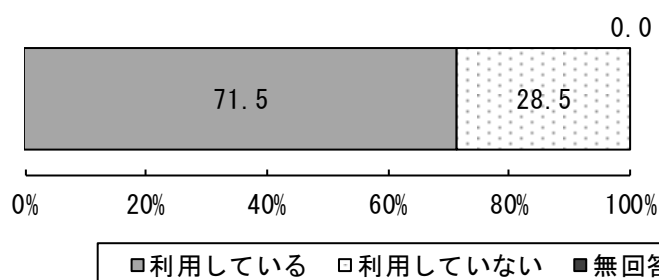
1. 定期的な教育・保育施設等の利用

問 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 定期的な教育・保育施設等について、「利用している」が71.5%、「利用していない」が28.5%となっています。

図表 定期的な教育・保育施設等の利用

n=424



(n=424)

	回答数	構成比
1 利用している	303	71.5%
2 利用していない	121	28.5%
無回答	0	0.0%

- 定期的な教育・保育施設等の利用を年齢層別にみると、「利用している」の割合が0～2歳で4割、3～5歳、6歳以上で9割となっています。

図表 定期的な教育・保育事業の利用（地区別・年齢層別）

	利用している	利用していない
築館 (n=87)	70.1%	29.9%
若柳 (n=82)	69.5%	30.5%
栗駒 (n=64)	76.6%	23.4%
高清水 (n=18)	83.3%	16.7%
一迫 (n=34)	79.4%	20.6%
瀬峰 (n=30)	70.0%	30.0%
鶯沢 (n=9)	55.6%	44.4%
金成 (n=46)	65.2%	34.8%
志波姫 (n=50)	70.0%	30.0%
花山 (n=4)	75.0%	25.0%
0歳～2歳 (n=184)	41.3%	58.7%
3歳～5歳 (n=185)	93.5%	6.5%
6歳以上 (n=54)	98.1%	1.9%

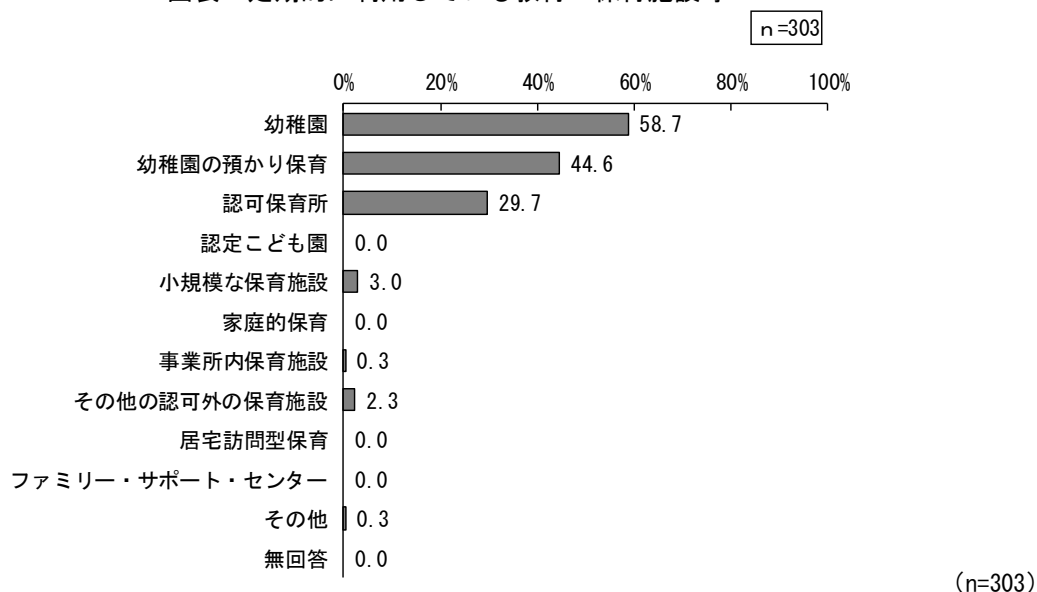
2. 定期的に利用している教育・保育施設等

《前問で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。》

問 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 前問で定期的な教育・保育施設等を「利用している」と回答した方 (n=303) のうち、利用している施設については、「幼稚園」が 58.7%と最も多くなっています。次いで「幼稚園の預かり保育」が 44.6%、「認可保育所」が 29.7%となっています。

図表 定期的に利用している教育・保育施設等



	回答数	構成比
1 幼稚園	178	58.7%
2 幼稚園の預かり保育	135	44.6%
3 認可保育所	90	29.7%
4 認定こども園	0	0.0%
5 小規模な保育施設	9	3.0%
6 家庭的保育	0	0.0%
7 事業所内保育施設	1	0.3%
8 その他の認可外の保育施設	7	2.3%
9 居宅訪問型保育	0	0.0%
10 ファミリー・サポート・センター	0	0.0%
11 その他	1	0.3%
無回答	0	0.0%

3. 定期的に利用している教育・保育施設等の利用頻度

《前問で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。》

問 平日に定期的にご利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

（1）現在の利用

- 前問で定期的な教育・保育施設等を「利用している」と回答した方（n=303）のうち、利用頻度についての各平均は、1週間当たりの日数が5.12日、1日当たりの利用時間が8.11時間となっています。
- また、利用希望の各平均は、1週間当たりの日数が5.19日、1日当たりの利用時間が8.46時間となっています。

図表 1週間当たりの日数（現在の利用）

(n=303)	
(単位：日)	
平均日数	5.12日
最大	6日
最小	3日

図表 1日当たりの時間数（現在の利用）

(n=303)	
(単位：時間)	
平均時間	8.11時間
最大	12時間
最小	4時間

図表 開始時刻（現在の利用）

(n=303)	
(単位：時刻)	
平均開始時刻	8：24
最大	13：00
最小	7：00

図表 終了時刻（現在の利用）

(n=303)	
(単位：時刻)	
平均終了時刻	16：38
最大	19：00
最小	13：00

(2) 利用希望

図表 1 週間当たりの日数 (利用希望)

		(n=303)
		(単位：日)
平均日数		5.19 日
最 大		7 日
最 小		4 日

図表 1 日当たりの時間数 (利用希望)

		(n=303)
		(単位：時間)
平均時間		8.46 時間
最 大		14 時間
最 小		4 時間

図表 開始時刻 (利用希望)

		(n=303)
		(単位：時刻)
平均開始時刻		8 : 21
最 大		13 : 00
最 小		7 : 00

図表 終了時刻 (利用希望)

		(n=303)
		(単位：時刻)
平均終了時刻		16 : 58
最 大		20 : 00
最 小		13 : 00

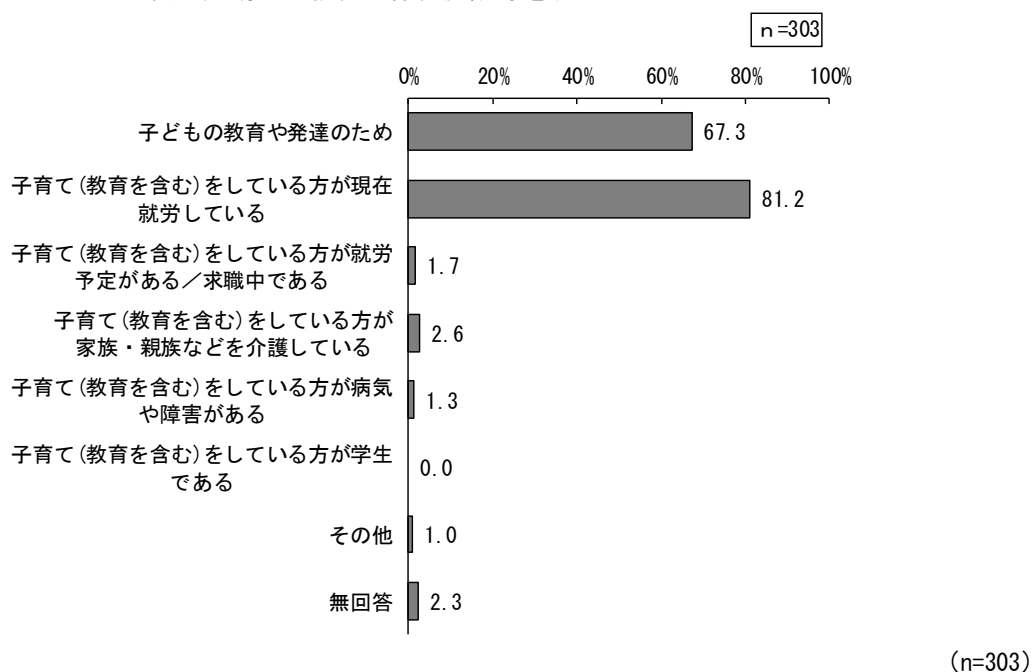
4. 定期的に教育・保育施設等を利用している理由

《前問で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。》

問 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 前問で定期的な教育・保育施設等を「利用している」と回答した方（n=303）のうち、利用の理由については、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が81.2%と最も多くなっています。次いで「子どもの教育や発達のため」が67.3%、「子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している」が2.6%となっています。

図表 定期的に教育・保育施設等を利用している理由



	回答数	構成比
1 子どもの教育や発達のため	204	67.3%
2 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している	246	81.2%
3 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定である／求職中である	5	1.7%
4 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している	8	2.6%
5 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある	4	1.3%
6 子育て（教育を含む）をしている方が学生である	0	0.0%
7 その他	3	1.0%
無回答	7	2.3%

- 定期的に教育・保育施設等を利用している理由を地区別にみると、若柳、高清水、花山で「子どもの教育や発達のため」が最上位に挙がっており、その他の地区では「子育てをしている方が現在就労している」が最上位となっています。

図表 教育・保育事業を利用している理由（地区別・年齢層別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
築館 (n=61)	子育てをしている方が現在就労している 86.9%	子どもの教育や発達のため 65.6%	子育てをしている方が就労予定がある/ 求職中である 1.6%
若柳 (n=57)	子どもの教育や発達のため 71.9%	子育てをしている方が現在就労している 70.2%	子育てをしている方が病気や 障害がある 5.3%
栗駒 (n=49)	子育てをしている方が現在就労している 77.6%	子どもの教育や発達のため 61.2%	子育てをしている方が家族・親族など を介護している 4.1%
高清水 (n=15)	子どもの教育や発達のため 86.7%	子育てをしている方が現在就労している 80.0%	子育てをしている方が就労予定がある/ 求職中である 6.7%
一迫 (n=27)	子育てをしている方が現在就労している 88.9%	子どもの教育や発達のため 63.0%	—
瀬峰 (n=21)	子育てをしている方が現在就労している 85.7%	子どもの教育や発達のため 76.2%	子育てをしている方が就労予定がある/ 求職中である 子育てをしている方が家族・親族など を介護している 4.8%
鶯沢 (n=5)	子育てをしている方が現在就労している 100.0%	子どもの教育や発達のため 60.0%	子育てをしている方が家族・親族など を介護している 20.0%
金成 (n=30)	子育てをしている方が現在就労している 80.0%	子どもの教育や発達のため 63.3%	—
志波姫 (n=35)	子育てをしている方が現在就労している 85.7%	子どもの教育や発達のため 65.7%	子育てをしている方が家族・親族など を介護している 5.7%
花山 (n=3)	子育てをしている方が現在就労している 子どもの教育や発達のため 66.7%	—	—
0歳~2歳 (n=76)	子育てをしている方が現在就労している 96.1%	子どもの教育や発達のため 52.6%	子育てをしている方が就労予定がある/ 求職中である 子育てをしている方が家族・親族など を介護している 1.3%
3歳~5歳 (n=173)	子育てをしている方が現在就労している 76.3%	子どもの教育や発達のため 72.3%	子育てをしている方が家族・親族など を介護している 3.5%
6歳以上 (n=53)	子育てをしている方が現在就労している 77.4%	子どもの教育や発達のため 71.7%	子育てをしている方が就労予定がある/ 求職中である 3.8%

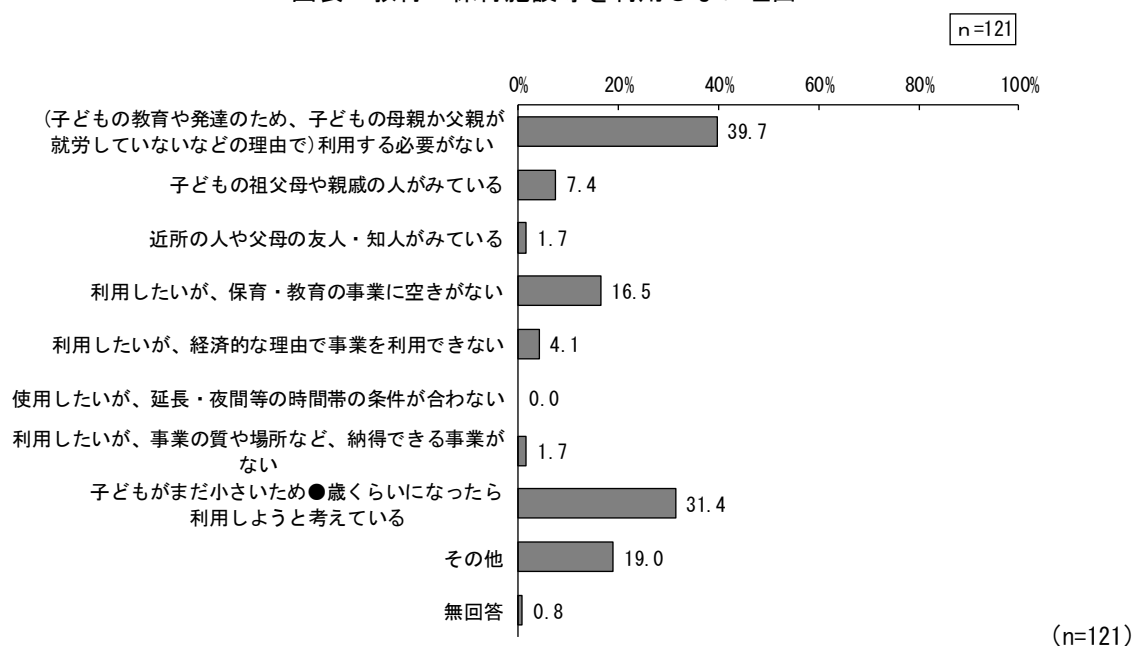
5. 教育・保育施設等を利用しない理由

《前問で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。》

問 利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 前問で定期的な教育・保育施設等を「利用していない」と回答した方 (n=121) のうち、利用していない理由については、「利用する必要がない」が 39.7%と最も多くなっています。次いで「子どもがまだ小さいため●歳くらいになったら利用しようと考えている」が 31.4%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が 16.5%となっています。
- また、「子どもがまだ小さいため●歳くらいになったら利用しようと考えている」と回答した方 (n=38) のうち、利用開始の希望年齢は 1.65 歳となっています。

図表 教育・保育施設等を利用しない理由



	回答数	構成比
1 (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない	48	39.7%
2 子どもの祖父母や親戚の人がみている	9	7.4%
3 近所の人や父母の友人・知人がみている	2	1.7%
4 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	20	16.5%
5 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	5	4.1%
6 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	0	0.0%
7 利用したいが、質や場所など、納得できる事業がない	2	1.7%
8 子どもがまだ小さいため●歳くらいになったら利用しようと考えている	38	31.4%
9 その他	23	19.0%
無回答	1	0.8%

図表 子どもが●歳になったら（利用しない理由）

(n=38)

		(単位：歳)
平均年齢		1.65歳
最大		4歳
最小		1歳

- 定期的に教育・保育施設等を利用していない理由を地区別にみると、築館で「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」、瀬峰、鶯沢で「子どもがまだ小さいため●歳くらいになったら利用しようと考えている」が最上位に挙がっており、その他の地区では「利用する必要がない」が最上位となっています。

図表 教育・保育施設等を利用しない理由（地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
築館 (n=26)	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない 34.6%	利用する必要がない 30.8%	子どもがまだ小さいため●歳くらいになったら利用しようと考えている 23.1%
若柳 (n=25)	利用する必要がない 28.0%	子どもがまだ小さいため●歳くらいになったら利用しようと考えている 24.0%	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない 16.0%
栗駒 (n=15)	利用する必要がない 60.0%	子どもがまだ小さいため●歳くらいになったら利用しようと考えている 33.3%	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない 13.3%
高清水 (n=3)	利用する必要がない 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない 子どもがまだ小さいため●歳くらいになったら利用しようと考えている 33.3%	—	—
一迫 (n=7)	利用する必要がない 57.1%	子どもがまだ小さいため●歳くらいになったら利用しようと考えている 28.6%	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない 14.3%
瀬峰 (n=9)	子どもがまだ小さいため●歳くらいになったら利用しようと考えている 44.4%	利用する必要がない 22.2%	子どもの祖父母や親戚の人がみている 11.1%
鶯沢 (n=4)	子どもがまだ小さいため●歳くらいになったら利用しようと考えている 75.0%	利用する必要がない 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない 25.0%	—
金成 (n=16)	利用する必要がない 43.8%	子どもがまだ小さいため●歳くらいになったら利用しようと考えている 31.3%	子どもの祖父母や親戚の人がみている 18.8%
志波姫 (n=15)	利用する必要がない 53.3%	子どもがまだ小さいため●歳くらいになったら利用しようと考えている 40.0%	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない 6.7%
花山 (n=1)	利用する必要がない 100.0%	—	—

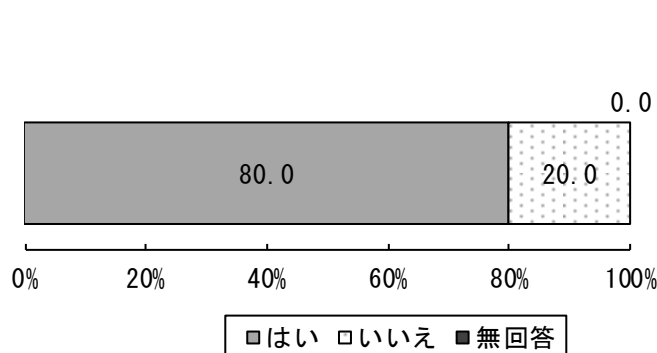
6. 幼児教育無償化となった場合の教育・保育施設等の利用意向

《前問で「5. 経済的な理由で事業を利用できない」に○をつけた方にうかがいます。》

問 今後幼児教育が無償化となった場合、教育・保育施設等を利用したいと思いますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 前問で教育・保育施設等を利用しない理由として「経済的な理由で事業を利用できない」と回答した方（n=5）のうち、幼児教育無償化後の教育・保育施設等の利用意向については、「はい」が80.0%、「いいえ」が20.0%となっています。

図表 幼児教育無償化となった場合の教育・保育施設等を利用したいか



		(n=5)	
		回答数	構成比
1	はい	4	80.0%
2	いいえ	1	20.0%
	無回答	0	0.0%

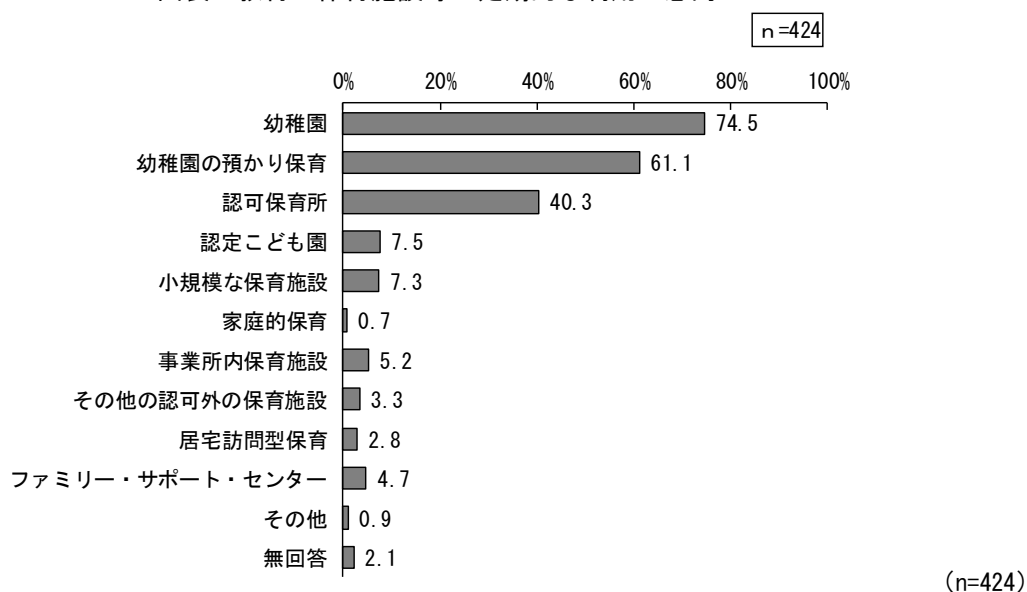
7. 定期的な教育・保育事業の利用意向

《すべての方にうかがいます。》

問 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 教育・保育施設等の定期的な利用の意向については、「幼稚園」が74.5%と最も多くなっています。次いで「幼稚園の預かり保育」が61.1%、「認可保育所」が40.3%となっています。

図表 教育・保育施設等の定期的な利用の意向



	回答数	構成比
1 幼稚園	316	74.5%
2 幼稚園の預かり保育	259	61.1%
3 認可保育所	171	40.3%
4 認定こども園	32	7.5%
5 小規模な保育施設	31	7.3%
6 家庭的保育	3	0.7%
7 事業所内保育施設	22	5.2%
8 その他の認可外の保育施設	14	3.3%
9 居宅訪問型保育	12	2.8%
10 ファミリー・サポート・センター	20	4.7%
11 その他	4	0.9%
無回答	9	2.1%

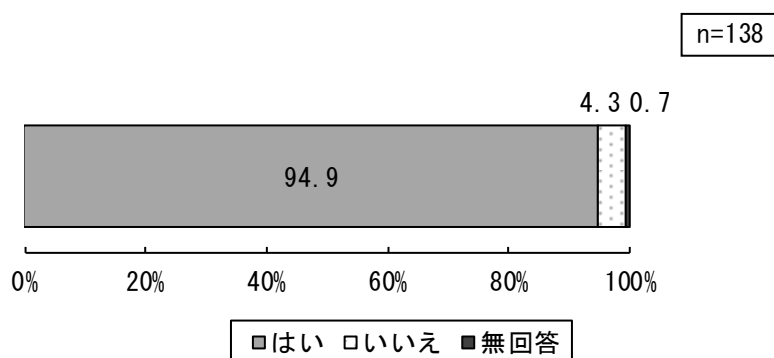
8. 幼稚園の利用意向

《前問で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～11にも○をつけた方にうかがいます。》

問 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 前問で教育・保育施設等の定期的な利用の意向で幼稚園（預かり保育を含む）を希望した方（n=138）の幼稚園の利用意向については、「はい」が94.9%、「いいえ」が4.3%となっています。

図表 幼稚園の利用意向



(n=138)

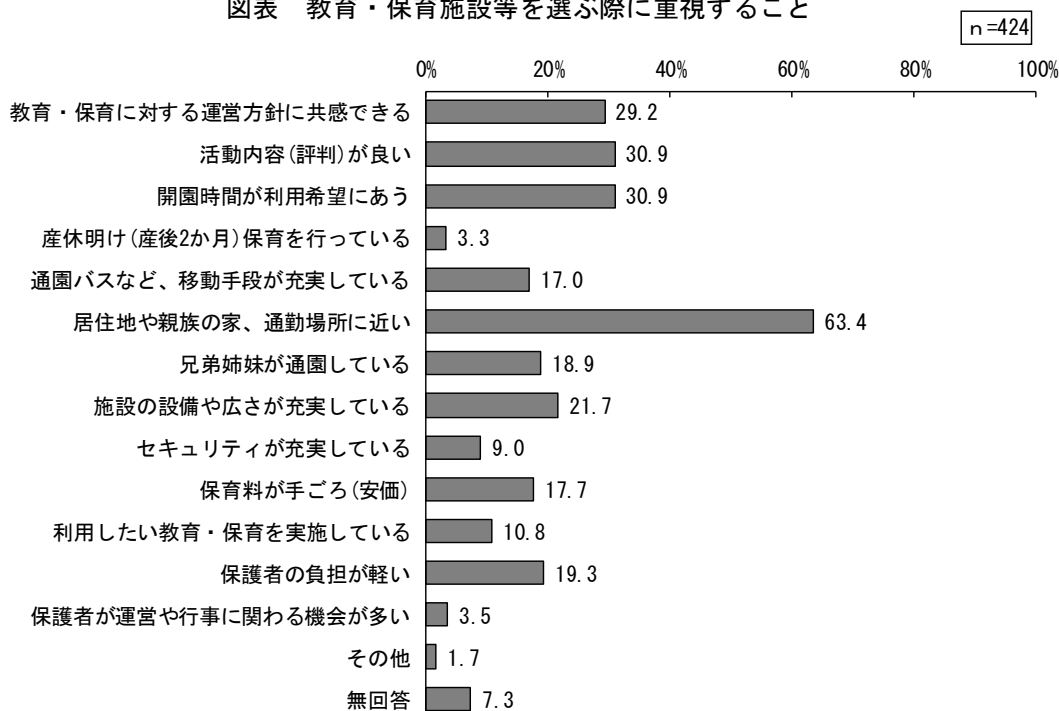
	回答数	構成比
1 はい	131	94.9%
2 いいえ	6	4.3%
無回答	1	0.7%

9. 教育・保育施設等を選ぶ際に重視すること

問 宛名のお子さんを預ける教育・保育施設を選ぶ際、申し込む際にどのようなことを重視しますか。あてはまる番号3つまでに○をつけてください。

- 教育・保育施設等を選ぶ際に重視することについては、「居住地や親族の家、通勤場所に近い」が63.4%と最も多くなっています。次いで「活動内容（評判）が良い」、「開園時間が利用希望に合う」が、ともに30.9%となっています。

図表 教育・保育施設等を選ぶ際に重視すること



(n=424)

	回答数	構成比
1 教育・保育に対する運営方針に共感できる	124	29.2%
2 活動内容（評判）が良い	131	30.9%
3 開園時間が利用希望に合う	131	30.9%
4 産休明け（産後2ヶ月）保育を行っている	14	3.3%
5 通園バスなど、移動手段が充実している	72	17.0%
6 居住地や親族の家、通勤場所に近い	269	63.4%
7 兄弟姉妹が通園している	80	18.9%
8 施設の設備や広さが充実している	92	21.7%
9 セキュリティが充実している	38	9.0%
10 保育料が手ごろ（安価）	75	17.7%
11 利用したい教育・保育を実施している	46	10.8%
12 保護者の負担が軽い	82	19.3%
13 保護者が運営や行事にかかわる機会が多い	15	3.5%
14 その他	7	1.7%
無回答	31	7.3%

- 教育・保育施設等を選ぶ際に重視することを地区別にみると、全体の回答と同様に「居住地や親族の家、通勤場所に近い」等が上位に挙がっているほか、「教育・保育に対する運営方針に共感できる」、「施設の設備や広さが充実している」、「通園バスなど、移動手段が充実している」も上位に挙がっています。

図表 教育・保育施設を選ぶ際に重視すること（地区別・年齢層別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
築館 (n=87)	居住地や親族の家、通勤場所に近い 63.2%	開園時間が利用希望にあう 37.9%	活動内容(評判)が良い 33.3%
若柳 (n=82)	居住地や親族の家、通勤場所に近い 64.6%	教育・保育に対する運営方針に共感できる 36.6%	開園時間が利用希望にあう 35.4%
栗駒 (n=64)	居住地や親族の家、通勤場所に近い 60.9%	活動内容(評判)が良い 28.1%	施設の設備や広さが充実している 26.6%
高清水 (n=18)	居住地や親族の家、通勤場所に近い 66.7%	教育・保育に対する運営方針に共感できる 活動内容(評判)が良い 50.0%	施設の設備や広さが充実している 33.3%
一迫 (n=34)	居住地や親族の家、通勤場所に近い 73.5%	開園時間が利用希望にあう 47.1%	活動内容(評判)が良い 38.2%
瀬峰 (n=30)	居住地や親族の家、通勤場所に近い 70.0%	開園時間が利用希望にあう 30.0%	活動内容(評判)が良い 施設の設備や広さが充実している 保護者の負担が軽い 26.7%
鶯沢 (n=9)	居住地や親族の家、通勤場所に近い 55.6%	教育・保育に対する運営方針に共感できる 44.4%	活動内容(評判)が良い 開園時間が利用希望にあう 33.3%
金成 (n=46)	居住地や親族の家、通勤場所に近い 65.2%	活動内容(評判)が良い 32.6%	開園時間が利用希望にあう 通園バスなど、移動手段が充実している 28.3%
志波姫 (n=50)	居住地や親族の家、通勤場所に近い 56.0%	教育・保育に対する運営方針に共感できる 38.0%	活動内容(評判)が良い 26.0%
花山 (n=4)	教育・保育に対する運営方針に共感できる 活動内容(評判)が良い 75.0%	利用したい教育・保育を実施している 保護者の負担が軽い 50.0%	「兄弟姉妹が通園している」 を除く選択肢 25.0%
0歳~2歳 (n=184)	居住地や親族の家、通勤場所に近い 66.3%	活動内容(評判)が良い 34.8%	開園時間が利用希望にあう 29.9%
3歳~5歳 (n=185)	居住地や親族の家、通勤場所に近い 62.7%	開園時間が利用希望にあう 33.5%	活動内容(評判)が良い 29.2%
6歳以上 (n=54)	居住地や親族の家、通勤場所に近い 55.6%	教育・保育に対する運営方針に共感できる 31.5%	開園時間が利用希望にあう 通園バスなど、移動手段が充実している 25.9%

Ⅱ-6 地域の子育て支援事業の利用状況について

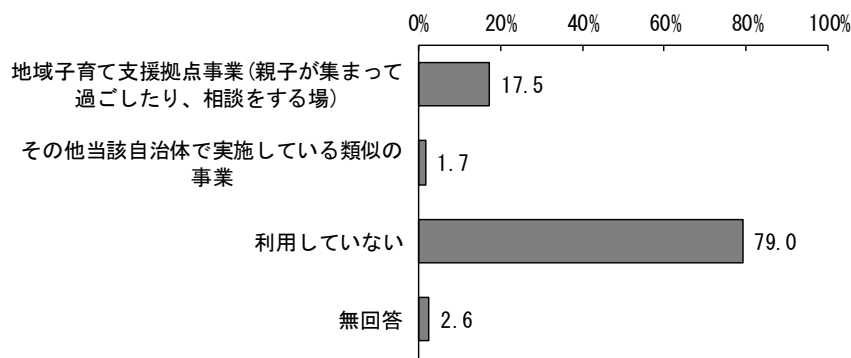
1. 地域子育て支援拠点事業の利用

問 宛名のお子さんへ、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

- 地域子育て支援拠点事業の利用状況として、「地域子育て支援拠点事業」の利用は 17.5%、「その他当該自治体で実施している類似の事業」の利用は 1.7%となっています。
- 「利用していない」と回答した方は 79.0%と最も多くなっています。

図表 地域子育て支援拠点事業の利用

n=424



	回答数	構成比
1 地域子育て支援拠点事業	74	17.5%
2 その他当該自治体で実施している類似の事業	7	1.7%
3 利用していない	335	79.0%
無回答	11	2.6%

図表 地域子育て支援拠点事業（1週当たり）

(n=74)

(単位：回)

平均回数	1.78回
最大	4回
最小	1回

図表 地域子育て支援拠点事業（1ヶ月当たり）

(n=74)

(単位：回)

平均回数	3.46回
最大	18回
最小	1回

図表 その他当該自治体で実施している類似の事業（1週当たり）

(n=7)

(単位：回)	
平均回数	2回
最大	3回
最小	1回

図表 その他当該自治体で実施している類似の事業（1ヶ月当たり）

(n=7)

(単位：回)	
平均回数	1回
最大	1回
最小	1回

2. 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向

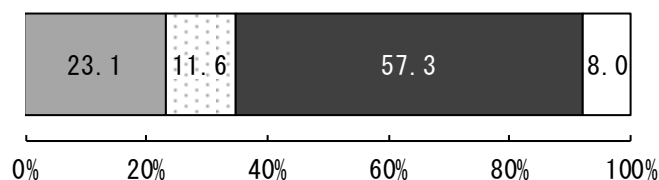
問 前問のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

（1）今後の利用意向

- 地域子育て支援拠点事業の今後利用意向については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 57.3%と最も多くなっています。次いで、「利用していないが、今後利用したい」が 23.1%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 11.6%となっています。
- なお、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を合わせた、今後の利用意向は 34.7%となっています。

図表 今後の利用意向

n=424



- 利用していないが、今後利用したい
- すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
- 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない
- 無回答

(n=424)		
	回答数	構成比
1 利用していないが、今後利用したい	98	23.1%
2 すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	49	11.6%
3 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	243	57.3%
無回答	34	8.0%

(2) 今後の利用移行（利用していないが、今後利用したい）

- 「利用していないが、今後利用したい」回答者（n=98）について、1週間当たりの平均は1.76回、1ヶ月当たりの平均は2.76回となっています。

図表 利用していないが、今後利用したい（1週間当たり）

(n=98)	
(単位：回)	
平均回数	1.76回
最大	5回
最小	1回

図表 利用していないが、今後利用したい（1ヶ月当たり）

(n=98)	
(単位：回)	
平均回数	2.76回
最大	12回
最小	1回

(3) 今後の利用移行（すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい）

- 「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」回答者（n=49）について、1週間当たりの平均は2.06回、1ヶ月当たりの平均は6.16回となっています。

図表 すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい（1週間当たり）

(n=49)	
(単位：回)	
平均回数	2.06回
最大	5回
最小	1回

図表 すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい（1ヶ月当たり）

(n=49)	
(単位：回)	
平均回数	6.16回
最大	20回
最小	1回

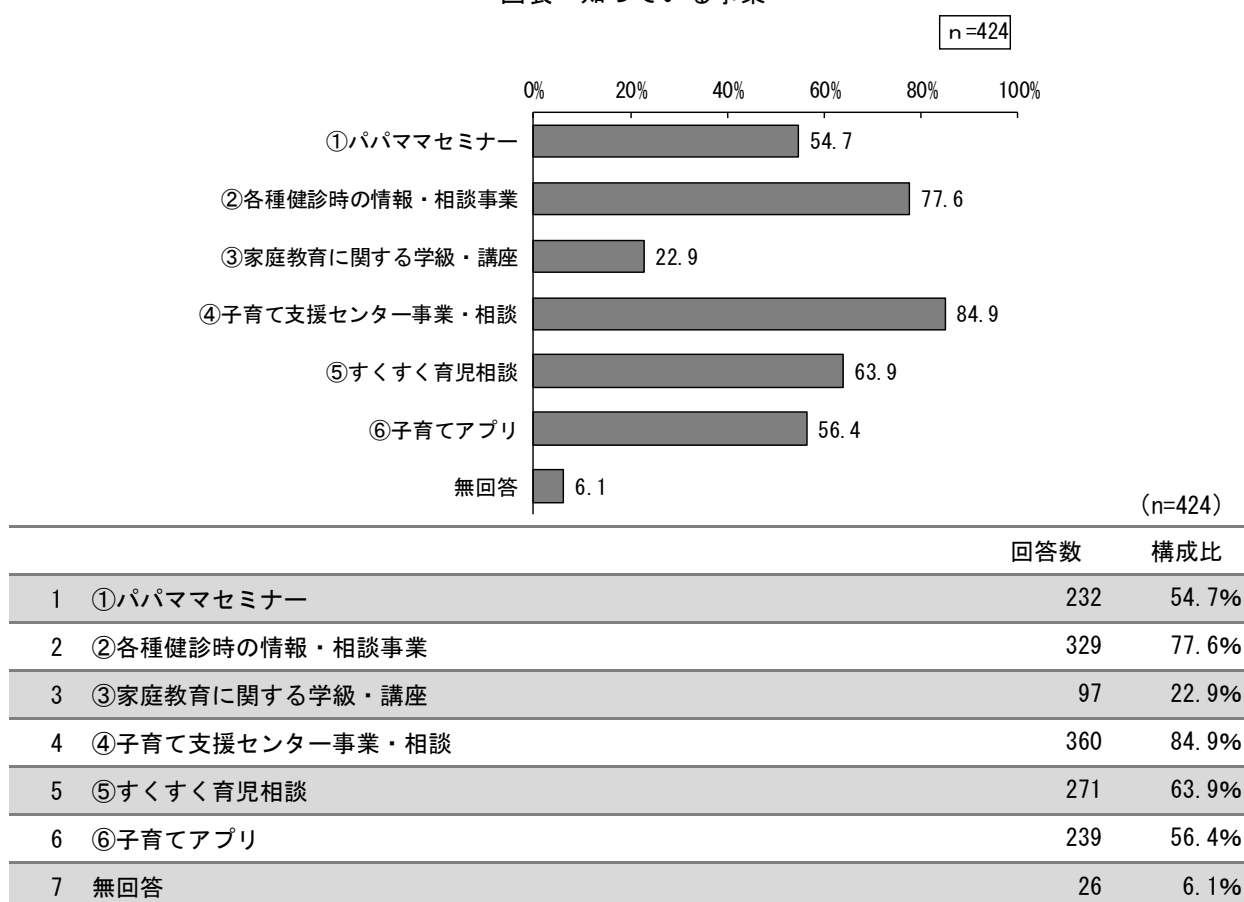
3. 各事業の認知度、利用の有無、今後の意向

問 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑥の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

(1) 知っている事業

○ 知っている事業については、「子育て支援センター事業・相談」が84.9%と最も多くなっています。次いで「各種健診時の情報・相談事業」が77.6%、「すくすく育児相談」が63.9%となっています。

図表 知っている事業



- 知っている事業を地区別にみると、一迫、花山で「各種健診時の情報・相談事業」が、それ以外の地区で「子育て支援センター事業・相談」が最上位に挙がっています。

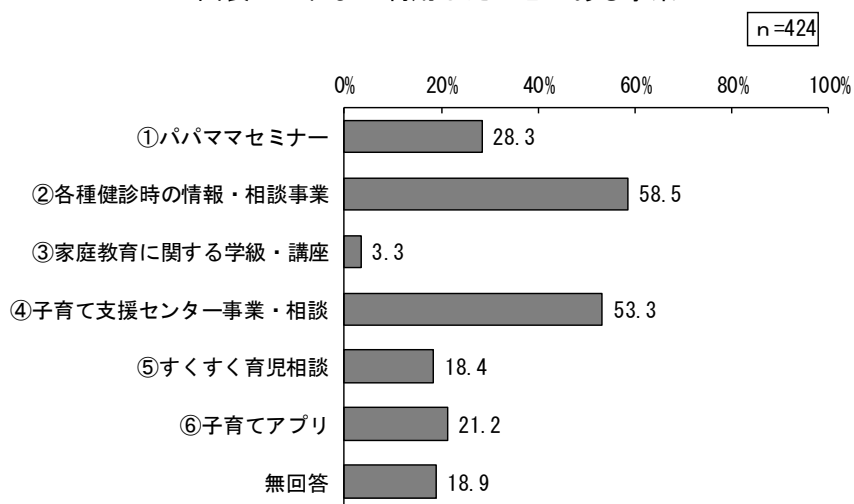
図表 知っている事業（地区別・年齢層別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
築館 (n=87)	子育て支援センター事業・相談 87.4%	各種健診時の情報・相談事業 79.3%	すくすく育児相談 73.6%
若柳 (n=82)	子育て支援センター事業・相談 82.9%	各種健診時の情報・相談事業 73.2%	すくすく育児相談 53.7%
栗駒 (n=64)	子育て支援センター事業・相談 85.9%	各種健診時の情報・相談事業 79.7%	パパママセミナー 73.4%
高清水 (n=18)	子育て支援センター事業・相談 94.4%	各種健診時の情報・相談事業 66.7%	すくすく育児相談 61.1%
一迫 (n=34)	各種健診時の情報・相談事業 85.3%	子育て支援センター事業・相談 79.4%	パパママセミナー 67.6%
瀬峰 (n=30)	子育て支援センター事業・相談 83.3%	各種健診時の情報・相談事業 80.0%	すくすく育児相談 66.7%
鶯沢 (n=9)	子育て支援センター事業・相談 88.9%	各種健診時の情報・相談事業 66.7%	パパママセミナー すくすく育児相談 子育てアプリ 55.6%
金成 (n=46)	子育て支援センター事業・相談 87.0%	各種健診時の情報・相談事業 82.6%	すくすく育児相談 56.5%
志波姫 (n=50)	子育て支援センター事業・相談 84.0%	各種健診時の情報・相談事業 74.0%	すくすく育児相談 68.0%
花山 (n=4)	各種健診時の情報・相談事業 75.0%	子育て支援センター事業・相談 50.0%	パパママセミナー すくすく育児相談 子育てアプリ 25.0%
0歳~2歳 (n=184)	子育て支援センター事業・相談 87.5%	各種健診時の情報・相談事業 79.9%	すくすく育児相談 73.9%
3歳~5歳 (n=185)	子育て支援センター事業・相談 83.8%	各種健診時の情報・相談事業 75.7%	すくすく育児相談 57.8%
6歳以上 (n=54)	子育て支援センター事業・相談 79.6%	各種健診時の情報・相談事業 75.9%	すくすく育児相談 51.9%

(2) これまで利用したことがある事業

- これまで利用したことがある事業については、「各種健診時の情報・相談事業」が58.5%と最も多くなっています。次いで「子育て支援センター事業・相談」が53.3%、「パパママセミナー」が28.3%となっています。

図表 これまで利用したことがある事業



(n=424)

	回答数	構成比
1 ①パパママセミナー	120	28.3%
2 ②各種健診時の情報・相談事業	248	58.5%
3 ③家庭教育に関する学級・講座	14	3.3%
4 ④子育て支援センター事業・相談	226	53.3%
5 ⑤すくすく育児相談	78	18.4%
6 ⑥子育てアプリ	90	21.2%
7 無回答	80	18.9%

- これまで利用したことがある事業を地区別にみると、栗駒、高清水で「子育て支援センター事業・相談」が、それ以外の地区で「各種健診時の情報・相談事業」が最上位に挙がっています。

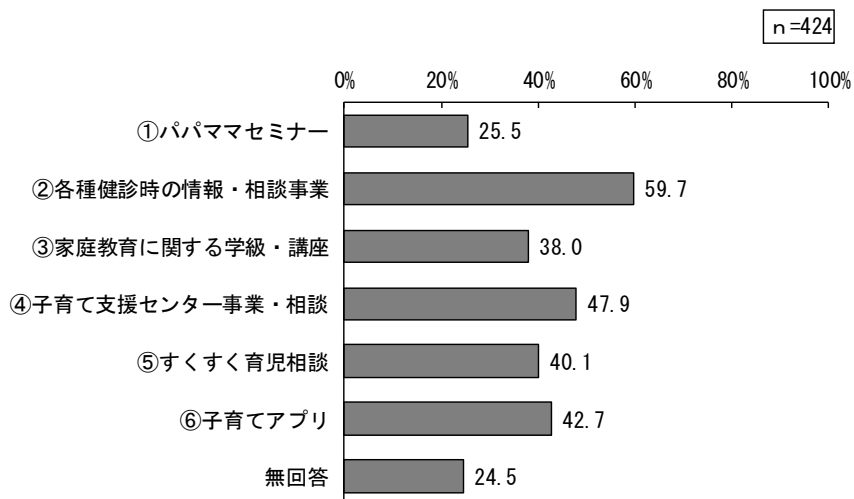
図表 これまで利用したことがある事業（地区別・年齢層別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
築館 (n=87)	各種健診時の情報・相談事業 65.5%	子育て支援センター事業・相談 62.1%	パパママセミナー 34.5%
若柳 (n=82)	各種健診時の情報・相談事業 子育て支援センター事業・相談 52.4%	子育てアプリ 29.3%	すくすく育児相談 15.9%
栗駒 (n=64)	子育て支援センター事業・相談 53.1%	各種健診時の情報・相談事業 51.6%	パパママセミナー 28.1%
高清水 (n=18)	子育て支援センター事業・相談 61.1%	各種健診時の情報・相談事業 44.4%	パパママセミナー 22.2%
一迫 (n=34)	各種健診時の情報・相談事業 70.6%	子育て支援センター事業・相談 38.2%	パパママセミナー 32.4%
瀬峰 (n=30)	各種健診時の情報・相談事業 73.3%	子育て支援センター事業・相談 56.7%	パパママセミナー 26.7%
鶯沢 (n=9)	各種健診時の情報・相談事業 66.7%	子育て支援センター事業・相談 44.4%	パパママセミナー 33.3%
金成 (n=46)	各種健診時の情報・相談事業 60.9%	子育て支援センター事業・相談 52.2%	パパママセミナー 26.1%
志波姫 (n=50)	各種健診時の情報・相談事業 50.0%	子育て支援センター事業・相談 48.0%	パパママセミナー 42.0%
花山 (n=4)	各種健診時の情報・相談事業 子育て支援センター事業・相談 50.0%	パパママセミナー 25.0%	—
0歳~2歳 (n=184)	各種健診時の情報・相談事業 58.7%	子育て支援センター事業・相談 49.5%	子育てアプリ 33.7%
3歳~5歳 (n=185)	子育て支援センター事業・相談 56.2%	各種健診時の情報・相談事業 55.7%	パパママセミナー 26.5%
6歳以上 (n=54)	各種健診時の情報・相談事業 66.7%	子育て支援センター事業・相談 55.6%	パパママセミナー 22.2%

(3) 今後利用したい事業

- 今後利用したい事業については、「各種健診時の情報・相談事業」が 59.7%と最も多くなっています。次いで「子育て支援センター事業・相談」が 47.9%、「子育てアプリ」が 42.7%となっています。

図表 今後利用したい事業



(n=424)

	回答数	構成比
1 ①パパママセミナー	108	25.5%
2 ②各種健診時の情報・相談事業	253	59.7%
3 ③家庭教育に関する学級・講座	161	38.0%
4 ④子育て支援センター事業・相談	203	47.9%
5 ⑤すくすく育児相談	170	40.1%
6 ⑥子育てアプリ	181	42.7%
7 無回答	104	24.5%

- 今後利用したい事業を地区別にみると、高清水で「家庭教育に関する学級・講座」が、それ以外の地区で「各種健診時の情報・相談事業」が最上位に挙がっています。

図表 今後利用したい事業（地区別・年齢層別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
築館 (n=87)	各種健診時の情報・相談事業 63.2%	子育て支援センター事業・相談 56.3%	すくすく育児相談 子育てアプリ 47.1%
若柳 (n=82)	各種健診時の情報・相談事業 54.9%	子育て支援センター事業・相談 45.1%	子育てアプリ 37.8%
栗駒 (n=64)	各種健診時の情報・相談事業 56.3%	子育て支援センター事業・相談 48.4%	子育てアプリ 42.2%
高清水 (n=18)	家庭教育に関する学級・講座 50.0%	各種健診時の情報・相談事業 子育て支援センター事業・相談 すくすく育児相談 33.3%	子育てアプリ 27.8%
一迫 (n=34)	各種健診時の情報・相談事業 61.8%	子育て支援センター事業・相談 55.9%	家庭環境に関する学級・講座 すくすく育児相談 子育てアプリ 38.2%
瀬峰 (n=30)	各種健診時の情報・相談事業 76.7%	すくすく育児相談 60.0%	家庭環境に関する学級・講座 56.7%
鶯沢 (n=9)	各種健診時の情報・相談事業 77.8%	家庭環境に関する学級・講座 子育てアプリ 55.6%	子育て支援センター事業・相談 すくすく育児相談 44.4%
金成 (n=46)	各種健診時の情報・相談事業 63.0%	子育てアプリ 47.8%	子育て支援センター事業・相談 43.5%
志波姫 (n=50)	各種健診時の情報・相談事業 58.0%	子育て支援センター事業・相談 46.0%	子育てアプリ 44.0%
花山 (n=4)	各種健診時の情報・相談事業 子育て支援センター事業・相談 50.0%	—	—
0歳~2歳 (n=184)	各種健診時の情報・相談事業 68.5%	子育て支援センター事業・相談 62.5%	すくすく育児相談 51.1%
3歳~5歳 (n=185)	各種健診時の情報・相談事業 53.5%	子育てアプリ 41.1%	子育て支援センター事業・相談 38.9%
6歳以上 (n=54)	各種健診時の情報・相談事業 50.0%	家庭環境に関する学級・講座 33.3%	子育て支援センター事業・相談 27.8%

Ⅱ-7 土曜・休日や長期休暇中の保育施設等の利用について

1. 土・日・祝日の定期的な教育・保育施設等の利用希望

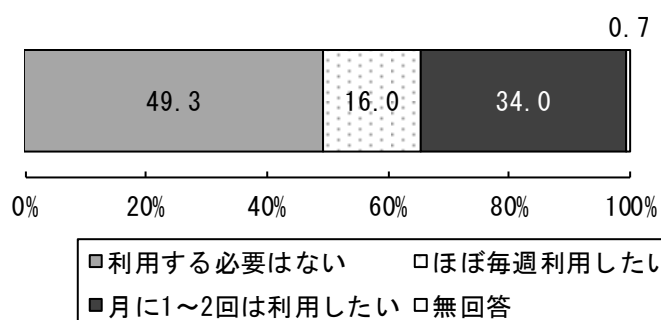
問 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 土曜日

- 土曜日の定期的な教育・保育施設等の利用希望について、「利用する必要はない」が49.3%、「ほぼ毎週利用したい」が16.0%、「月に1～2回は利用したい」が34.0%となっています。

図表 利用希望（土曜日）

n=424



(n=424)

	回答数	構成比
1 利用する必要はない	209	49.3%
2 ほぼ毎週利用したい	68	16.0%
3 月に1～2回は利用したい	144	34.0%
無回答	3	0.7%

図表 利用したい時間帯（開始時刻・終了時刻：土曜日）

(n=212)

(単位：時刻)

平均開始時刻	8 : 09
最大	10 : 00
最小	6 : 00

(単位：時刻)

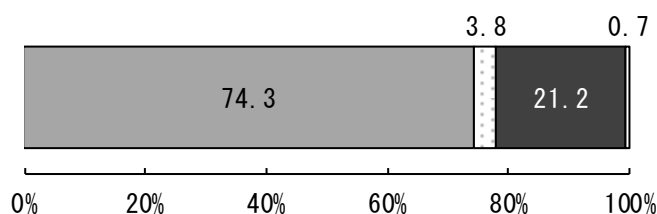
平均終了時刻	17 : 05
最大	20 : 00
最小	12 : 00

(2) 日曜・祝日

- 日・祝日の定期的な教育・保育施設等の利用希望について、「利用する必要はない」が74.3%、「ほぼ毎週利用したい」が3.8%、「月に1～2回は利用したい」が21.2%となっています。

図表 利用希望（日曜・祝日）

n=424



□ 利用する必要はない □ ほぼ毎週利用したい
 ■ 月に1～2回は利用したい □ 無回答

(n=424)

	回答数	構成比
1 利用する必要はない	315	74.3%
2 ほぼ毎週利用したい	16	3.8%
3 月に1～2回は利用したい	90	21.2%
無回答	3	0.7%

図表 利用したい時間帯（開始時刻・終了時刻：日曜・祝日）

(n=106)

(単位：時刻)

平均開始時刻	8 : 14
最大	10 : 00
最小	6 : 00

(単位：時刻)

平均終了時刻	17 : 14
最大	20 : 00
最小	12 : 00

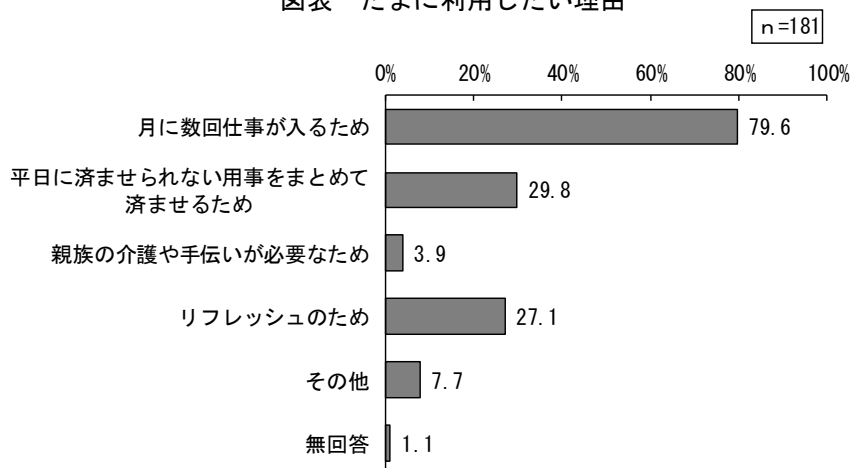
2. 毎週ではなく、たまに利用したい理由

《前問の(1)もしくは(2)で「3. 月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にかがいます。》

問 毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

○ 前問の土・日・祝日の幼稚園等の利用希望で「月に1~2回は利用したい」と回答した方(n=181)のうち、毎週ではなく、たまに利用したい理由については、「月に数回仕事が入るため」が79.6%と最も多くなっています。次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が29.8%、「リフレッシュのため」が27.1%となっています。

図表 たまに利用したい理由



(n=181)

	回答数	構成比
1 月に数回仕事が入るため	144	79.6%
2 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	54	29.8%
3 親族の介護や手伝いが必要なため	7	3.9%
4 リフレッシュのため	49	27.1%
5 その他	14	7.7%
無回答	2	1.1%

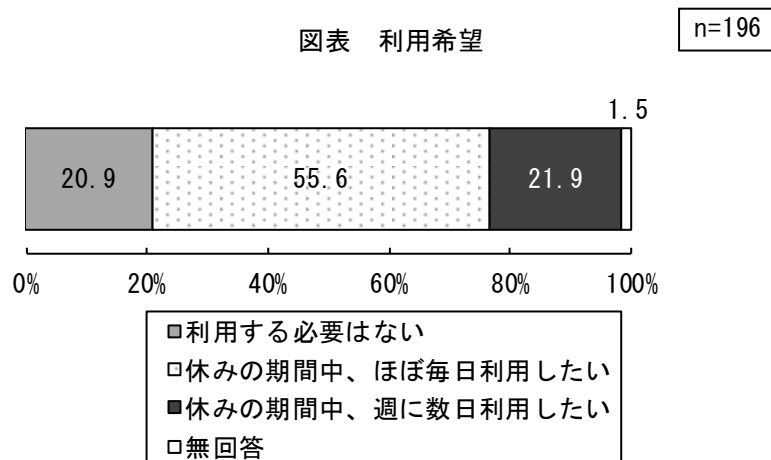
3. 長期休暇期間中の教育・保育施設等の利用希望

《「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。》

問 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。

(1) 利用希望

- 「幼稚園を利用している」と回答した方 (n=196) のうち、長期休暇期間中の教育・保育等の利用希望については、「利用する必要はない」が 20.9%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 55.6%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 21.9% となっています。



(n=196)		
	回答数	構成比
1 利用する必要はない	41	20.9%
2 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	109	55.6%
3 休みの期間中、週に数日利用したい	43	21.9%
無回答	3	1.5%

図表 利用したい時間帯 (開始時刻・終了時刻)

(n=152)

(単位: 時刻)

平均開始時刻	8 : 12
最大	10 : 00
最小	7 : 00

(単位: 時刻)

平均終了時刻	17 : 16
最大	20 : 00
最小	13 : 00

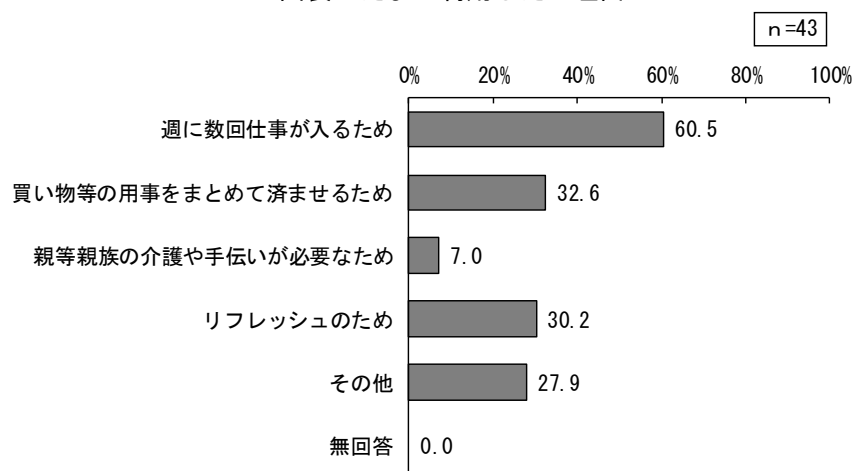
4. 毎日ではなく、たまに利用したい理由

《前問で「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。》

問 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 前問の長期休暇期間中の教育・保育等の利用希望で「週に数日利用したい」と回答した方 (n=43) のうち、毎日ではなく、たまに利用したい理由については、「週に数回仕事が入るため」が 60.5%と最も多くなっています。次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 32.6%、「リフレッシュのため」が 30.2%となっています。

図表 たまに利用したい理由



(n=43)

	回答数	構成比
1 週に数回仕事が入るため	26	60.5%
2 買い物等の用事をまとめて済ませるため	14	32.6%
3 親等親族の介護や手伝いが必要なため	3	7.0%
4 リフレッシュのため	13	30.2%
5 その他	12	27.9%
無回答	0	0.0%

Ⅱ-8 病気の際の対応について

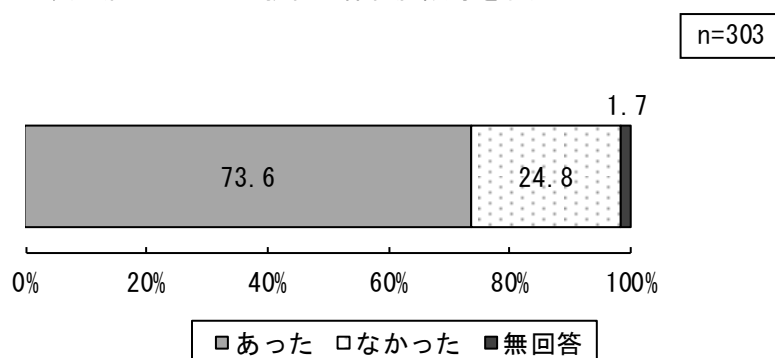
1. 病気やケガで教育・保育施設等を利用できなかったこと

《平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方にうかがいます。》

問 この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

- 「平日定期的に教育・保育事業を利用している」と回答した方 (n=303) のうち、病気やケガで教育・保育施設等を利用できなかったことについて、「あった」が73.6%、「なかった」が24.8%となっています。

図表 病気やケガで教育・保育施設等を利用できなかったこと



(n=303)		
	回答数	構成比
1 あった	223	73.6%
2 なかった	75	24.8%
無回答	5	1.7%

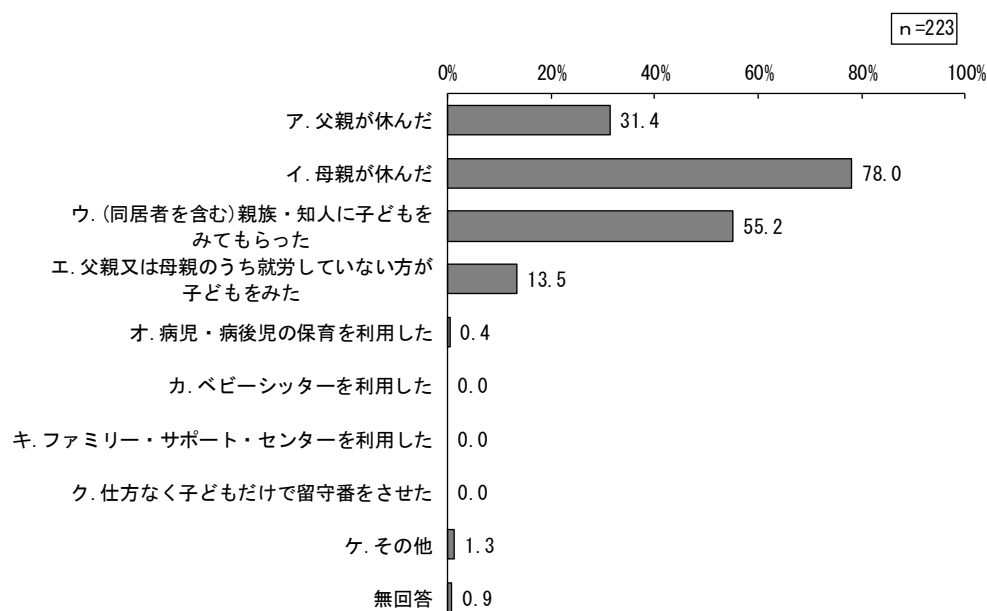
2. 教育・保育施設等が利用できなかった場合の対処方法

《前問で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。》

問 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字）。

○ 前問で病気やケガで教育・保育施設等を利用できなかったことが「あった」と回答した方（n=223）の対処方法については、「母親が休んだ」が78.0%と最も多くなっています。次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が55.2%、「父親が休んだ」が31.4%となっています。

図表 教育・保育施設等が利用できなかった場合の対処方法



(n=223)

	回答数	構成比
ア 父親が休んだ	70	31.4%
イ 母親が休んだ	174	78.0%
ウ (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	123	55.2%
エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	30	13.5%
オ 病児・病後児の保育を利用した	1	0.4%
カ ベビーシッターを利用した	0	0.0%
キ ファミリー・サポート・センター	0	0.0%
ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0	0.0%
ケ その他	3	1.3%
無回答	2	0.9%

図表 父親が休んだ日数

(n=70)

		(単位：日)
平均日数		3.94日
最大		20日
最小		1日

図表 母親が休んだ日数

(n=174)

		(単位：日)
平均日数		7.35日
最大		40日
最小		1日

図表 親族・知人に子どもをみてもらった日数

(n=123)

		(単位：日)
平均日数		7.88日
最大		60日
最小		1日

図表 就労していない方が子どもをみた日数

(n=30)

		(単位：日)
平均日数		8.62日
最大		30日
最小		1日

図表 病児・病後児の保育を利用した日数

(n=1)

		(単位：日)
平均日数		1日
最大		1日
最小		1日

図表 ベビーシッターを利用した日数

(n=0)

		(単位：日)
平均日数		一日
最大		一日
最小		一日

図表 ファミリー・サポート・センターを利用した日数

(n=0)

		(単位：日)
平均日数		—日
最 大		—日
最 小		—日

図表 子どもだけで留守番をさせた日数

(n=0)

		(単位：日)
平均日数		—日
最 大		—日
最 小		—日

図表 その他日数

(n=3)

		(単位：日)
平均日数		5.33日
最 大		9日
最 小		2日

3. 病児・病後児のための保育施設等の利用意向

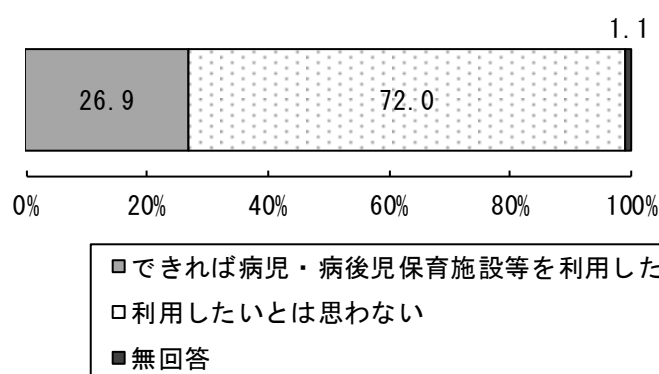
《前問で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にかがいます。》

問 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

- 前問で病気やケガで教育・保育施設等を利用できなかった際の対処方法として、「父親、または母親が休んだ」と回答した方（n=182）の病児・病後児のための保育施設等の利用については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が26.9%、「利用したいと思わない」が72.0%となっています。
- また、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方（n=49）の、利用したい日数の平均は5.19日となっています。

図表 病児・病後児のための保育施設等の利用意向

n=182



(n=182)

	回答数	構成比
1 できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	49	26.9%
2 利用したいと思わない	131	72.0%
無回答	2	1.1%

図表 病児・病後児保育施設等を利用したい日数

(n=49)

(単位：日)

平均日数	5.19日
最大	15日
最小	1日

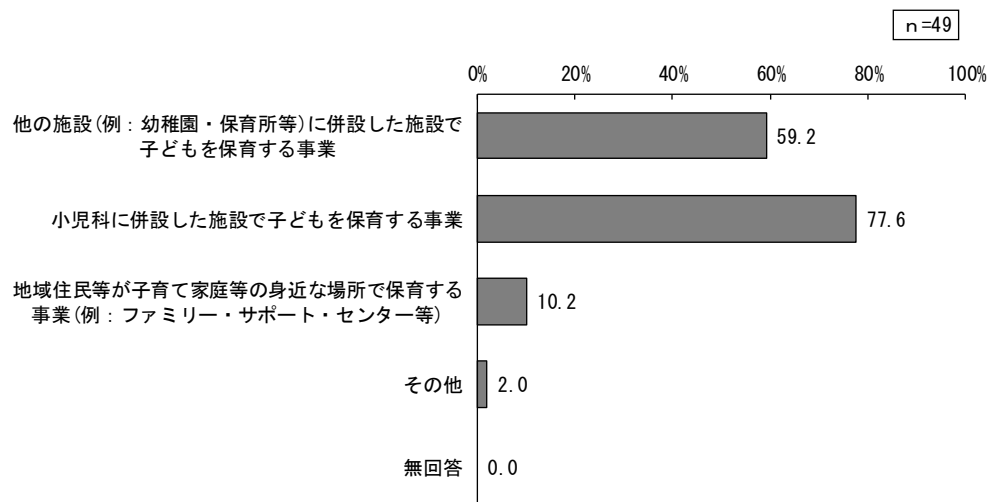
4. 病児・病後児保育施設等を利用の際に望ましい事業形態

《前問で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。》

問 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 前問で病児・病後児保育施設等を、「1. できれば利用したい」と回答した方 (n=49) のうち、病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態については、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 77.6%、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が 59.2%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が 10.2%となっています。

図表 病児・病後児保育施設等利用の際に望ましい事業形態



(n=49)		
	回答数	構成比
1 他の施設 (例：幼稚園・保育所等) に併設した施設で子どもを保育する事業	29	59.2%
2 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	38	77.6%
3 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業 (例：ファミリー・サポート・センター等)	5	10.2%
4 その他	1	2.0%
無回答	0	0.0%

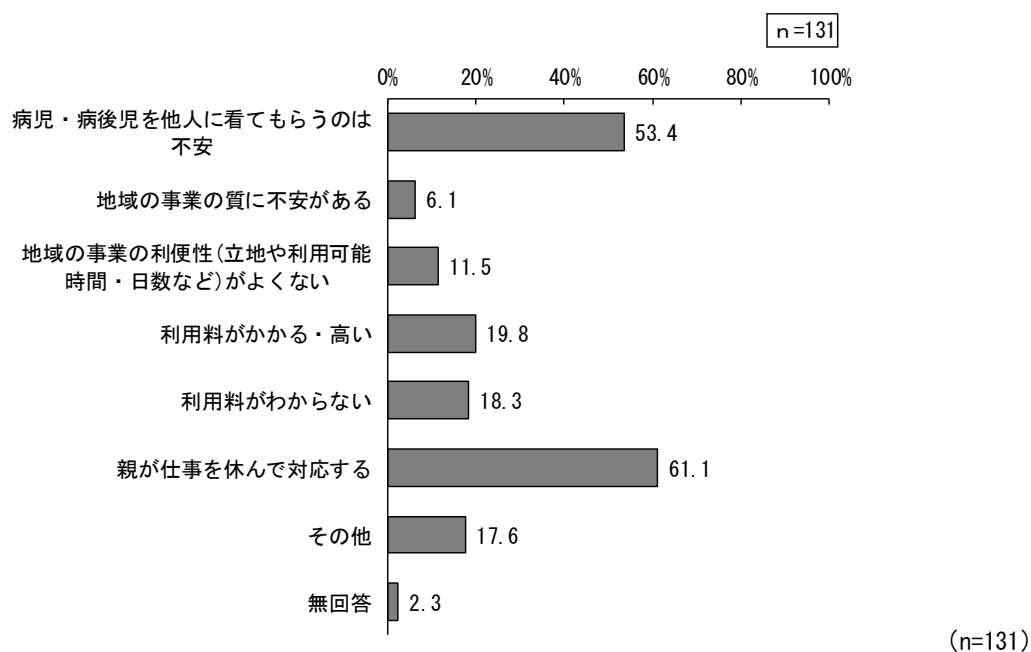
5. 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由

《前問で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。》

問 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 前問で病児・病後児保育施設等を、「利用したいと思わない」と回答した方 (n=131) のうち、利用したいと思わない理由については、「親が仕事を休んで対応する」が 61.1%と最も多くなっています。次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 53.4%、「利用料がかかる・高い」が 19.8%となっています。

図表 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由



	回答数	構成比
1 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	70	53.4%
2 地域の事業の質に不安がある	8	6.1%
3 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	15	11.5%
4 利用料がかかる・高い	26	19.8%
5 利用料がわからない	24	18.3%
6 親が仕事を休んで対応する	80	61.1%
7 その他	23	17.6%
無回答	3	2.3%

図表 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わない理由（地区別・年齢層別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
築館 (n=24)	親が休んで対応する 70.8%	病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 50.0%	利用料がわからない 20.8%
若柳 (n=23)	親が休んで対応する 69.6%	病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 52.2%	利用料がかかる・高い 21.7%
栗駒 (n=24)	病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 58.3%	親が休んで対応する 54.2%	地域の事業の利便性がよくない 利用料がかかる・高い 25.0%
高清水 (n=6)	親が休んで対応する 100.0%	病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 66.7%	—
一迫 (n=13)	病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 61.5%	親が休んで対応する 46.2%	利用料がわからない 23.1%
瀬峰 (n=10)	病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 60.0%	親が休んで対応する 40.0%	利用料がかかる・高い 30.0%
鶯沢 (n=1)	親が休んで対応する 100.0%	—	—
金成 (n=15)	親が休んで対応する 60.0%	病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 40.0%	利用料がかかる・高い 26.7%
志波姫 (n=14)	病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 親が休んで対応する 50.0%	利用料がかかる・高い 利用料がわからない 21.4%	—
花山 (n=1)	病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 利用料がかかる・高い 親が休んで対応する 100.0%	—	—
0歳~2歳 (n=37)	親が休んで対応する 56.8%	病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 54.1%	利用料がかかる・高い 利用料がわからない 16.2%
3歳~5歳 (n=78)	親が休んで対応する 61.5%	病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 57.7%	利用料がかかる・高い 21.8%
6歳以上 (n=16)	親が休んで対応する 68.8%	病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 31.3%	利用料がわからない 25.0%

6. 教育・保育施設等が利用できなかった場合に父母が休んでみたいか

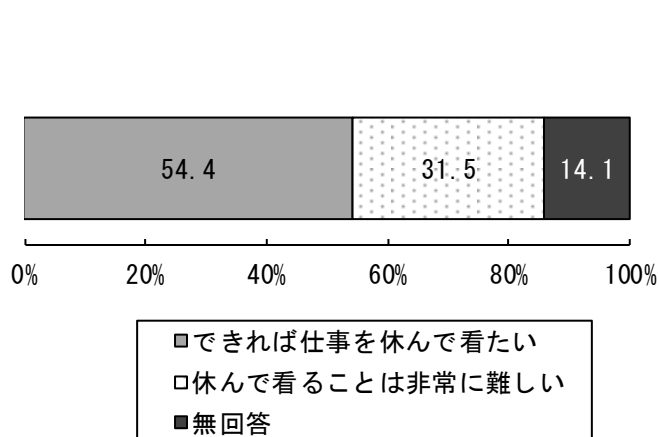
《2. の設問で「ウ.」から「ケ.」のいずれか（両親以外で対処した）に回答した方にうかがいます。》

問 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

なお、「エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」に回答した方は、就労していない父親又は母親がいても、就労している自分が看たいと思ったかについて回答してください。

- 病気やケガで教育・保育施設等を利用できなかった際に「両親以外で対処した」と回答した方（n=149）のうち、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいかについて、「できれば仕事を休んで看たい」が54.4%、「休んで看ることは非常に難しい」が31.5%となっています。
- また、「できれば仕事を休んで看たい」と回答した方（n=81）の、利用したい日数の平均は7.45日となっています。

図表 教育・保育施設等が利用できなかった場合に父母が休んでみたいか



(n=149)

	回答数	構成比
1 できれば仕事を休んで看たい	81	54.4%
2 休んで看ることは非常に難しい	47	31.5%
無回答	21	14.1%

図表 できれば仕事を休んで看たい日数

(n=81)

(単位：日)

平均日数	7.45日
最大	60日
最小	1日

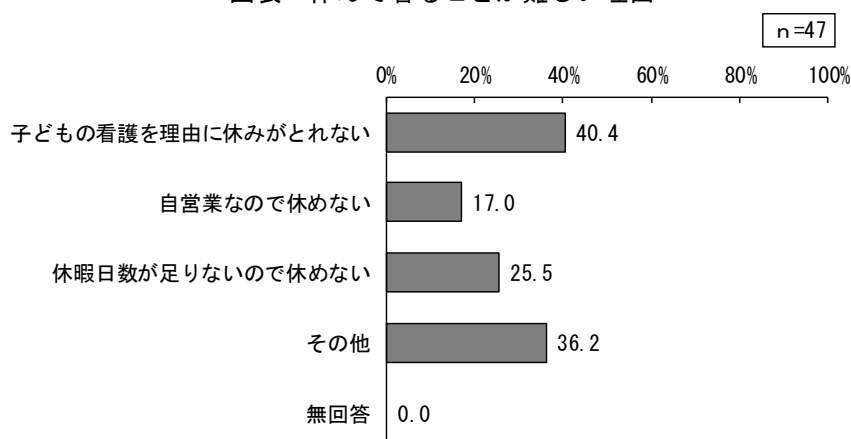
7. 休んで看ることが難しい理由

《前問で「2. 休んで看ことは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。》

問 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 前問で子どもが病気やケガで教育・保育施設等を利用できなかった際に「2. 休んで看ことは非常に難しい」と回答した方 (n=47) のうち、そう思う理由については、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 40.4%、「休假日数が足りないので休めない」が 25.5%、「自営業なので休めない」が 17.0%となっています。

図表 休んで看ることが難しい理由



	回答数	構成比
1 子どもの看護を理由に休みがとれない	19	40.4%
2 自営業なので休めない	8	17.0%
3 休假日数が足りないので休めない	12	25.5%
4 その他	17	36.2%
無回答	0	0.0%

- 休んで看ることが難しい理由を年齢層別にみると、年齢層が上がるとともに「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が増加しています。

図表 休んで看ることが難しい理由（年齢層別）

	子どもの看護を理由に休みがとれない	自営業なので休めない	休假日数が足りないので休めない
0歳～2歳 (n=14)	28.6%	14.3%	35.7%
3歳～5歳 (n=24)	37.5%	16.7%	20.8%
6歳以上 (n=9)	66.7%	22.2%	22.2%

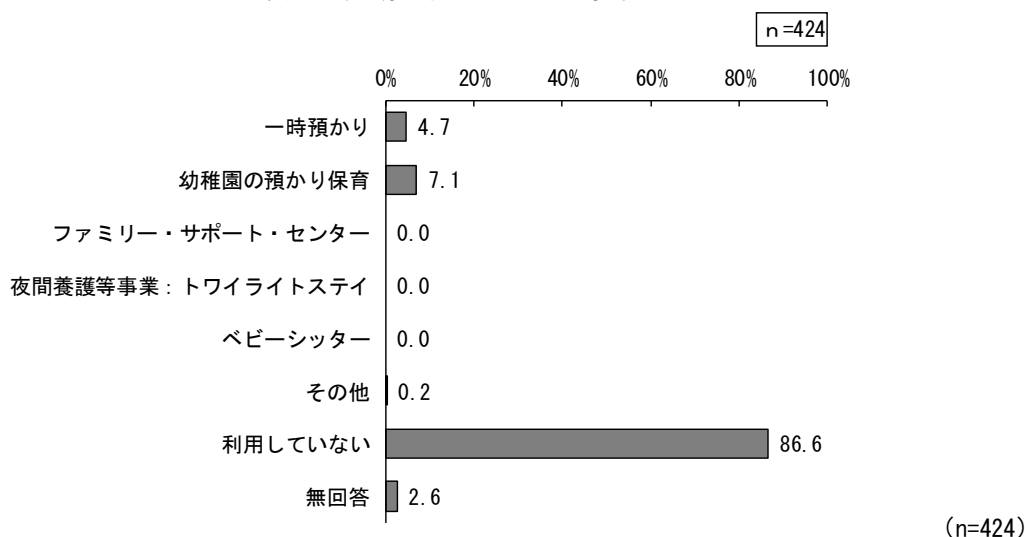
Ⅱ-9 一時預かり等の利用について

1. 不定期に利用している事業

問 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

- 不定期に利用している事業については、「利用していない」が86.6%と最も多くなっています。次いで「幼稚園の預かり保育」が7.1%、「一時預かり」が4.7%となっています。
- また、「幼稚園の預かり保育」と回答した方（n=30）の、利用日数の平均は9.16日、「一時預かり」と回答した方（n=20）の、利用日数の平均は20.68日となっています。

図表 不定期に利用している事業



	回答数	構成比
1 一時預かり	20	4.7%
2 幼稚園の預かり保育	30	7.1%
3 ファミリー・サポート・センター	0	0.0%
4 夜間養護等事業：トワイライトステイ	0	0.0%
5 ベビーシッター	0	0.0%
6 その他	1	0.2%
7 利用していない	367	86.6%
無回答	11	2.6%

図表 一時預かり利用日数

(n=20)

		(単位：日)
平均日数		9.16日
最大		80日
最小		1日

図表 幼稚園の預かり保育利用日数

(n=30)

		(単位：日)
平均日数		20.68日
最大		90日
最小		1日

図表 ファミリー・サポート・センター

(n=0)

		(単位：日)
平均日数		－日
最大		－日
最小		－日

図表 夜間養護等事業：トワイライトステイ

(n=0)

		(単位：日)
平均日数		－日
最大		－日
最小		－日

図表 ベビーシッター利用日数

(n=0)

		(単位：日)
平均日数		－日
最大		－日
最小		－日

図表 その他日数

(n=1)

		(単位：日)
平均日数		1日
最大		1日
最小		1日

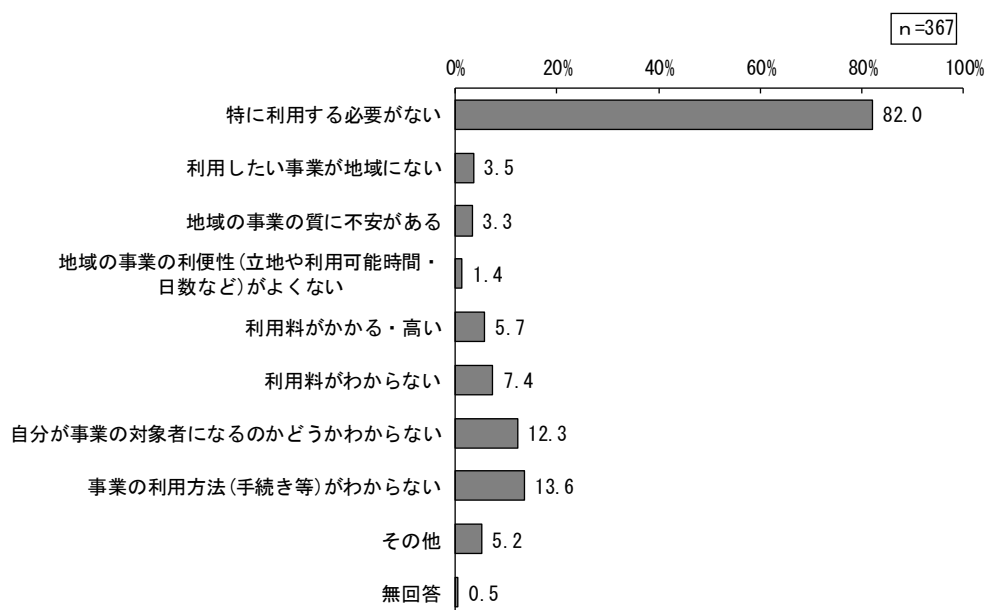
2. 不定期的に事業を利用していない理由

《前問で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。》

問 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 前問で不定期的に事業を「利用していない」と回答した方 (n=367) の利用していない理由については、「特に利用する必要がない」が 82.0%と最も多くなっています。次いで「事業の利用方法がわからない」が 13.6%、「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」が 12.3%となっています。

図表 不定期的に事業を利用していない理由



(n=367)

	回答数	構成比
1 特に利用する必要がない	301	82.0%
2 利用したい事業が地域にない	13	3.5%
3 地域の事業の質に不安がある	12	3.3%
4 地域の事業の利便性がよくない	5	1.4%
5 利用料がかかる・高い	21	5.7%
6 利用料がわからない	27	7.4%
7 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない	45	12.3%
8 事業の利用方法がわからない	50	13.6%
9 その他	19	5.2%
無回答	2	0.5%

図表 不定期に事業を利用していない理由（地区別・年齢層別：上位3項目）

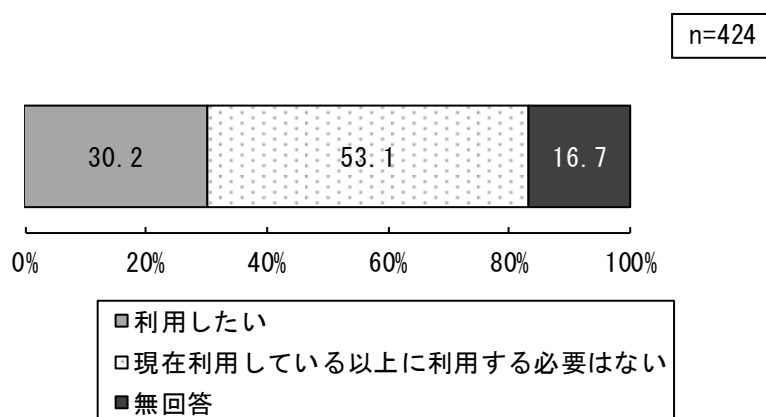
	第1位	第2位	第3位
築館 (n=78)	特に利用する必要がない 73.1%	事業の利用方法がわからない 17.9%	自分が事業の対象者になるのか どうかわからない 16.7%
若柳 (n=69)	特に利用する必要がない 78.3%	事業の利用方法がわからない 自分が事業の対象者になるのか どうかわからない 13.0%	利用料がかかる・高い 利用料がわからない 7.2%
栗駒 (n=55)	特に利用する必要がない 80.0%	自分が事業の対象者になるのか どうかわからない 12.7%	事業の利用方法がわからない 10.9%
高清水 (n=15)	特に利用する必要がない 93.3%	地域の事業の質に不安がある 利用料がかかる・高い 13.3%	利用したい事業が地域にない 利用料がわからない 自分が事業の対象者になるのか どうかわからない 事業の利用方法がわからない 6.7%
一迫 (n=28)	特に利用する必要がない 92.9%	利用したい事業が地域にない 自分が事業の対象者になるのか どうかわからない 7.1%	利用料がわからない 事業の利用方法がわからない 3.6%
瀬峰 (n=25)	特に利用する必要がない 84.0%	自分が事業の対象者になるのか どうかわからない 16.0%	事業の利用方法がわからない 12.0%
鶯沢 (n=8)	特に利用する必要がない 75.0%	地域の事業の質に不安がある 37.5%	事業の利用方法がわからない 12.5%
金成 (n=39)	特に利用する必要がない 84.6%	事業の利用方法がわからない 15.4%	地域の事業の質に不安がある 利用料がわからない 自分が事業の対象者になるのか どうかわからない 7.7%
志波姫 (n=47)	特に利用する必要がない 91.5%	事業の利用方法がわからない 17.0%	自分が事業の対象者になるのか どうかわからない 10.6%
花山 (n=3)	特に利用する必要がない 100.0%	利用料がかかる・高い 利用料がわからない 自分が事業の対象者になるのか どうかわからない 事業の利用方法がわからない 33.3%	—
0歳~2歳 (n=171)	特に利用する必要がない 75.4%	事業の利用方法がわからない 20.5%	自分が事業の対象者になるのか どうかわからない 17.0%
3歳~5歳 (n=149)	特に利用する必要がない 87.9%	自分が事業の対象者になるのか どうかわからない 8.1%	利用料がかかる・高い 事業の利用方法がわからない 6.7%
6歳以上 (n=46)	特に利用する必要がない 87.0%	事業の利用方法がわからない 10.9%	自分が事業の対象者になるのか どうかわからない 8.7%

3. 不定期に事業を利用する年間必要日数

問 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）。

○ 教育・保育の不定期な利用について、「利用したい」が30.2%、「現在利用している以上に利用する必要はない」が53.1%となっています。

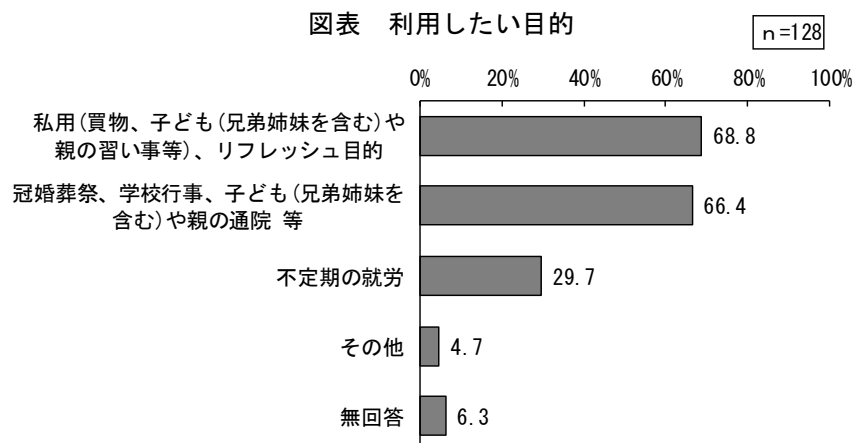
図表 利用希望



	回答数	構成比
1 利用したい	128	30.2%
2 現在利用している以上に利用する必要はない	225	53.1%
無回答	71	16.7%

(n=424)

○ また、「利用したい」(n=128) 際の目的は、「私用、リフレッシュ目的」が68.8%、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が66.4%、「不定期の就労」が29.7%となっています。



(n=128)		
	回答数	構成比
1 私用、リフレッシュ目的	88	68.8%
2 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	85	66.4%
3 不定期の就労	38	29.7%
4 その他	6	4.7%
無回答	8	6.3%

図表 利用したい日数（合計）

(n=128)	
(単位：日)	
平均日数	19.51日
最大	117日
最小	1日

図表 目的別の利用したい日数（私用・リフレッシュ目的）

(n=88)	
(単位：日)	
平均日数	11.92日
最大	96日
最小	1日

図表 目的別の利用したい日数（冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等）

(n=85)	
(単位：日)	
平均日数	6.52日
最大	24日
最小	1日

図表 目的別の利用したい日数（不定期の就労）

(n=38)	
(単位：日)	
平均日数	15.81日
最大	90日
最小	1日

図表 目的別の利用したい日数（その他）

(n=6)	
(単位：日)	
平均日数	17.80日
最大	60日
最小	2日

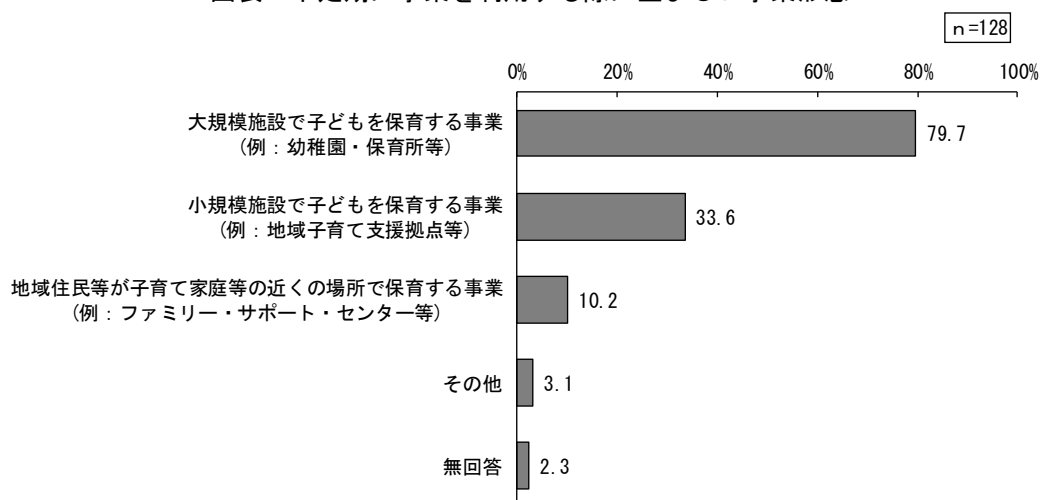
4. 不定期に事業を利用する際に望ましい事業形態

《前問で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいます。》

問 前問の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 前問で不定期に事業を「利用したい」と回答した方 (n=128) のうち、望ましい事業形態については、「大規模施設で子どもを保育する事業」が 79.7%、「小規模施設で子どもを保育する事業」が 33.6%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が 10.2%となっています。

図表 不定期に事業を利用する際に望ましい事業形態



(n=128)

	回答数	構成比
1 大規模施設で子どもを保育する事業 (例：幼稚園・保育所等)	102	79.7%
2 小規模施設で子どもを保育する事業 (例：地域子育て支援拠点等)	43	33.6%
3 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業 (例：ファミリー・サポート・センター等)	13	10.2%
4 その他	4	3.1%
無回答	3	2.3%

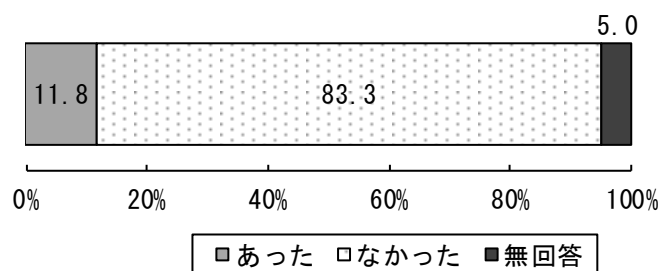
5. お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないこと

問 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

- 子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことの有無について、「あった」が11.8%、「なかった」が83.3%となっています。
- また、「あった」（n=50）際の対応について、「（同居者を含む）親族・知人にみもらった」が84.0%、「仕方なく子どもを同行させた」が18.0%、「短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した」が2.0%となっています。

図表 利用希望

n=424

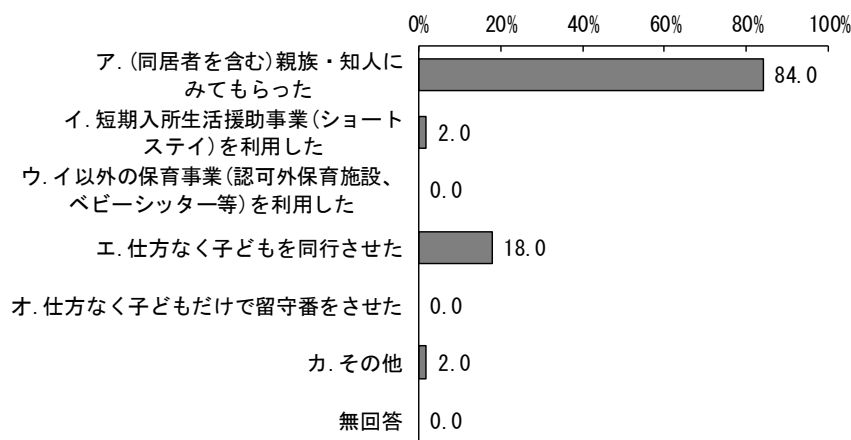


(n=424)

	回答数	構成比
1 あった	50	11.8%
2 なかった	353	83.3%
無回答	21	5.0%

図表 あった場合の対処方法

n=50



	回答数	構成比
ア (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	42	84.0%
イ 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	1	2.0%
ウ イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	0	0.0%
エ 仕方なく子どもを同行させた	9	18.0%
オ 仕方なく子どもだけで留守番させた	0	0.0%
カ その他	1	2.0%
無回答	0	0.0%

図表 親族・知人にみてもらった日数

		(n=42)
		(単位：日)
平均日数		6.95日
最大		90日
最小		1日

図表 短期入所生活援助事業を利用した日数

		(n=1)
		(単位：日)
平均日数		28日
最大		28日
最小		28日

図表 保育事業を利用した日数

		(n=0)
		(単位：日)
平均日数		日
最大		日
最小		日

図表 子どもを同行させた日数

		(n=9)
		(単位：日)
平均日数		1.38日
最大		3日
最小		1日

図表 子どもだけで留守番させた日数

(n=0)

		(単位：日)
平均日数		一日
最大		一日
最小		一日

図表 その他日数

(n=1)

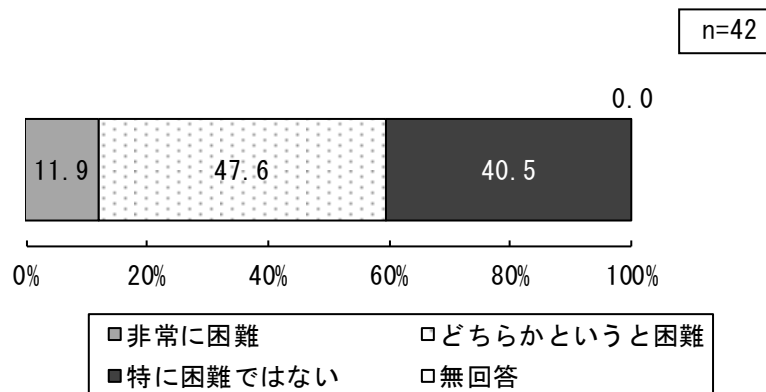
		(単位：日)
平均日数		5日
最大		5日
最小		5日

6. お子さんを泊りがけで親族・知人にみてもらうことの困難度

《「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。》
 問 「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらう」ために行った調整などについて、その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 前問で、泊りがけで子どもをみてもらったことがあり「親族・知人にみてもらった」と回答した方 (n=42) のうち、その困難度については、「どちらかという困難」が47.6%と最も多くなっています。
- また、「どちらかという困難」、「非常に困難」を合わせた“困難を感じる”割合は、59.5%、「特に困難ではない」が40.5%となっています。

図表 泊りがけで親族・知人にみてもらうことの困難度



(n=42)

	回答数	構成比
1 非常に困難	5	11.9%
2 どちらかという困難	20	47.6%
3 特に困難ではない	17	40.5%
無回答	0	0.0%

Ⅱ-10 職場の両立支援制度（育児休業、短時間勤務等）について

1. 育児休業の取得状況

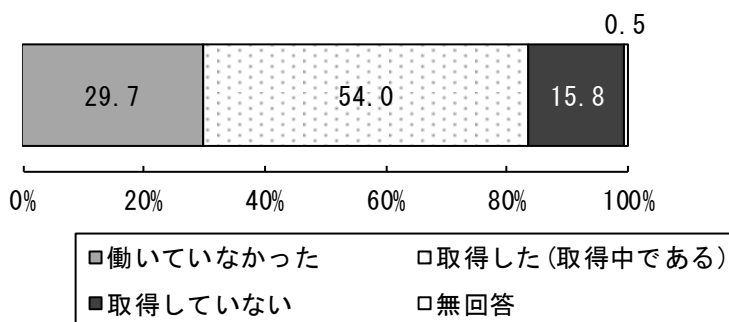
問 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

(1) 母親

- 母親の育児休業の取得状況について、「取得した（取得中である）」が 54.0%、「取得していない」が 15.8%となっています。
- また、「取得していない」と回答した方（n=67）のうち、その理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」が 41.8%と最も多くなっています。次いで「仕事が忙しかった」が 20.9%、「職場に育児休業の制度がなかった」が 19.4%となっています。

図表 育児休業の取得状況（母親）

n=424

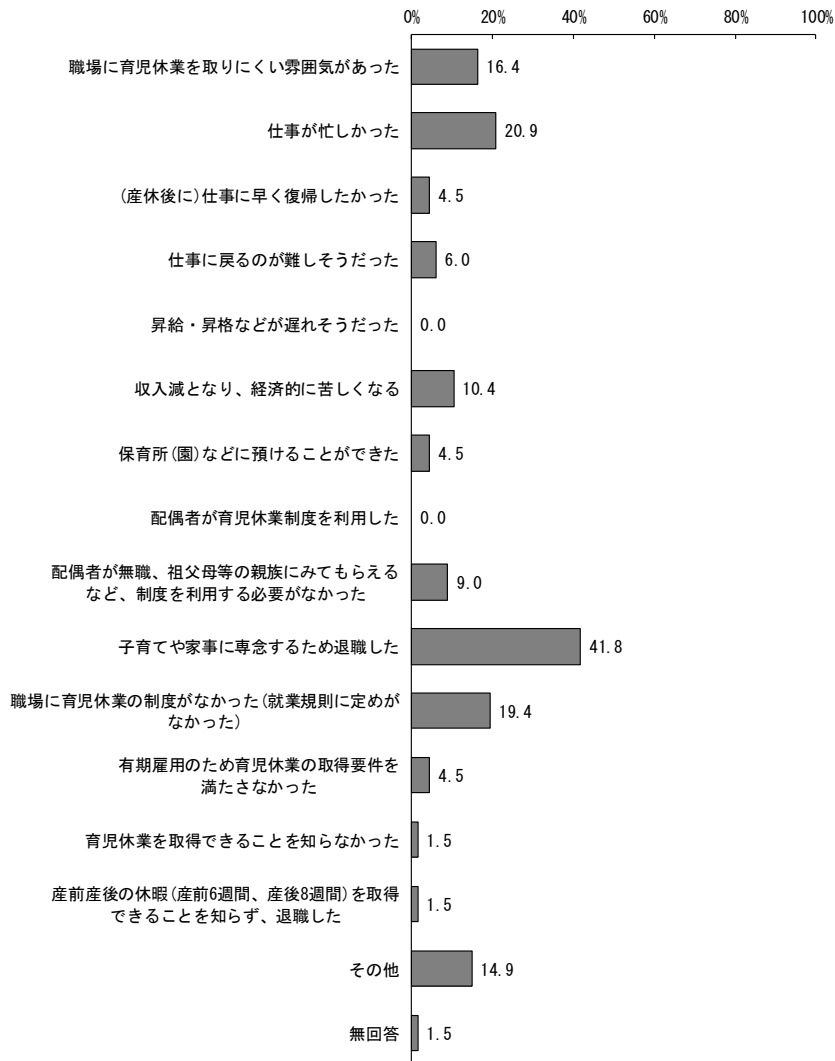


(n=424)

	回答数	構成比
1 働いていなかった	126	29.7%
2 取得した（取得中である）	229	54.0%
3 取得していない	67	15.8%
無回答	2	0.5%

図表 育児休業を取得していない理由（母親）

n=67



(n=67)

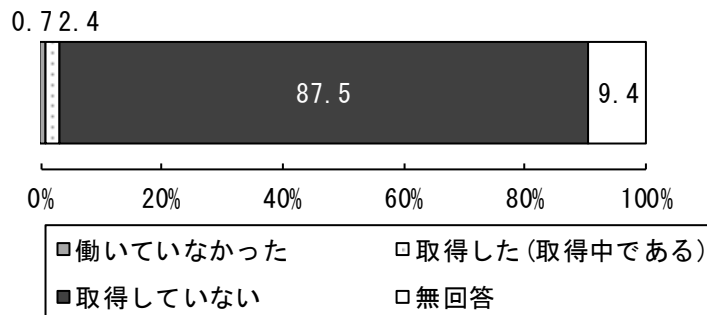
	回答数	構成比
1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	11	16.4%
2 仕事が忙しかった	14	20.9%
3 (産休後に) 仕事に早く復帰したかった	3	4.5%
4 仕事に戻るのが難しそうだった	4	6.0%
5 昇給・昇格などが遅れそうだった	0	0.0%
6 収入減となり、経済的に苦しくなる	7	10.4%
7 保育所(園)などに預けることができた	3	4.5%
8 配偶者が育児休業制度を利用した	0	0.0%
9 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	6	9.0%
10 子育てや家事に専念するため退職した	28	41.8%
11 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	13	19.4%
12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	3	4.5%
13 育児休業を取得できることを知らなかった	1	1.5%
14 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	1	1.5%
15 その他	10	14.9%
無回答	1	1.5%

(2) 父親

- 父親の育児休業の取得状況について、「取得した（取得中である）」が2.4%、「取得していない」が87.5%となっています。
- また、「取得していない」と回答した方（n=371）のうち、その理由については、「配偶者が育児休業制度を利用した」が38.0%と最も多くなっています。次いで「仕事が忙しかった」が32.6%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が28.3%となっています。

図表 育児休業の取得状況（父親）

n=424

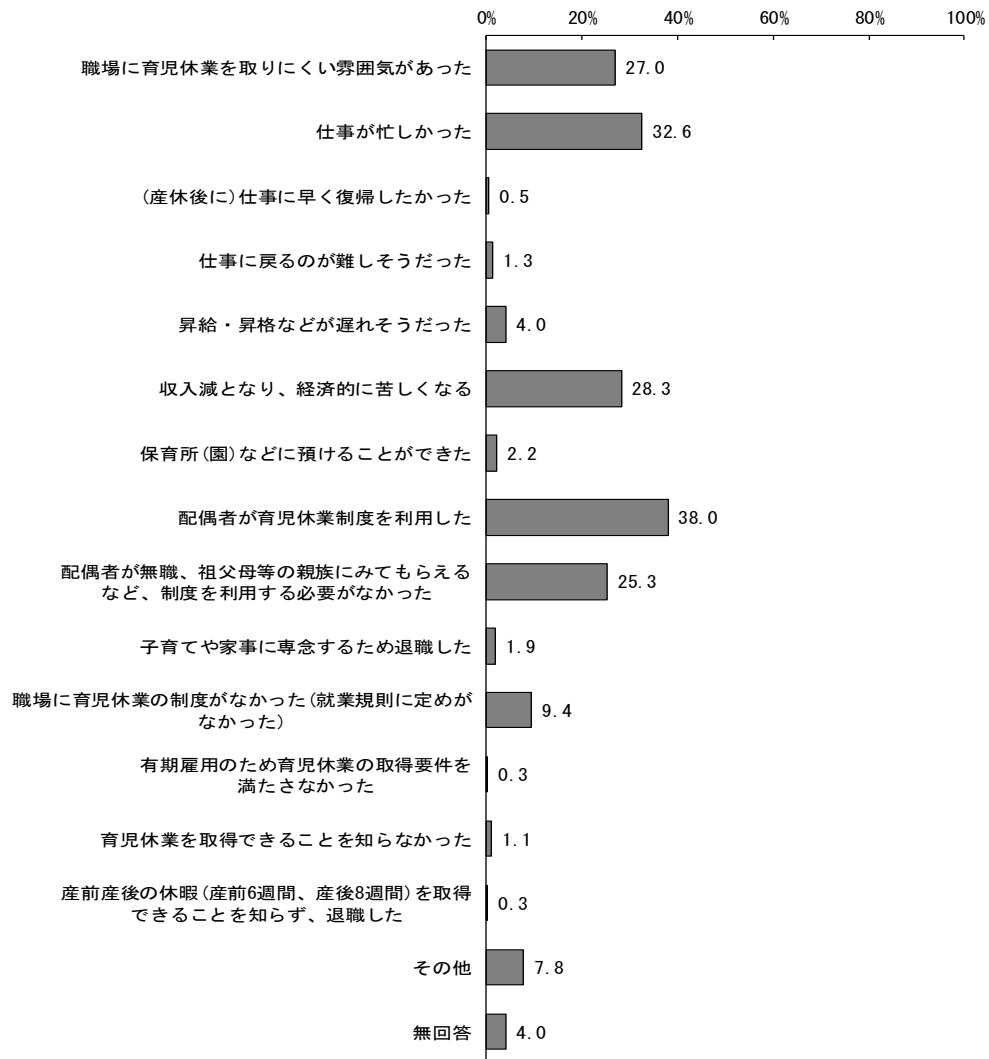


(n=424)

	回答数	構成比
1 働いていなかった	3	0.7%
2 取得した（取得中である）	10	2.4%
3 取得していない	371	87.5%
無回答	40	9.4%

図表 育児休業を取得していない理由（父親）

n=371



(n=371)

	回答数	構成比
1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	100	27.0%
2 仕事が忙しかった	121	32.6%
3 (産休後に) 仕事に早く復帰したかった	2	0.5%
4 仕事に戻るのが難しそうだった	5	1.3%
5 昇給・昇格などが遅れそうだった	15	4.0%
6 収入減となり、経済的に苦しくなる	105	28.3%
7 保育所(園)などに預けることができた	8	2.2%
8 配偶者が育児休業制度を利用した	141	38.0%
9 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	94	25.3%
10 子育てや家事に専念するため退職した	7	1.9%
11 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	35	9.4%
12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	1	0.3%
13 育児休業を取得できることを知らなかった	4	1.1%
14 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	1	0.3%
15 その他	29	7.8%
無回答	15	4.0%

- 父親が育児休業を取得していない理由を地区別、年齢層別にみると、全体の回答と同様に「配偶者が育児休業制度を利用した」等が上位に挙がっているほか、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」も上位に挙がっています。

図表 父親が育児休業を取得していない理由（地区別・年齢層別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
築館 (n=79)	配偶者が育児休業制度を利用した 40.5%	職場に育児休業を取りにくい 雰囲気があった 31.6%	仕事が忙しかった 30.4%
若柳 (n=74)	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 33.8%	職場に育児休業を取りにくい 雰囲気があった 32.4%	仕事が忙しかった 配偶者が育児休業制度を利用した 29.7%
栗駒 (n=58)	配偶者が育児休業制度を利用した 34.5%	仕事が忙しかった 31.0%	収入減となり、経済的に苦しくなる 29.3%
高清水 (n=14)	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 42.9%	仕事が忙しかった 35.7%	収入減となり、経済的に苦しくなる 21.4%
一迫 (n=31)	配偶者が育児休業制度を利用した 48.4%	収入減となり、経済的に苦しくなる 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 35.5%	仕事が忙しかった 25.8%
瀬峰 (n=22)	配偶者が育児休業制度を利用した 59.1%	仕事が忙しかった 収入減となり、経済的に苦しくなる 40.9%	職場に育児休業を取りにくい 雰囲気があった 31.8%
鷺沢 (n=7)	配偶者が育児休業制度を利用した 57.1%	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 職場に育児休業の制度がなかった 28.6%	子育てや家事に専念するため退職した 産前産後の休暇を取得できることを知らず、退職した 14.3%
金成 (n=44)	仕事が忙しかった 36.4%	配偶者が育児休業制度を利用した 31.8%	収入減となり、経済的に苦しくなる 25.0%
志波姫 (n=40)	仕事が忙しかった 配偶者が育児休業制度を利用した 47.5%	収入減となり、経済的に苦しくなる 32.5%	職場に育児休業を取りにくい 雰囲気があった 30.0%
花山 (n=2)	職場に育児休業を取りにくい 雰囲気があった 50.0%	—	—
0歳~2歳 (n=165)	配偶者が育児休業制度を利用した 45.5%	仕事が忙しかった 30.3%	収入減となり、経済的に苦しくなる 28.5%
3歳~5歳 (n=160)	仕事が忙しかった 37.5%	配偶者が育児休業制度を利用した 35.0%	職場に育児休業を取りにくい 雰囲気があった 収入減となり、経済的に苦しくなる 30.6%
6歳以上 (n=45)	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 40.0%	職場に育児休業を取りにくい 雰囲気があった 26.7%	仕事が忙しかった 配偶者が育児休業制度を利用した 22.2%

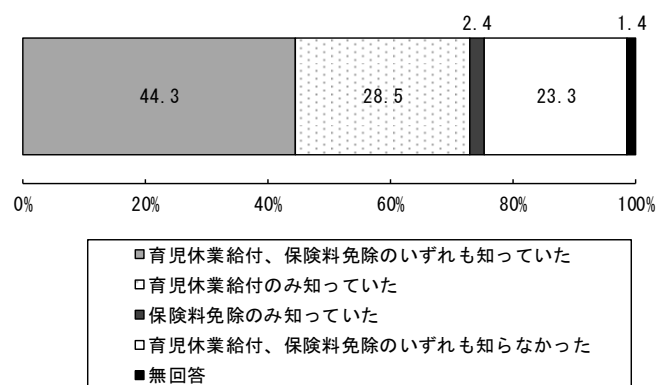
2. 育児休業給付・保険料免除の認知度

問 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 育児休業給付・保険料免除について、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が44.3%と最も多くなっています。次いで「育児休業給付のみ知っていた」が28.5%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が23.3%となっています。

図表 育児休業給付・保険料免除の認知度

n=424



(n=424)

	回答数	構成比
1 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた	188	44.3%
2 育児休業給付のみ知っていた	121	28.5%
3 保険料免除のみ知っていた	10	2.4%
4 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった	99	23.3%
無回答	6	1.4%

- 育児休業給付・保険料免除の認知度を地区別にみると、高清水で「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」、そのほかの地区で「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の回答の割合が最も高くなっています。
- 育児休業給付・保険料免除の認知度を年齢層別にみると、年齢層が上がるとともに「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合も減少しています。

図表 育児休業給付・保険料免除の認知度（地区別・年齢層別）

	育児休業給付、保険料免除 のいずれも知っていた	育児休業給付のみ 知っていた	保険料免除のみ 知っていた	育児休業給付、保険料免除 のいずれも知らなかった
築館 (n=87)	47.1%	33.3%	1.1%	17.2%
若柳 (n=82)	34.1%	32.9%	2.4%	26.8%
栗駒 (n=64)	51.6%	25.0%	3.1%	20.3%
高清水 (n=18)	16.7%	33.3%	5.6%	44.4%
一迫 (n=34)	44.1%	20.6%	0.0%	29.4%
瀬峰 (n=30)	56.7%	20.0%	3.3%	20.0%
鶯沢 (n=9)	44.4%	22.2%	0.0%	33.3%
金成 (n=46)	56.5%	21.7%	0.0%	21.7%
志波姫 (n=50)	38.0%	36.0%	6.0%	20.0%
花山 (n=4)	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
0歳～2歳 (n=184)	50.5%	31.5%	0.0%	16.3%
3歳～5歳 (n=185)	40.5%	24.3%	3.8%	30.3%
6歳以上 (n=54)	37.0%	33.3%	3.7%	24.1%

3. 育児休業取得後の状況

《前問で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。》

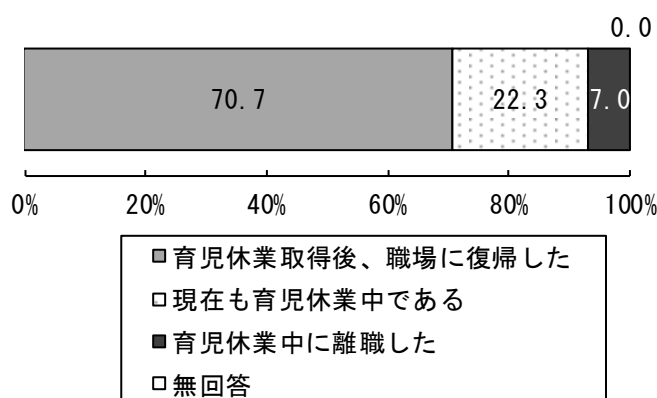
問 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- 前問で母親が育児休業を「取得した（取得中である）」と回答した方 (n=229) のうち、取得後の状況について、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 70.7%、「現在も育児休業中である」が 22.3%、「育児休業中に離職した」が 7.0%となっています。

図表 育児休業取得後の状況（母親）

n=229



(n=229)

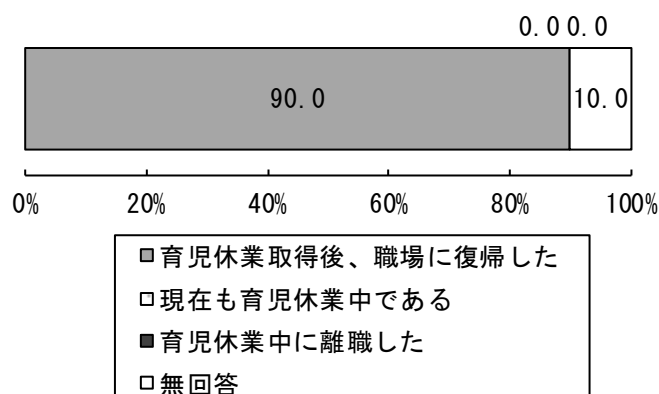
	回答数	構成比
1 育児休業取得後、職場に復帰した	162	70.7%
2 現在も育児休業中である	51	22.3%
3 育児休業中に離職した	16	7.0%
無回答	0	0.0%

(2) 父親

- 前問で父親が育児休業を「取得した（取得中である）」と回答した方 (n=10) のうち、取得後の状況について、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 90.0%となっています。

図表 育児休業取得後の状況（父親）

n=10



	回答数	構成比
1 育児休業取得後、職場に復帰した	9	90.0%
2 現在も育児休業中である	0	0.0%
3 育児休業中に離職した	0	0.0%
無回答	1	10.0%

4. 年度初めの保育所入所に合わせて育児休業から復帰したか

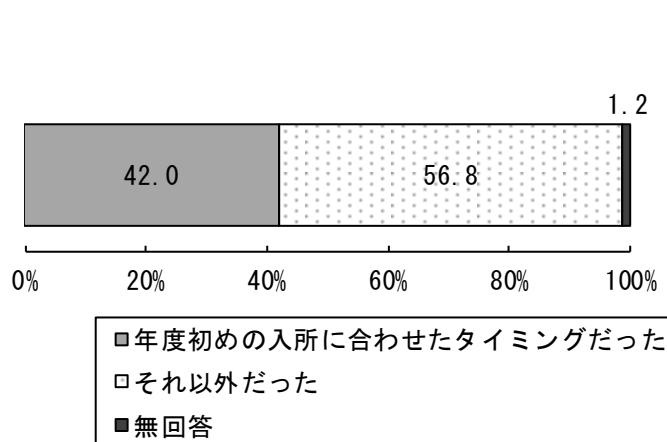
《前問で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。》

問 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

(1) 母親

- 前問で母親が育児休業取得後に「職場に復帰した」と回答した方 (n=162) のうち、復帰時期を保育所入所に合わせたかについて、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が42.0%、「それ以外だった」が56.8%となっています。

図表 年度初めの保育所入所に合わせて育児休業から復帰したか (母親)

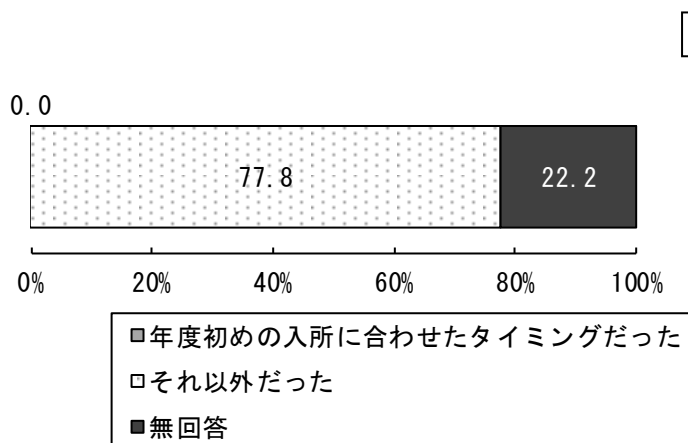


	回答数	構成比
1 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	68	42.0%
2 それ以外だった	92	56.8%
無回答	2	1.2%

(2) 父親

- 前問で父親が育児休業取得後に「職場に復帰した」と回答した方 (n=9) のうち、復帰時期を保育所入所に合わせたかについて、「それ以外 (年度初めの入所に合わせたタイミング以外) だった」が 77.8% となっています。

図表 年度初めの保育所入所に合わせて育児休業から復帰したか (父親)



	回答数	構成比
1 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	0	0.0%
2 それ以外だった	7	77.8%
無回答	2	22.2%

(n=9)

5. 育児休業取得後の復帰時期の現状と希望

《前問で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。》

問 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください (数字は一桁に一字)。

(1) 母親

- 前問で母親が育児休業取得後に「職場に復帰した」と回答した方 (n=162) のうち、実際の復帰時期の平均は 0 歳 11 ヶ月、希望の復帰時期の平均は 1 歳 3 ヶ月となっています。

図表 育児休業取得後の復帰時期 (実際: 母親)

	平均期間
平均期間	0 歳 11 ヶ月
最大	6 歳 5 ヶ月
最小	0 歳 2 ヶ月

(n=162)
(単位: 歳 ヶ月)

図表 育児休業取得後の復帰時期（希望：母親）

(n=424)

		(単位：歳 ヶ月)
平均期間		1歳3ヶ月
最大		3歳0ヶ月
最小		0歳2ヶ月

(2) 父親

- 前問で父親が育児休業取得後に「職場に復帰した」と回答した方 (n=9) のうち、実際の復帰時期の平均は0歳1ヶ月、希望の復帰時期の平均は0歳2ヶ月となっています。

図表 育児休業取得後の復帰時期（実際：父親）

(n=9)

		(単位：歳 ヶ月)
平均期間		0歳1ヶ月
最大		0歳1ヶ月
最小		0歳1ヶ月

図表 育児休業取得後の復帰時期（希望：父親）

(n=424)

		(単位：歳 ヶ月)
平均期間		0歳2ヶ月
最大		0歳3ヶ月
最小		0歳1ヶ月

6. 3歳まで育児休業があった場合の希望取得期間

問 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親

- 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合に母親が希望する取得期間について、平均は1歳11ヶ月となっています。

図表 3歳まで育児休業があった場合の希望取得期間（母親）

(n=424)

		(単位：歳 ヶ月)
平均期間		1歳11ヶ月
最大		3歳6ヶ月
最小		0歳2ヶ月

(2) 父親

- 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合に父親が希望する取得期間について、平均は1歳9ヶ月となっています。

図表 3歳まで育児休業があった場合の希望取得期間（父親）

(n=424)

(単位：歳 ヶ月)	
平均期間	1歳9ヶ月
最大	3歳0ヶ月
最小	0歳1ヶ月

7. 希望の時期に職場復帰しなかった理由

《5. の設問で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。》

問 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

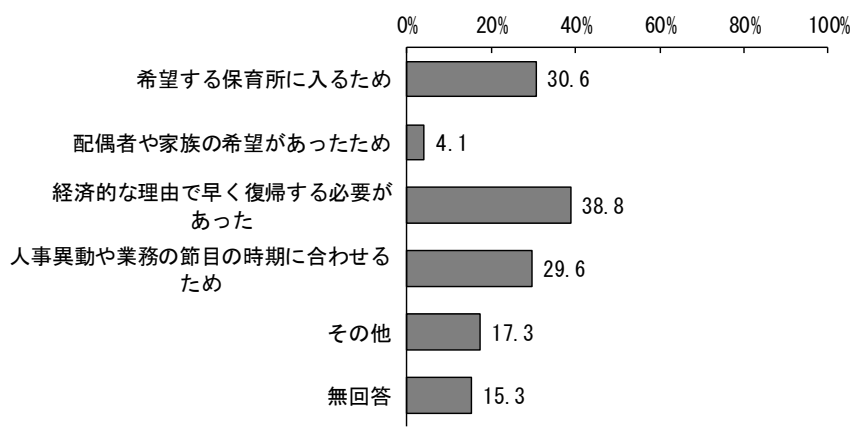
(1) 「希望」より早く復帰した方

① 母親

- 復帰時期が希望より「早く復帰」したと回答した母親 (n=98) のうち、その理由については、「経済的な理由で早く復帰する必要があるがあった」が 38.8%と最も多くなっています。次いで「希望する保育所に入るため」が 30.6%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 29.6%となっています。

図表 「希望」より早く復帰した理由（母親）

n=98



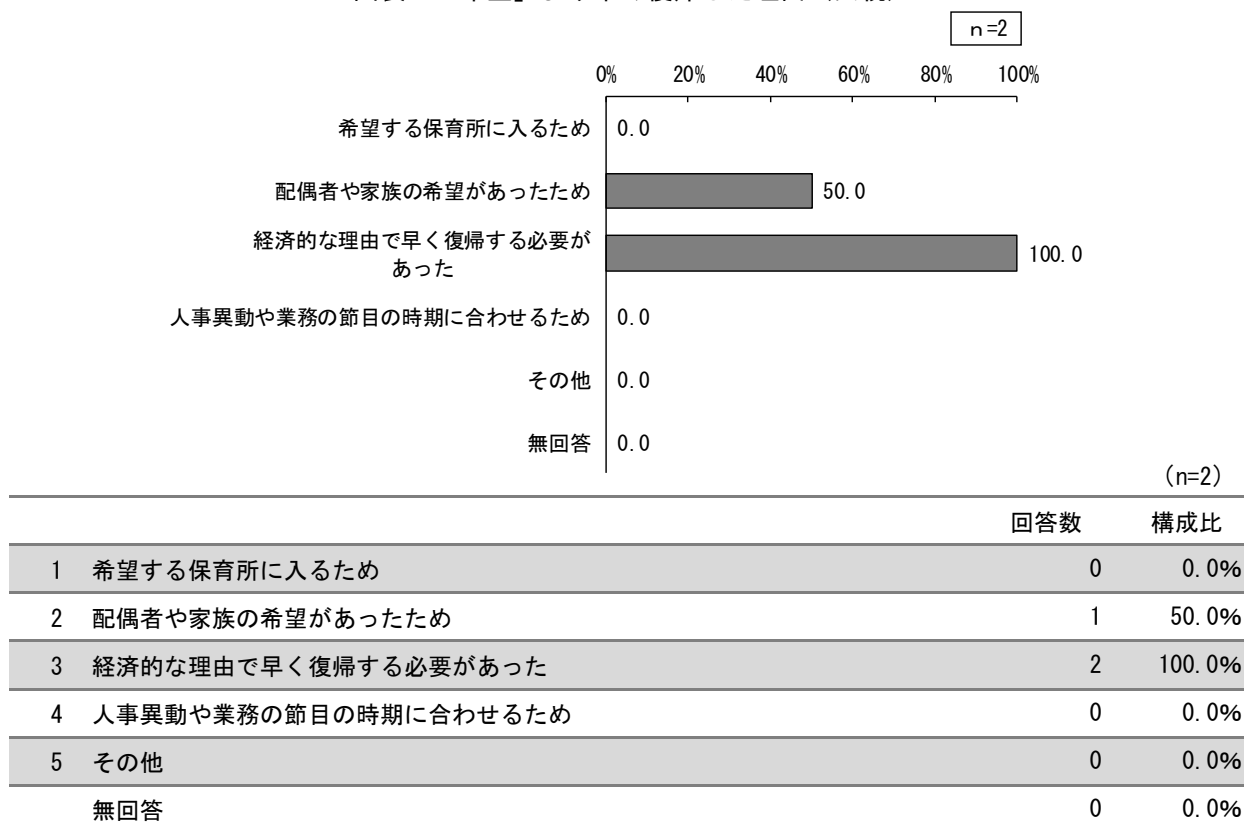
(n=98)

	回答数	構成比
1 希望する保育所に入るため	30	30.6%
2 配偶者や家族の希望があったため	4	4.1%
3 経済的な理由で早く復帰する必要があるがあった	38	38.8%
4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	29	29.6%
5 その他	17	17.3%
無回答	15	15.3%

② 父親

- 復帰時期が希望より「早く復帰」したと回答した父親（n=2）のうち、その理由については、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が100%と最も多くなっています。次いで「配偶者や家族の希望があったため」が50.0%となっています。

図表 「希望」より早く復帰した理由（父親）

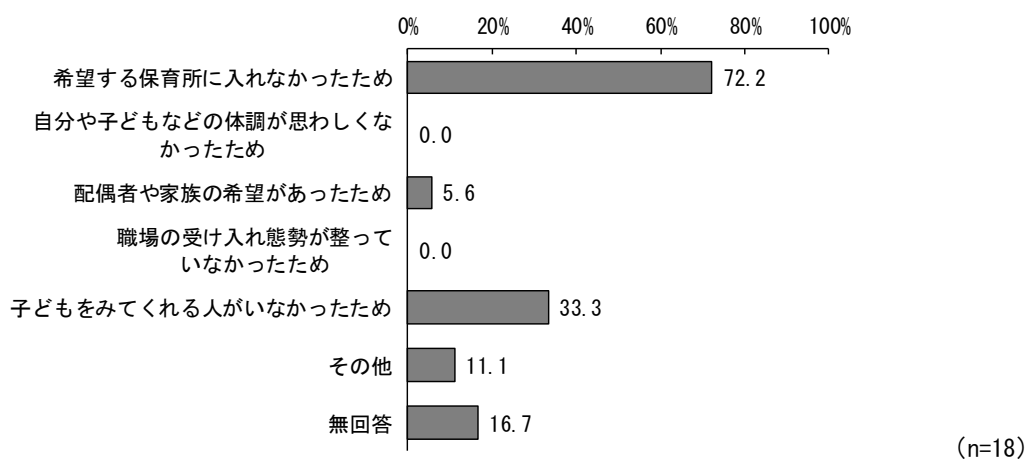


(2) 「希望」より遅く復帰した方

① 母親

- 復帰時期が希望より「遅く復帰」と回答した母親 (n=18) のうち、その理由については、「希望する保育所に入れなかったため」が 72.2%と最も多くなっています。次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」が 33.3%、「配偶者や家族の希望があったため」が 5.6%となっています。

図表 「希望」より遅く復帰した理由 (母親) n=18



	回答数	構成比
1 希望する保育所に入れなかったため	13	72.2%
2 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	0	0.0%
3 配偶者や家族の希望があったため	1	5.6%
4 職場の受け入れ態勢が整ってなかったため	0	0.0%
5 子どもをみてくれる人がいなかったため	6	33.3%
6 その他	2	11.1%
無回答	3	16.7%

② 父親

- 復帰時期が希望より「遅く復帰」と回答した父親はいませんでした。

図表 「希望」より遅く復帰した理由 (父親)

(n=0)

	回答数	構成比
1 希望する保育所に入れなかったため	0	0.0%
2 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	0	0.0%
3 配偶者や家族の希望があったため	0	0.0%
4 職場の受け入れ態勢が整ってなかったため	0	0.0%
5 子どもをみてくれる人がいなかったため	0	0.0%
6 その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%

8. 短時間勤務制度の利用状況

《3. の設問で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。》

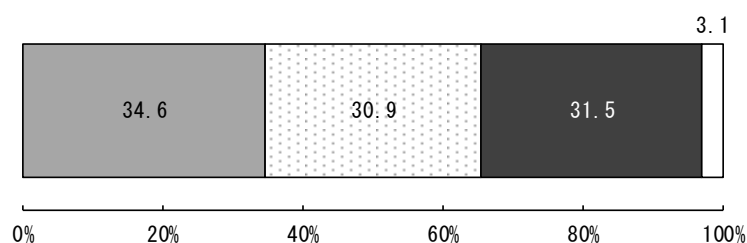
問 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- 母親が育児休業取得後「職場に復帰した」と回答した方 (n=162) のうち、復帰時の短時間勤務制度について、「利用する必要がなかった」が 34.6%、「利用したかったが、利用しなかった」が 31.5%、「利用した」が 30.9%となっています。

図表 短時間勤務制度の利用状況（母親）

n=162



- 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
- 利用した
- 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)
- 無回答

(n=162)

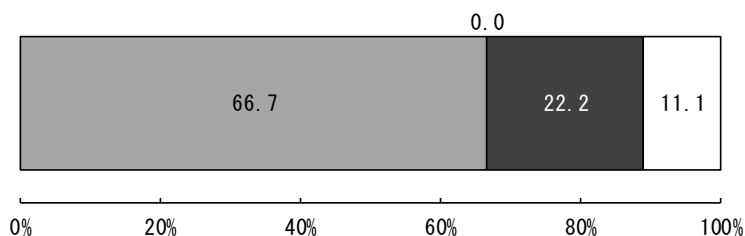
	回答数	構成比
1 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	56	34.6%
2 利用した	50	30.9%
3 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)	51	31.5%
無回答	5	3.1%

(2) 父親

- 父親が育児休業取得後「職場に復帰した」と回答した方 (n=9) のうち、復帰時の短時間勤務制度について、「利用する必要がなかった」が 66.7%、「利用したかったが、利用しなかった」が 22.3%となっています。

図表 短時間勤務制度の利用状況 (父親)

n=9



- 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
- 利用した
- 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)
- 無回答

(n=9)

	回答数	構成比
1 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	6	66.7%
2 利用した	0	0.0%
3 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)	2	22.2%
無回答	1	11.1%

9. 短時間勤務制度を利用しなかった理由

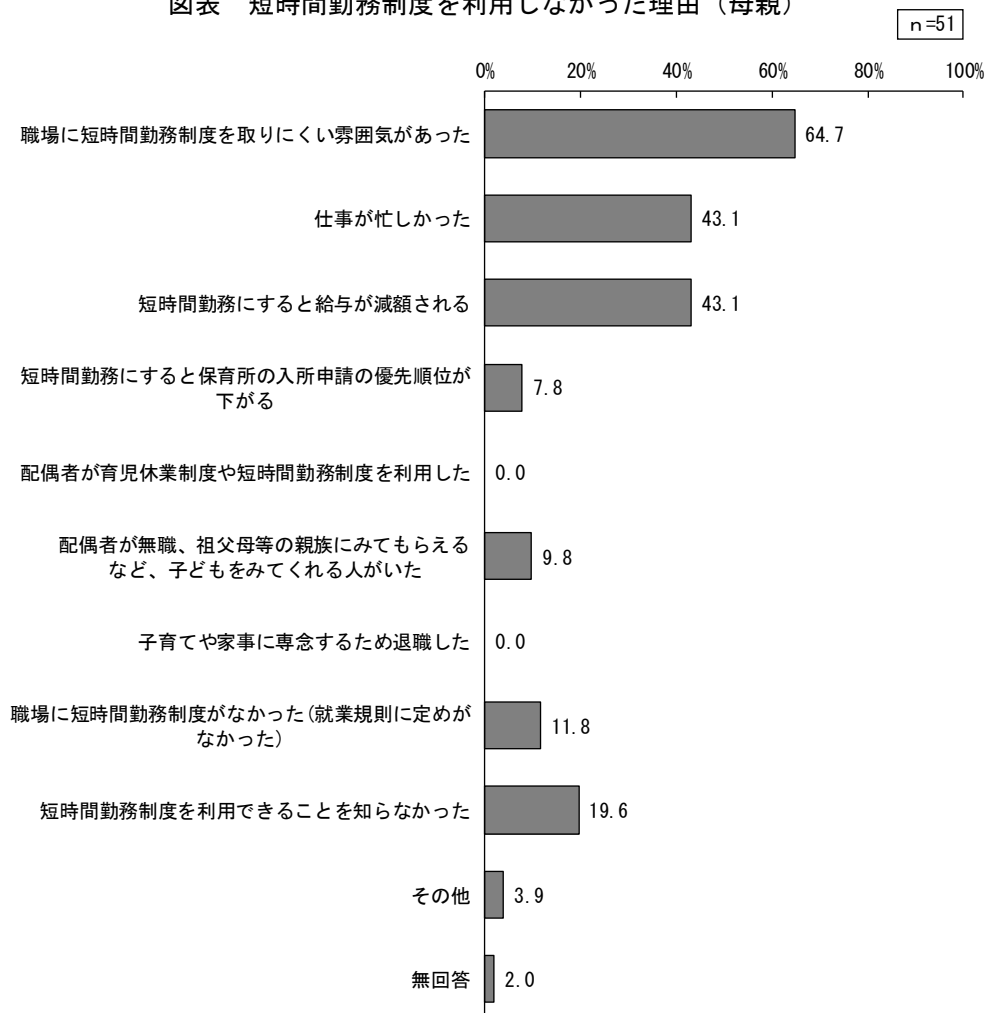
《前問で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。》

問 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

(1) 母親

- 前問で復帰後に短時間勤務制度を「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した母親（n=51）のうち、その理由について、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が64.7%、「仕事が忙しかった」、「短時間勤務にすると給与が減額される」が、ともに43.1%となっています。

図表 短時間勤務制度を利用しなかった理由（母親）



(n=51)

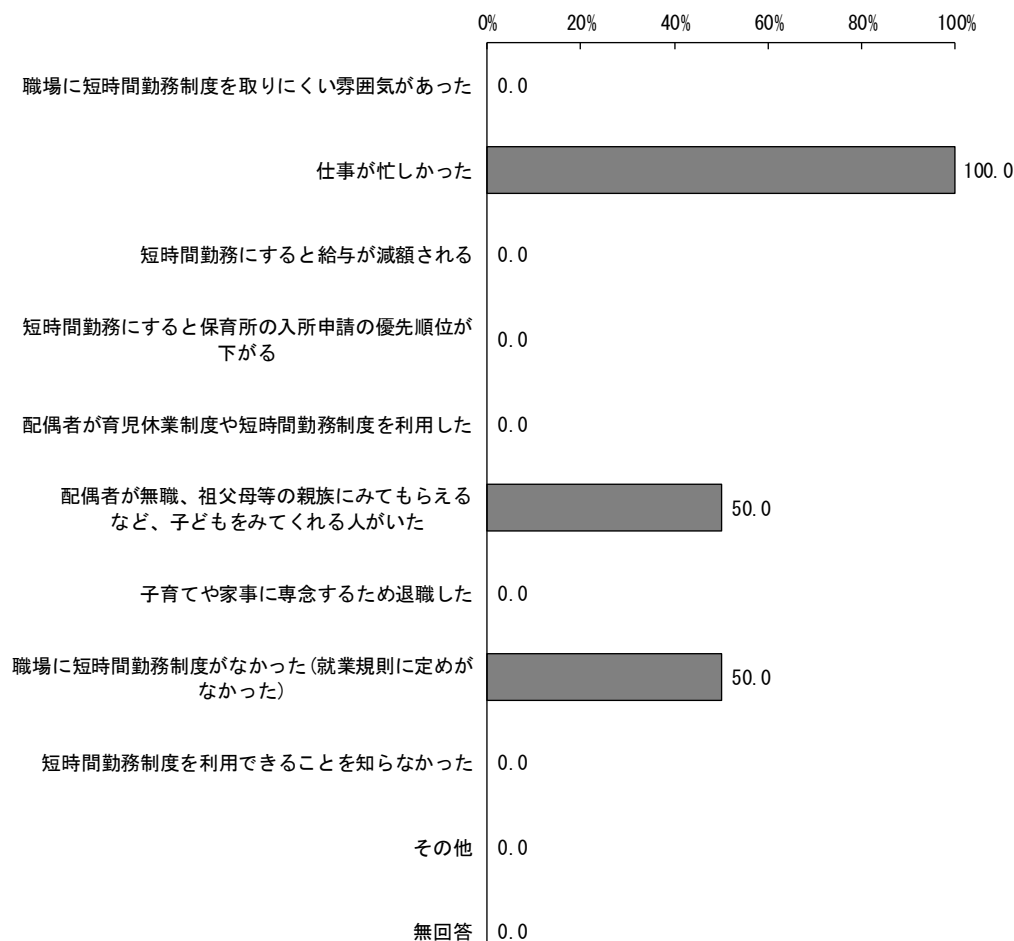
	回答数	構成比
1 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	33	64.7%
2 仕事が忙しかった	22	43.1%
3 短時間勤務にすると給与が減額される	22	43.1%
4 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	4	7.8%
5 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	0	0.0%
6 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	5	9.8%
7 子育てや家事に専念するため退職した	0	0.0%
8 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	6	11.8%
9 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	10	19.6%
10 その他	2	3.9%
無回答	1	2.0%

(2) 父親

- 前問で復帰後に短時間勤務制度を「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した父親(n=2)の理由について、「仕事が忙しかった」が100.0%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた」「職場に短時間勤務制度がなかった」が50.0%となっています。

図表 短時間勤務制度を利用しなかった理由(父親)

n=2



		(n=2)	
		回答数	構成比
1	職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	0	0.0%
2	仕事が忙しかった	2	100.0%
3	短時間勤務にすると給与が減額される	0	0.0%
4	短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	0	0.0%
5	配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	0	0.0%
6	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	1	50.0%
7	子育てや家事に専念するため退職した	0	0.0%
8	職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	1	50.0%
9	短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	0	0.0%
10	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%

10. 1歳になったときに必ず利用できる事業があった場合の復帰時期

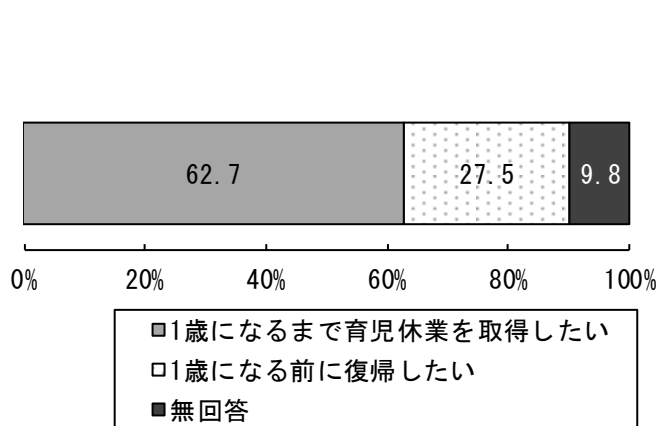
《3. の設問で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。》

問 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があっても、1歳になる前に預けられることができれば1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- 育児休業を「現在も育児休業中である」と回答した母親 (n=51) のうち、1歳になったときに必ず利用できる事業があった場合の復帰時期について、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が62.7%、「1歳になる前に復帰したい」が27.5%となっています。

図表 1歳になったときに必ず利用できる事業があった場合の復帰時期 (母親)



		(n=51)	
		回答数	構成比
1	1歳になるまで育児休業を取得したい	32	62.7%
2	1歳になる前に復帰したい	14	27.5%
	無回答	5	9.8%

(2) 父親

- 育児休業を「現在も育児休業中である」と回答した父親はいませんでした。

図表 1歳になったときに必ず利用できる事業があった場合の復帰時期 (父親)

		(n=0)	
		回答数	構成比
1	1歳になるまで育児休業を取得したい	0	0.0%
2	1歳になる前に復帰したい	0	0.0%
	無回答	0	0.0%

1 1. 地域における子育ての環境や支援への満足度

問 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

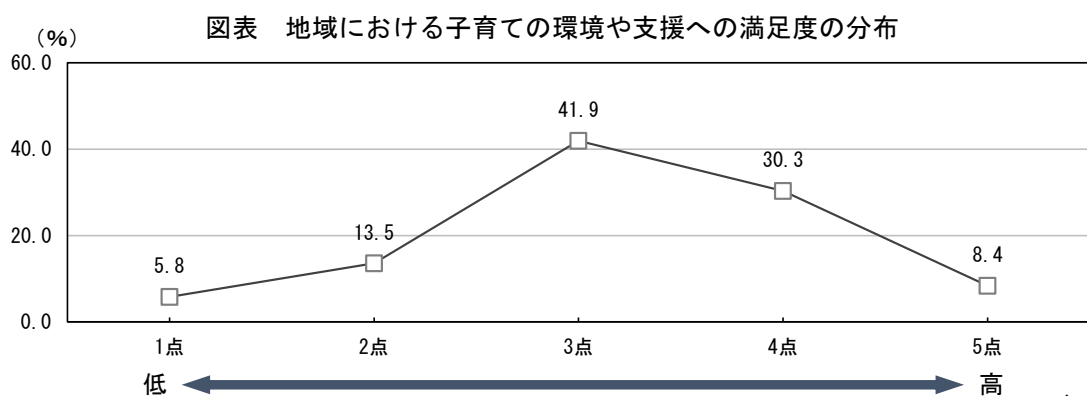
- 地域における子育ての環境や支援への満足度については、5段階で3.2点となっています。
- 点数の分布状況では、「3点」が41.9%と最も多くなっています。次いで「4点」が30.3%、「2点」が13.5%となっています。

図表 地域における子育ての環境や支援への満足度

(n=424)

(単位：点)

満足度（5段階）	3.2点
----------	------



構成比

1	満足度“1”	5.8%
2	満足度“2”	13.5%
3	満足度“3”	41.9%
4	満足度“4”	30.3%
5	満足度“5”	8.4%

Ⅲ 調査結果②（小学校就学児童）

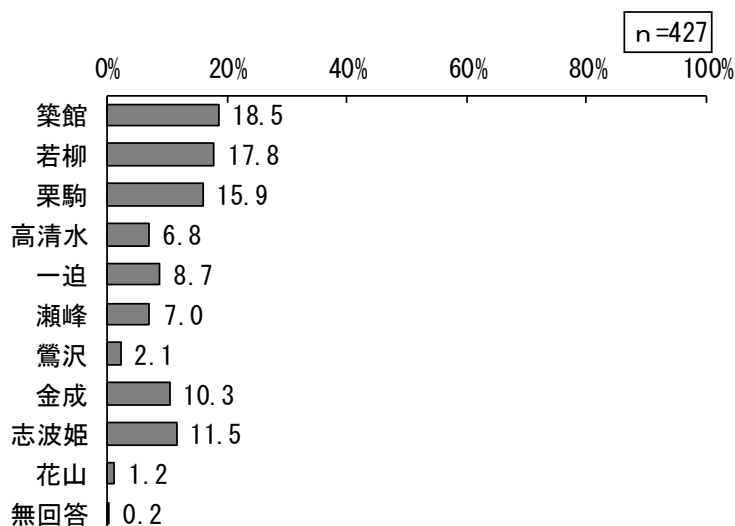
Ⅲ-1 お住まいの地域について

1. お住いの地区

問 お住まいの地区をお答えください。（1つに○）

○ 居住地区については、「築館」が18.5%と最も多くなっています。次いで「若柳」が17.8%、「栗駒」が15.9%となっています。

図表 居住地区



(n=427)

	回答数	構成比
1 築館	79	18.5%
2 若柳	76	17.8%
3 栗駒	68	15.9%
4 高清水	29	6.8%
5 一迫	37	8.7%
6 瀬峰	30	7.0%
7 鶯沢	9	2.1%
8 金成	44	10.3%
9 志波姫	49	11.5%
10 花山	5	1.2%
無回答	1	0.2%

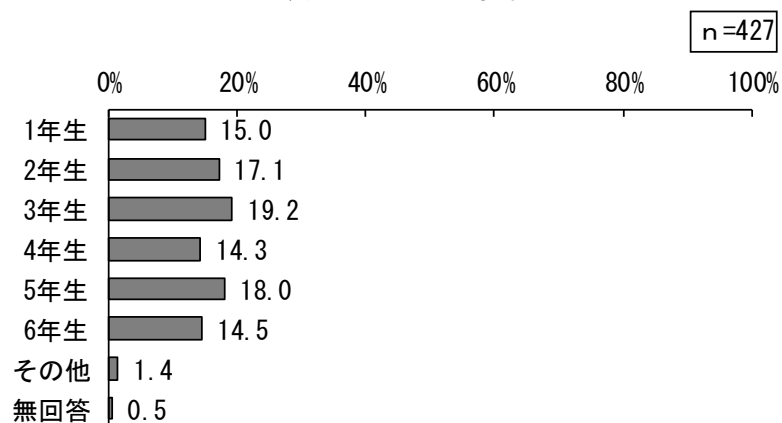
Ⅲ-2 お子さんのご家族の状況について

1. お子さんの学年

問 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

○ 宛名の子の年齢から算出した学年をみると、「3年生」が19.2%と最も多くなっています。次いで「5年生」が18.0%、「2年生」が17.1%となっています。

図表 お子さんの学年



(n=427)

	回答数	構成比
1 1年生	64	15.0%
2 2年生	73	17.1%
3 3年生	82	19.2%
4 4年生	61	14.3%
5 5年生	77	18.0%
6 6年生	62	14.5%
7 その他	6	1.4%
無回答	2	0.5%

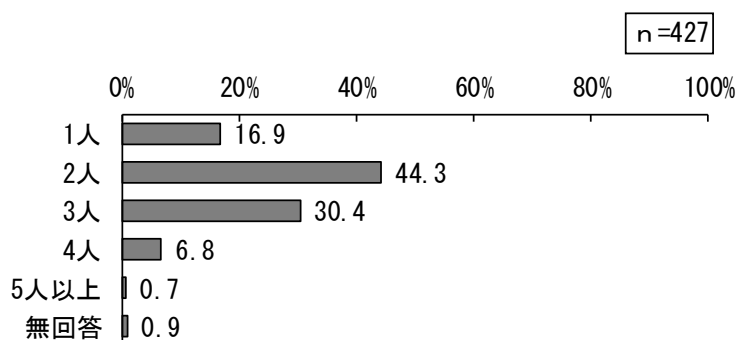
※その他は、誕生年月から1~6年生にあたらないお子さんが該当します。

2. きょうだいの数と末子の年齢

問 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

- きょうだいの人数について、回答全体の平均は2.30人となっています。
- 人数別にみると、「2人」が44.3%と最も多くなっています。次いで「3人」が30.4%、「1人」が16.9%となっています。

図表 きょうだい数



(n=427)

	回答数	構成比
1 1人	72	16.9%
2 2人	189	44.3%
3 3人	130	30.4%
4 4人	29	6.8%
5 5人以上	3	0.7%
6 無回答	4	0.9%

図表 きょうだいの人数

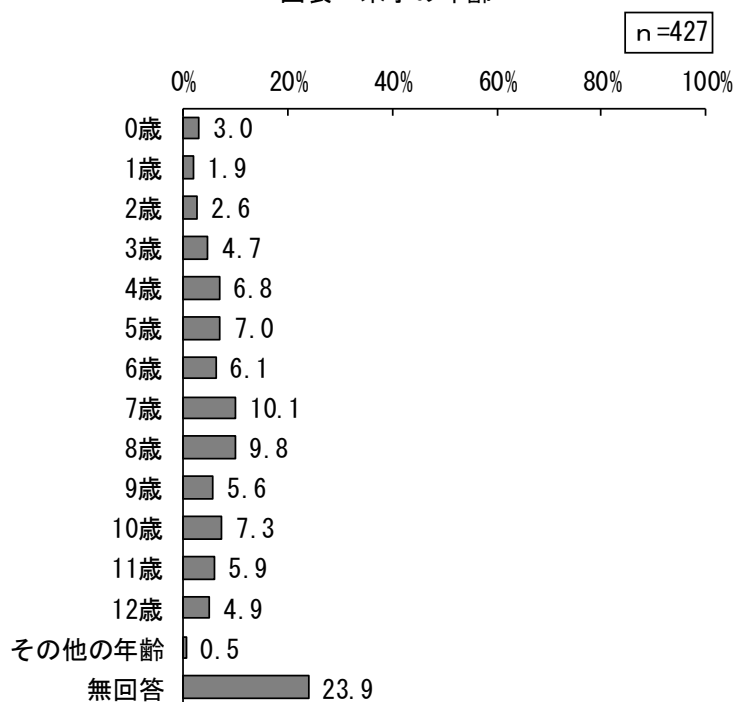
(n=427)

(単位：人)

きょうだいの人数	2.30人
最大	6人
最小	1人

○ 末子の年齢については、「7歳」が10.1%と最も多くなっています。次いで「8歳」が9.8%、「10歳」が7.3%となっています。

図表 末子の年齢



(n=427)

	回答数	構成比
1 0歳	13	3.0%
2 1歳	8	1.9%
3 2歳	11	2.6%
4 3歳	20	4.7%
5 4歳	29	6.8%
6 5歳	30	7.0%
7 6歳	26	6.1%
8 7歳	43	10.1%
9 8歳	42	9.8%
10 9歳	24	5.6%
11 10歳	31	7.3%
12 11歳	25	5.9%
13 12歳	21	4.9%
14 その他の年齢	2	0.5%
無回答	102	23.9%

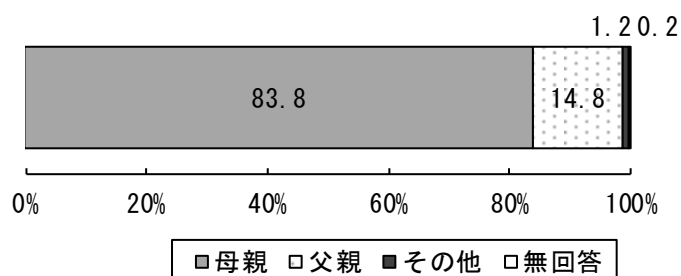
3. 回答者について

問 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

○ 回答者については、「母親」が83.8%、「父親」が14.8%となっています。

図表 回答者

n=427



(n=427)

	回答数	構成比
1 母親	358	83.8%
2 父親	63	14.8%
3 その他	5	1.2%
無回答	1	0.2%

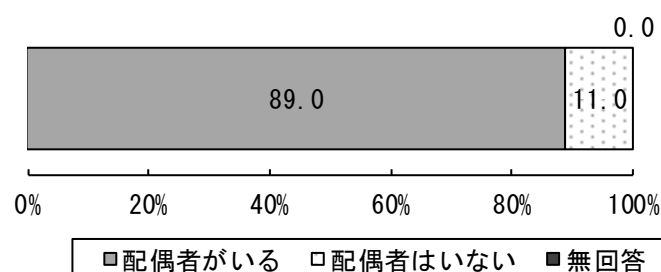
4. 配偶者の有無

問 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

○ 配偶者の有無について、「配偶者がいる」が89.0%、「配偶者はいない」が11.0%となっています。

図表 配偶関係

n=427



(n=427)

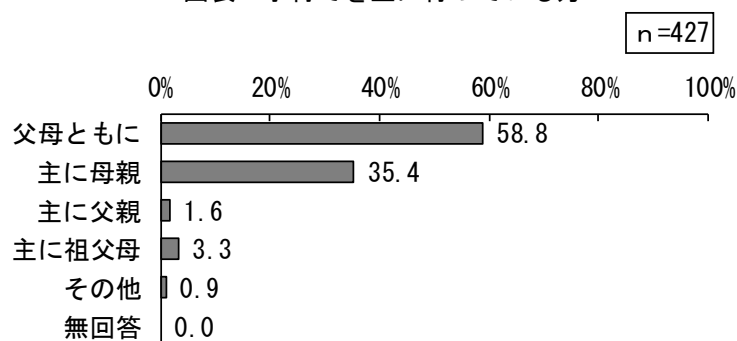
	回答数	構成比
1 配偶者がいる	380	89.0%
2 配偶者はいない	47	11.0%
無回答	0	0.0%

5. お子さんの子育てを主に行っている方

問 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

○ 子育てを主に行っている方については、「父母ともに」が 58.8%と最も多くなっています。次いで「主に母親」が 35.4%、「主に祖父母」が 3.3%となっています。

図表 子育てを主に行っている方



(n=427)

	回答数	構成比
1 父母ともに	251	58.8%
2 主に母親	151	35.4%
3 主に父親	7	1.6%
4 主に祖父母	14	3.3%
5 その他	4	0.9%
無回答	0	0.0%

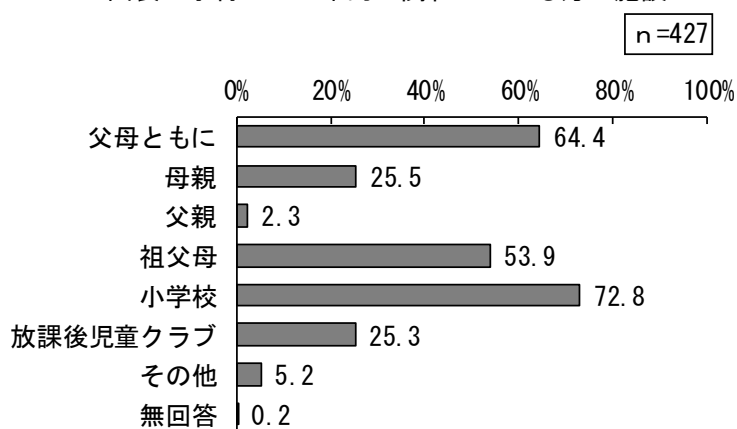
Ⅲ-3 子どもの育ちをめぐる環境について

1. お子さんの子育てに日常的に関わっている方・施設

問 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 子育てに日常的に関わっている方・施設については、「小学校」が72.8%と最も多くなっています。次いで「父母ともに」が64.4%、「祖父母」が53.9%となっています。

図表 子育てに日常的に関わっている方・施設



(n=427)

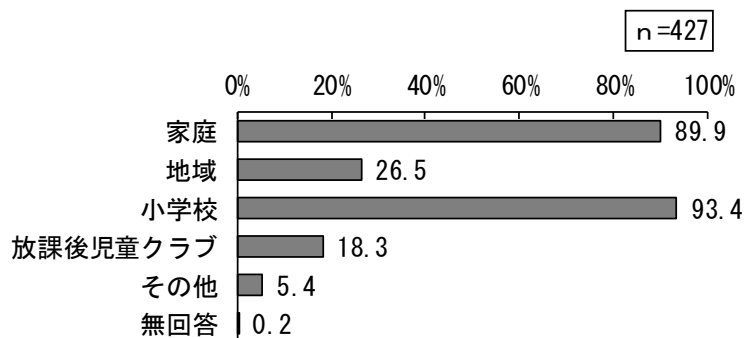
	回答数	構成比
1 父母ともに	275	64.4%
2 母親	109	25.5%
3 父親	10	2.3%
4 祖父母	230	53.9%
5 小学校	311	72.8%
6 放課後児童クラブ	108	25.3%
7 その他	22	5.2%
無回答	1	0.2%

2. 子育てに影響すると思われる環境

問 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

○ 子育てに影響すると思われる環境については、「小学校」が93.4%と最も多くなっています。次いで「家庭」が89.9%、「地域」が26.5%となっています。

図表 子育てに影響すると思われる環境



(n=427)

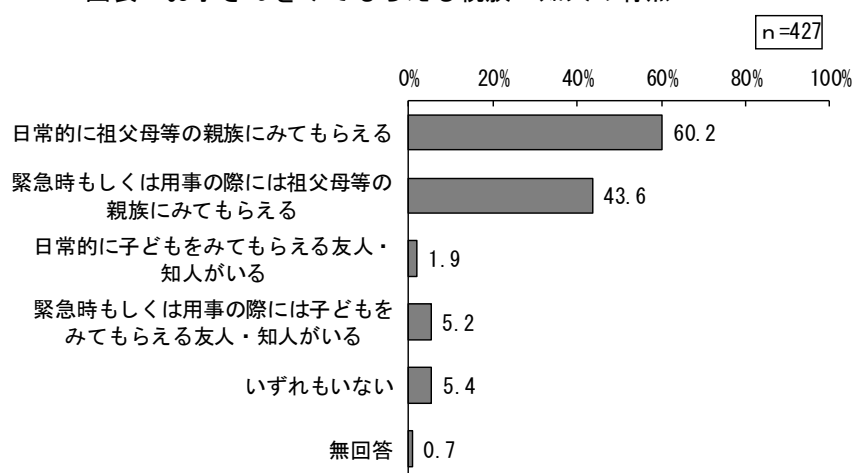
	回答数	構成比
1 家庭	384	89.9%
2 地域	113	26.5%
3 小学校	399	93.4%
4 放課後児童クラブ	78	18.3%
5 その他	23	5.4%
無回答	1	0.2%

3. お子さんをみてもらえる親族・知人の有無

問 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 子どもをみてもらえる親族・知人について、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が60.2%と最も多くなっています。次いで「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が43.6%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が5.2%となっています。
- 「いずれもない」と回答した割合は5.4%となっています。

図表 お子さんをみてもらえる親族・知人の有無



(n=427)

	回答数	構成比
1 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	257	60.2%
2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	186	43.6%
3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	8	1.9%
4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	22	5.2%
5 いずれもない	23	5.4%
無回答	3	0.7%

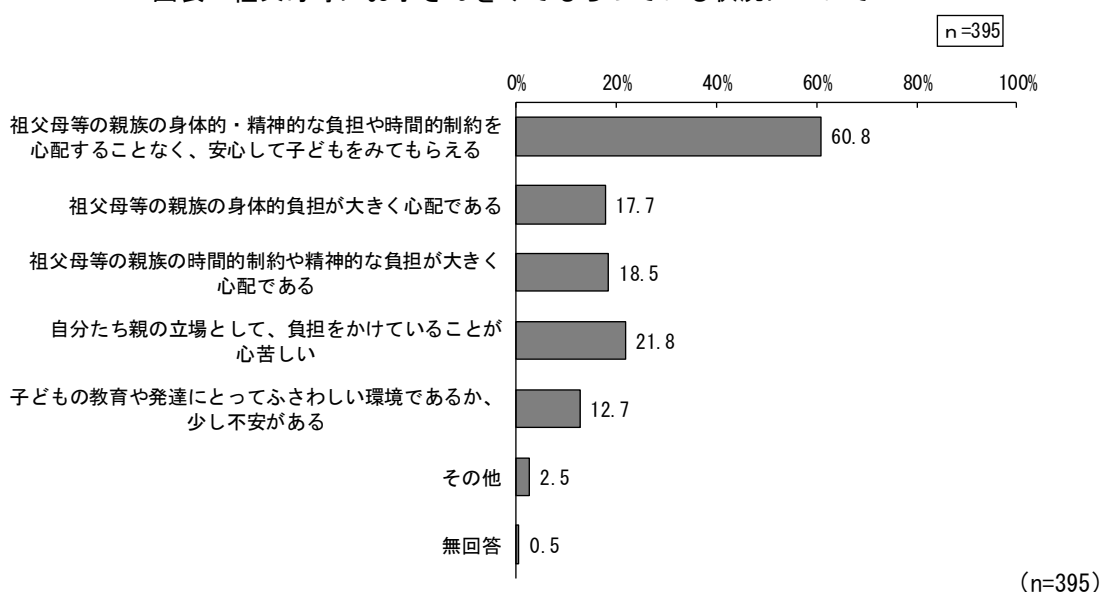
4. 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について

《前問で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。》

問 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 前問で子どもをみてもらえる親族・知人が「親族にみてもらえる」「緊急時等には親族にみてもらえる」と回答した方 (n=395) のうち、子どもをみてもらっている状況については、「安心してみてもらえる」が 60.8%と最も多くなっています。次いで「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 21.8%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 18.5%となっています。

図表 祖父母等にお子さんをみてもらっている状況について



	回答数	構成比
1 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	240	60.8%
2 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である	70	17.7%
3 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	73	18.5%
4 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	86	21.8%
5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	50	12.7%
6 その他	10	2.5%
無回答	2	0.5%

5. 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について

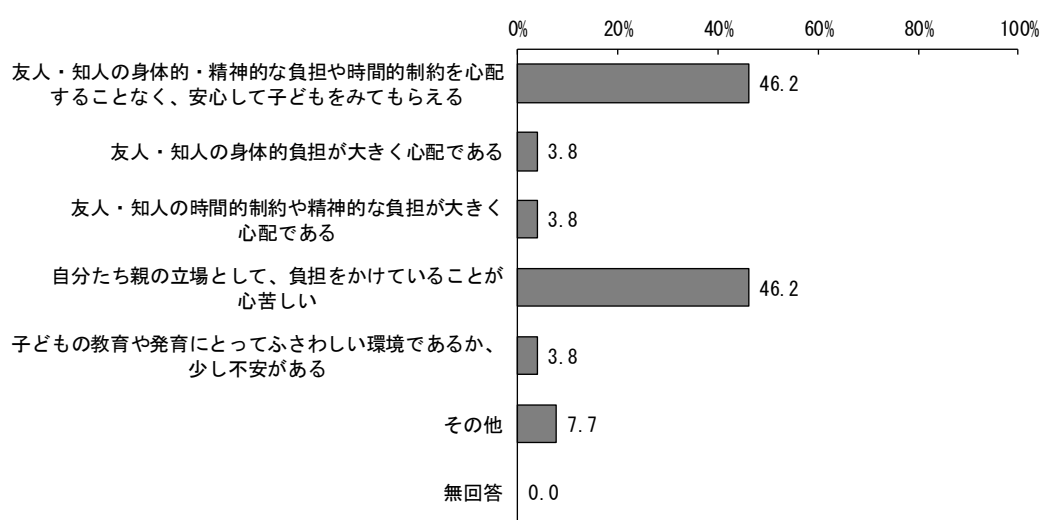
《前問で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。》

問 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 前問で子どもをみてもらえる親族・知人が「友人・知人にみてもらえる」「緊急時等には友人・知人にみてもらえる」と回答した方 (n=26) のうち、子どもをみてもらっている状況については、「安心して子どもをみてもらえる」「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が46.2%と最も多くなっています。

図表 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について

n=26



(n=26)

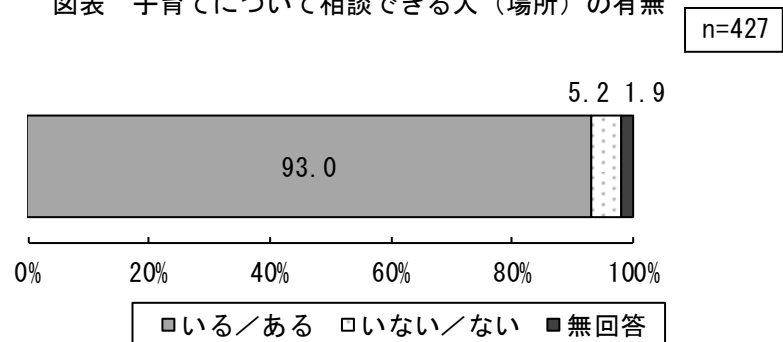
	回答数	構成比
1 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	12	46.2%
2 友人・知人の身体的負担が大きく心配である	1	3.8%
3 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	1	3.8%
4 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	12	46.2%
5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	1	3.8%
6 その他	2	7.7%
無回答	0	0.0%

6. 子育てについて相談できる人（場所）の有無

問 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

○ 子育てを相談できる人（場所）の有無について、「いる/ある」が93.0%、「いない/ない」が5.2%となっています。

図表 子育てについて相談できる人（場所）の有無



(n=427)

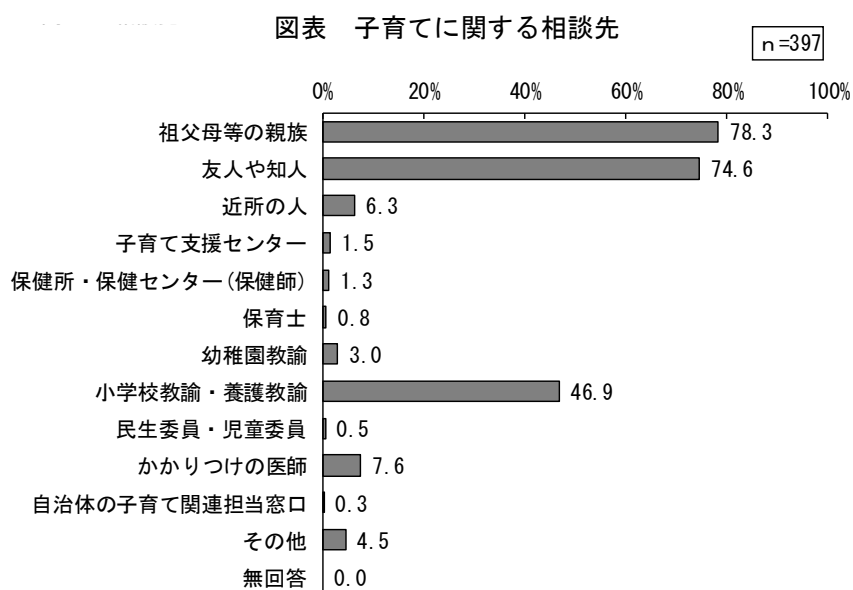
	回答数	構成比
1 いる/ある	397	93.0%
2 いない/ない	22	5.2%
無回答	8	1.9%

7. 子育てに関する相談先

《前問で「1. いる/ある」に○をつけた方にかがいます。》

問 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 前問で子育てを相談できる人（場所）が「いる/ある」と回答した方（n=397）のうち子育てに関する相談先については、「祖父母等の親族」が78.3%と最も多くなっています。次いで「友人や知人」が74.6%、「小学校教諭・養護教諭」が46.9%となっています。



(n=397)

	回答数	構成比
1 祖父母等の親族	311	78.3%
2 友人や知人	296	74.6%
3 近所の人	25	6.3%
4 子育て支援センター	6	1.5%
5 保健所・保健センター（保健師）	5	1.3%
6 保育士	3	0.8%
7 幼稚園教諭	12	3.0%
8 小学校教諭・養護教諭	186	46.9%
9 民生委員・児童委員	2	0.5%
10 かかりつけの医師	30	7.6%
11 自治体の子育て関連担当窓口	1	0.3%
12 その他	18	4.5%
無回答	0	0.0%

○ 子育てに関する相談先を地区別、学年別にみると、全体の回答と同様に「祖父母等の親族」、「友人や知人」、「小学校教諭・養護教諭」が上位に挙がっています。

図表 子育てに関する相談先（地区別・学年別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
築館 (n=72)	友人や知人 80.6%	祖父母等の親族 77.8%	小学校教諭・養護教諭 48.6%
若柳 (n=72)	祖父母等の親族 86.1%	友人や知人 76.4%	小学校教諭・養護教諭 44.4%
栗駒 (n=59)	祖父母等の親族 76.3%	友人や知人 71.2%	小学校教諭・養護教諭 39.0%
高清水 (n=29)	祖父母等の親族 友人や知人 69.0%	小学校教諭・養護教諭 27.6%	かかりつけの医師 6.9%
一迫 (n=35)	友人や知人 85.7%	祖父母等の親族 80.0%	小学校教諭・養護教諭 68.6%
瀬峰 (n=27)	友人や知人 77.8%	祖父母等の親族 70.4%	小学校教諭・養護教諭 40.7%
鶯沢 (n=8)	友人や知人 100.0%	祖父母等の親族 小学校教諭・養護教諭 50.0%	かかりつけの医師 25.0%
金成 (n=42)	友人や知人 73.8%	祖父母等の親族 69.0%	小学校教諭・養護教諭 52.4%
志波姫 (n=48)	祖父母等の親族 89.6%	友人や知人 60.4%	小学校教諭・養護教諭 45.8%
花山 (n=4)	祖父母等の親族 小学校教諭・養護教諭 100.0%	かかりつけの医師 75.05%	友人や知人 50.0%
低学年 (n=203)	祖父母等の親族 79.3%	友人や知人 74.4%	小学校教諭・養護教諭 48.3%
高学年 (n=187)	祖父母等の親族 77.0%	友人や知人 75.4%	小学校教諭・養護教諭 44.9%
その他 (n=6)	祖父母等の親族 83.3%	友人や知人 66.7%	小学校教諭・養護教諭 50.0%

Ⅲ-4 保護者の方の就労状況について

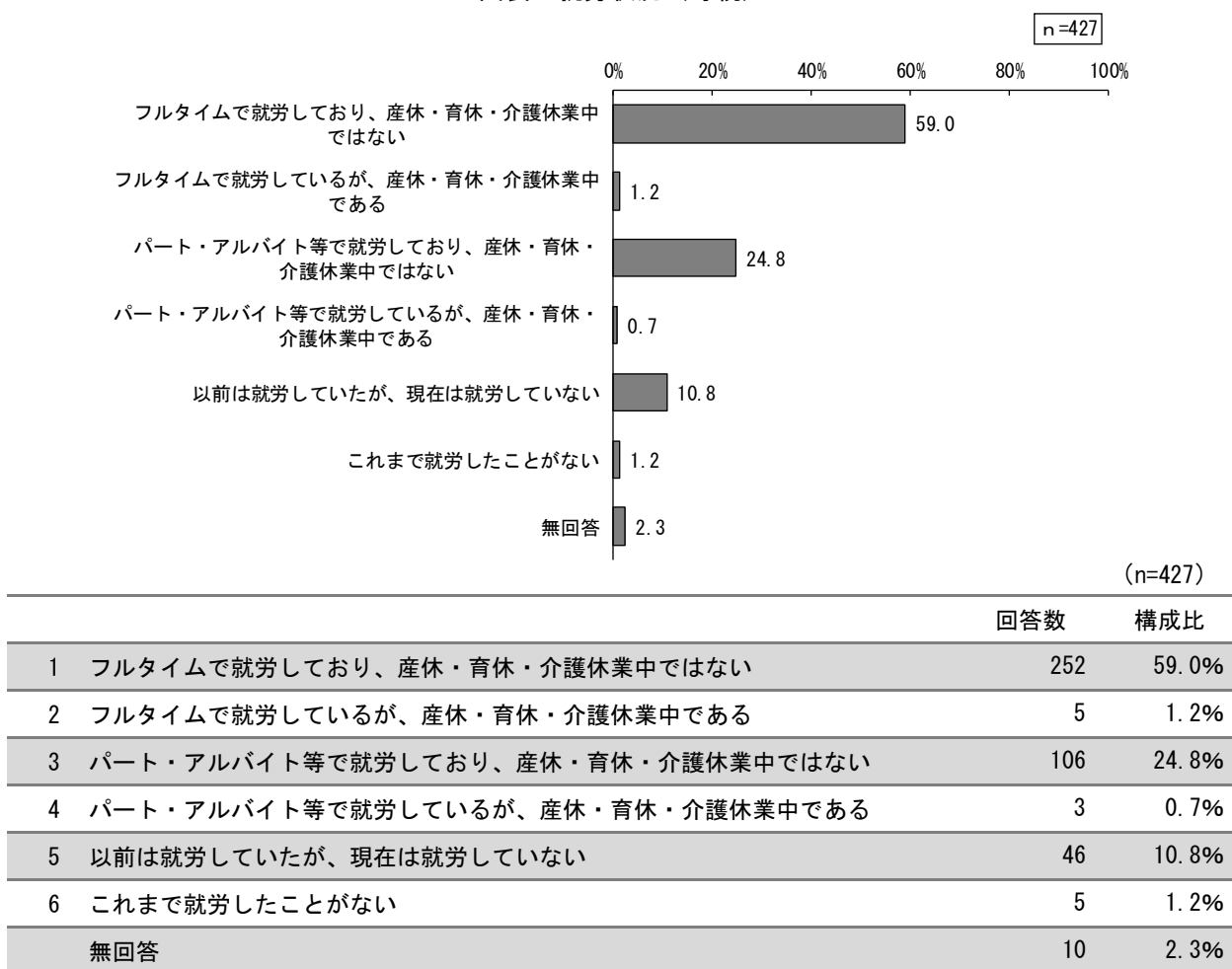
1. お子さんの保護者の現在の就労状況

問 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親の就労状況

- 母親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が59.0%と最も多くなっています。次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が24.8%「以前は就労していたが、現在は就労していない」が10.8%となっています。

図表 就労状況（母親）



- 母親の就労状況を地区別にみると、全体の回答と同様に「フルタイムで就労しており、休業中ではない」が最上位の地区が多い中、瀬峰では「パート・アルバイト等で就労しており、休業中ではない」が最上位に挙がっています。
- また、母親の就労状況を学年別にみると、学年が上がるとともに「就労している（フルタイム、パート・アルバイト等）」方の割合が増加傾向にあります。

図表 母親の就労状況（地区別・学年別）

	フルタイムで 就労しており、 休業中ではない	フルタイムで 就労しているが、 休業中である	パート・ アルバイト等で 就労しており、 休業中ではない	パート・ アルバイト等で 就労しているが、 休業中である	以前は就労して いたが、現在は 就労していない	これまで就労 したことがない
築館 (n=79)	57.0%	1.3%	24.1%	0.0%	8.9%	3.8%
若柳 (n=76)	61.8%	0.0%	23.7%	1.3%	11.8%	0.0%
栗駒 (n=68)	58.8%	0.0%	26.5%	0.0%	8.8%	2.9%
高清水 (n=29)	72.4%	0.0%	20.7%	0.0%	6.9%	0.0%
一迫 (n=37)	78.4%	2.7%	8.1%	0.0%	10.8%	0.0%
瀬峰 (n=30)	23.3%	3.3%	56.7%	0.0%	16.7%	0.0%
鶯沢 (n=9)	44.4%	0.0%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%
金成 (n=44)	50.0%	2.3%	34.1%	0.0%	11.4%	0.0%
志波姫 (n=49)	69.4%	2.0%	14.3%	2.0%	10.2%	0.0%
花山 (n=5)	40.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%
低学年 (n=219)	55.3%	1.4%	24.2%	1.4%	15.1%	1.4%
高学年 (n=200)	62.0%	1.0%	26.5%	0.0%	6.0%	1.0%
その他 (n=6)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

《(1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。》

問 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

○ 前問で母親が「就労している」と回答した方(n=366)のうち、週当たりの就労日数の平均は5.07日、1日当たりの就労時間の平均は7.54時間となっています。

図表 1 週当たり(母親)

(n=366)

(単位:日)	
平均日数	5.07日
最大	7日
最小	3日

図表 1日当たり(母親)

(n=366)

(単位:時間)	
平均時間	7.54時間
最大	18時間
最小	1時間

《(1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。》

問 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

○ 前問で母親が「就労している」と回答した方(n=366)の出発時刻、帰宅時刻の平均から、8時に出発、18時に帰宅しているとみられます。

図表 出発時刻(母親)

(n=366)

(単位:時刻)	
平均出発時刻	8:05
最大	22:00
最小	2:00

図表 帰宅時刻(母親)

(n=366)

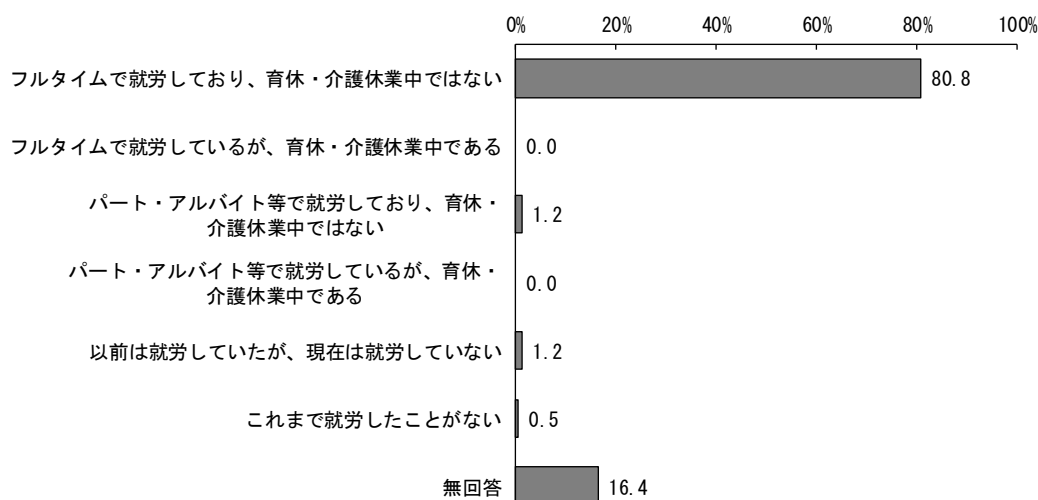
(単位:時刻)	
平均帰宅時刻	17:58
最大	24:00
最小	11:00

(2) 父親の就労状況

- 父親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が80.8%と最も多くなっています。

図表 就労状況（父親）

n=427



(n=427)

	回答数	構成比
1 フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	345	80.8%
2 フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0	0.0%
3 パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	5	1.2%
4 パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0	0.0%
5 以前は就労していたが、現在は就労していない	5	1.2%
6 これまで就労したことがない	2	0.5%
無回答	70	16.4%

《(2) で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。》

問 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

- 前問で父親が「就労している」と回答した方(n=374)のうち、週当たりの就労日数の平均は5.43日、1日当たりの就労時間の平均は9.22時間となっています。

図表 1 週当たり（父親）

(n=350)

	(単位: 日)
平均日数	5.43日
最大	7日
最小	1日

図表 1日当たり（父親）

(n=350)

		(単位：時間)
平均時間		9.22時間
最大		18時間
最小		1時間

《(2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。》

問 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

- 前問で父親が「就労している」と回答した方 (n=350) の出発時刻、帰宅時刻の平均から、主に7時~7時30分に出発、19時30分~20時に帰宅しているとみられます。

図表 出発時刻（父親）

(n=350)

		(単位：時刻)
平均出発時刻		7:29
最大		22:00
最小		2:00

図表 帰宅時刻（父親）

(n=350)

		(単位：時刻)
平均帰宅時刻		19:38
最大		24:00
最小		15:00

2. フルタイムへ転換希望

《前問の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。》

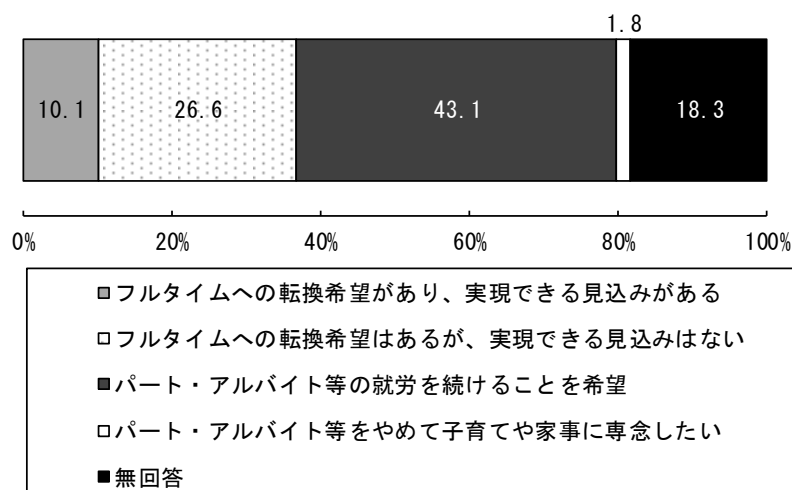
問 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- 前問で母親が「パート・アルバイト等で就労している」と回答した方 (n=109) のうち、母親のフルタイムへ転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が43.1%と最も多くなっています。次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が26.6%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が10.1%となっています。

図表 フルタイムへ転換希望 (母親)

n=109



(n=109)

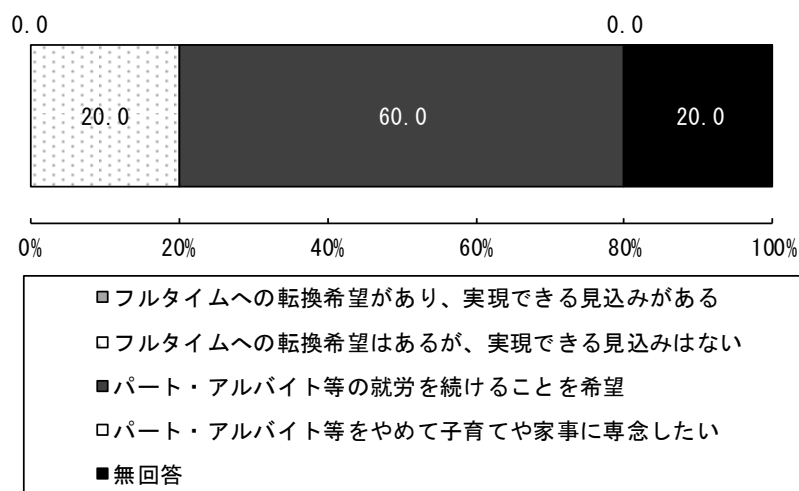
	回答数	構成比
1 フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	11	10.1%
2 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	29	26.6%
3 パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	47	43.1%
4 パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	2	1.8%
無回答	20	18.3%

(2) 父親

- 前問で父親が「パート・アルバイト等で就労している」と回答した方 (n=5) のうち、父親のフルタイムへ転換希望について、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 60.0%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 20.0%となっています。

図表 フルタイムへ転換希望（父親）

n=5



(n=5)

	回答数	構成比
1 フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	0	0.0%
2 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	1	20.0%
3 パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	3	60.0%
4 パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0%
無回答	1	20.0%

3. 就労意向

《前問の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。》

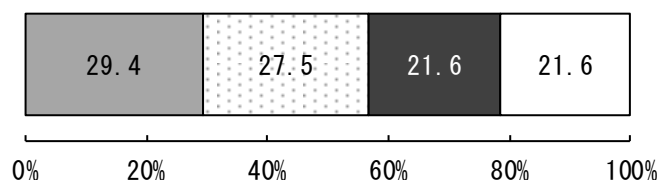
問 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください

(1) 母親

- 前問で母親が「現在は就労していない(したことがない)」と回答した方(n=51)のうち、母親の就労意向については、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が29.4%、「1年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい」が27.5%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が21.6%となっています。
- また、「1年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい」と回答した方の就労したい時期となる一番下の子ども年齢については、平均で8.57歳となっています。
- なお、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方(n=11)のうち、希望する就労形態について「パート・アルバイト等」が63.6%、「フルタイム」が36.4%となっています。

図表 就労希望(母親)

n=51



- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答

(n=51)

	回答数	構成比
1 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	15	29.4%
2 1年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい	14	27.5%
3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	11	21.6%
無回答	11	21.6%

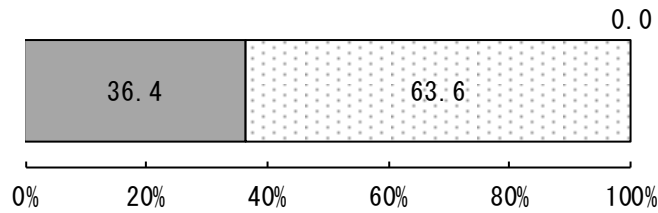
図表 一番下の子どもが●歳になったころに就労したい（母親）

(n=14)

		(単位：歳)
平均年齢		8.57 歳
最 大		18 歳
最 小		1 歳

図表 希望する就労形態（母親）

n=11



- ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
- イ. パートタイム、アルバイト等 (「ア」以外)
- 無回答

(n=11)

3. (すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい)		回答数	構成比
ア	フルタイム	4	36.4%
イ	パート・アルバイト等 (「ア」以外)	7	63.6%
	無回答	0	0.0%

図表 (イ. の場合) 1週当たり (母親)

(n=7)

		(単位：日)
平均日数		4.29 日
最 大		5 日
最 小		3 日

図表 (イ. の場合) 1日当たり (母親)

(n=7)

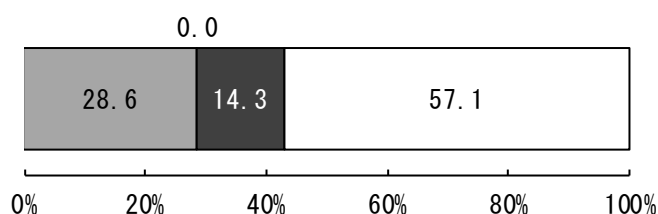
		(単位：時間)
平均時間		5.43 時間
最 大		7 時間
最 小		3 時間

(2) 父親

- 前問で父親が「現在は就労していない（したことがない）」と回答した方（n=7）のうち、父親の就労意向については、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 28.6%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 14.3%となっています。

図表 就労希望（父親）

n=7

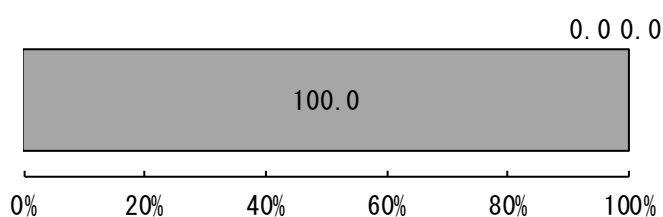


- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 1年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答

	回答数	構成比
1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	2	28.6%
2 1年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい	0	0.0%
3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	1	14.3%
無回答	4	57.1%

図表 希望する就労形態（父親）

n=1



- ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
- イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
- 無回答

	回答数	構成比
3. (すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい)		
ア フルタイム	1	100.0%
イ パート・アルバイト等(「ア」以外)	0	0.0%
無回答	0	0.0%

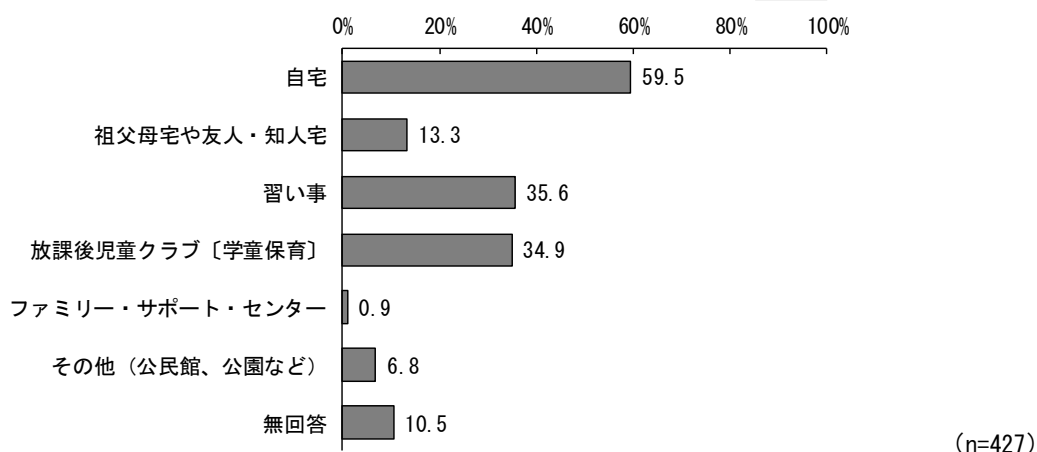
Ⅲ-5 お子さんの放課後の過ごし方について

1. 放課後の時間を過ごさせたい場所（低学年）

問 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。
また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

- 低学年のうちに放課後の時間を過ごさせたい場所については、「自宅」が59.5%と最も多くなっています。次いで「習い事」が35.6%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が34.9%となっています。
- なお、放課後児童クラブの平均利用希望日数は、4.44日、下校時から滞在している時刻の平均から18時頃まで利用したい意向がみられます。

図表 放課後の時間を過ごさせたい場所（低学年） n=427



	回答数	構成比
1 自宅	254	59.5%
2 祖父母宅や友人・知人宅	57	13.3%
3 習い事	152	35.6%
4 放課後児童クラブ〔学童保育〕	149	34.9%
5 ファミリー・サポート・センター	4	0.9%
6 その他（公民館、公園など）	29	6.8%
無回答	45	10.5%

図表 放課後の時間を過ごさせたい場所別の希望する週当たり日数（自宅：低学年）

(n=254)

(単位：日)

平均日数	4.37日
最大	7日
最小	1日

図表 放課後の時間を過ごさせたい場所別の希望する週当たり日数
(祖父母宅や友人・知人宅：低学年)

(n=57)

		(単位：日)
平均日数		3.11日
最大		7日
最小		1日

図表 放課後の時間を過ごさせたい場所別の希望する週当たり日数 (習い事：低学年)

(n=152)

		(単位：日)
平均日数		1.77日
最大		5日
最小		1日

図表 放課後の時間を過ごさせたい場所別の希望する週当たり日数 (放課後児童クラブ：低学年)

(n=149)

		(単位：日)
平均日数		4.44日
最大		6日
最小		1日

図表 放課後児童クラブに滞在している時刻 (下校時から：低学年)

(n=149)

		(単位：時刻)
平均滞在時刻		17:51
最大		20:00
最小		15:00

図表 放課後の時間を過ごさせたい場所別の希望する週当たり日数
(ファミリー・サポート・センター：低学年)

(n=4)

		(単位：日)
平均日数		4.25日
最大		5日
最小		2日

図表 放課後の時間を過ごさせたい場所別の希望する週当たり日数 (その他：低学年)

(n=29)

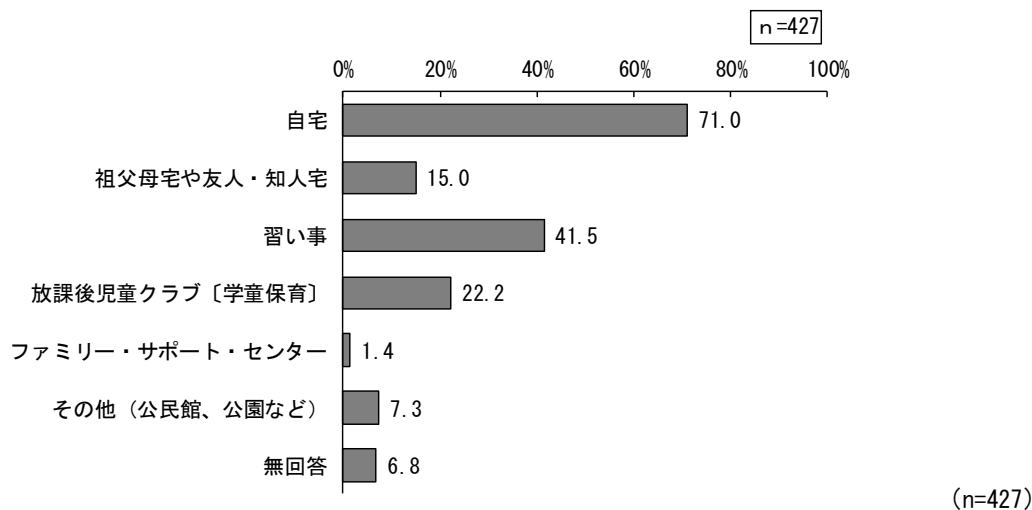
		(単位：日)
平均日数		1.96日
最大		5日
最小		1日

2. 放課後の時間を過ごさせたい場所（高学年）

問 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。
また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

- 高学年のうちに放課後の時間を過ごさせたい場所については、「自宅」が71.0%と最も多くなっています。次いで「習い事」が41.5%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が22.2%となっています。
- なお、放課後児童クラブの平均利用希望日数は、4.36日、下校時から滞在している時刻の平均から18時頃まで利用したい意向がみられます。

図表 放課後の時間を過ごさせたい場所（高学年）



	回答数	構成比
1 自宅	303	71.0%
2 祖父母宅や友人・知人宅	64	15.0%
3 習い事	177	41.5%
4 放課後児童クラブ〔学童保育〕	95	22.2%
5 ファミリー・サポート・センター	6	1.4%
6 その他（公民館、公園など）	31	7.3%
無回答	29	6.8%

図表 放課後の時間を過ごさせたい場所別の希望する週当たり日数（自宅：高学年）

(n=303)

	(単位：日)
平均日数	4.39日
最大	7日
最小	1日

図表 放課後の時間を過ごさせたい場所別の希望する週当たり日数
(祖父母宅や友人・知人宅：高学年)

(n=64)

		(単位：日)
平均日数		2.89日
最大		7日
最小		1日

図表 放課後の時間を過ごさせたい場所別の希望する週当たり日数 (習い事：高学年)

(n=177)

		(単位：日)
平均日数		2.02日
最大		7日
最小		1日

図表 放課後の時間を過ごさせたい場所別の希望する週当たり日数 (放課後児童クラブ：高学年)

(n=95)

		(単位：日)
平均日数		4.36日
最大		6日
最小		1日

図表 放課後児童クラブに滞在している時刻 (下校時から：高学年)

(n=95)

		(単位：時刻)
平均滞在時刻		17:58まで
最大		19:00まで
最小		15:00まで

図表 放課後の時間を過ごさせたい場所別の希望する週当たり日数
(ファミリー・サポート・センター：高学年)

(n=6)

		(単位：日)
平均日数		3.33日
最大		5日
最小		1日

図表 放課後の時間を過ごさせたい場所別の希望する週当たり日数 (その他：高学年)

(n=31)

		(単位：日)
平均日数		1.90日
最大		5日
最小		1日

3. 土曜・日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望

《前問で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけた方にうかがいます。》

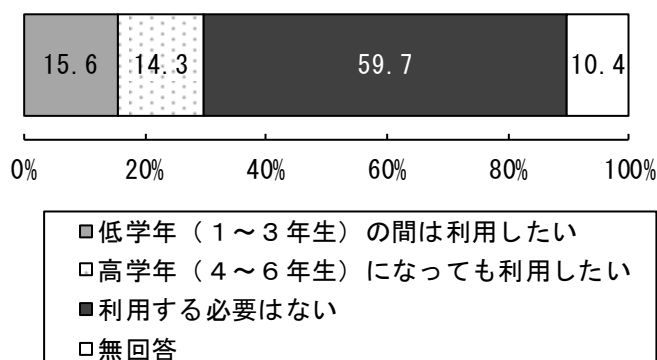
問 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1) (2) それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内にご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 土曜日

- 前問で放課後に過ごさせたい場所で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」と回答した方(n=154)のうち、土曜日の利用希望については、「利用する必要はない」、「低学年の間は利用したい」が15.6%、「高学年になっても利用したい」が14.3%となっています。
- また、「利用したい」回答者(n=46)の時間帯については、開始時刻の平均が8:30、終了時刻の平均が17:39となっています。

図表 利用希望(土曜日)

n=154



(n=154)

	回答数	構成比
1 低学年(1~3年生)の間は利用したい	24	15.6%
2 高学年(4~6年生)になっても利用したい	22	14.3%
3 利用する必要はない	92	59.7%
無回答	16	10.4%

図表 利用したい時間帯(開始時刻:土曜日)

(n=46)

(単位:時刻)

平均開始時刻	8:29
最大	16:00
最小	7:00

図表 利用したい時間帯（終了時刻：土曜日）

(n=46)

(単位：時刻)	
平均終了時刻	17：39
最大	19：00
最小	14：00

図表 土曜日の利用希望（地区別）

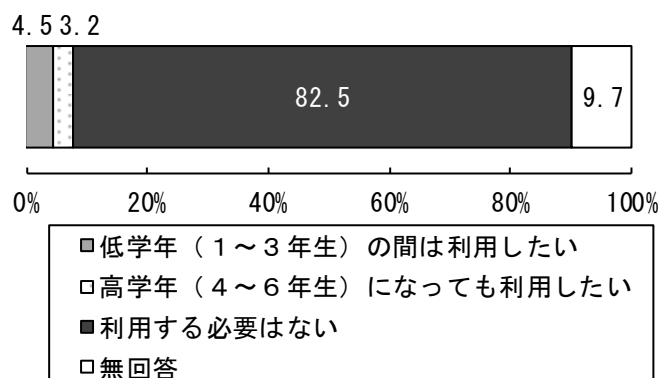
	低学年の間は 利用したい	高学年になっ ても利用したい	利用する必要は ない
築館 (n=32)	18.8%	9.4%	59.4%
若柳 (n=25)	16.0%	8.0%	56.0%
栗駒 (n=30)	23.3%	13.3%	53.3%
高清水 (n=10)	0.0%	30.0%	70.0%
一迫 (n=16)	18.8%	6.3%	62.5%
瀬峰 (n=3)	0.0%	0.0%	100.0%
鶯沢 (n=5)	20.0%	20.0%	60.0%
金成 (n=13)	15.4%	30.8%	46.2%
志波姫 (n=18)	5.6%	22.2%	66.7%
花山 (n=2)	0.0%	0.0%	100.0%

(2) 日曜日

- 前問で放課後に過ごさせたい場所で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」と回答した方 (n=154) のうち、日曜日の利用希望については、「利用する必要はない」が 82.5%、「低学年の間は利用したい」が 4.5%、「高学年になっても利用したい」が 3.2%となっています。
- また「利用したい」回答者 (n=12) の時間帯について、開始時刻、終了時刻の平均から、主に 8 時～18 時頃まで利用したい意向がみられます。

図表 利用希望（日曜日）

n=154



(n=154)		
	回答数	構成比
1 低学年（1～3年生）の間は利用したい	7	4.5%
2 高学年（4～6年生）になっても利用したい	5	3.2%
3 利用する必要はない	127	82.5%
無回答	15	9.7%

図表 利用したい時間帯（開始時刻：日曜日）

(n=12)	
(単位：時刻)	
平均開始時刻	7：55
最大	9：00
最小	7：00

図表 利用したい時間帯（終了時刻：日曜日）

(n=12)	
(単位：時刻)	
平均終了時刻	17：44
最大	19：00
最小	16：00

図表 日曜日の利用希望（地区別）

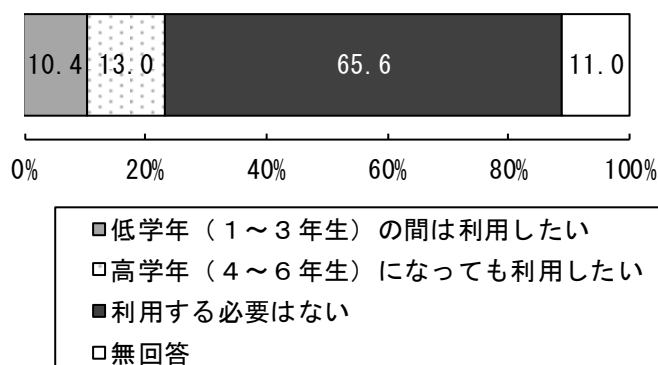
	低学年の間は 利用したい	高学年になっ ても利用したい	利用する必要は ない
築館 (n=32)	3.1%	3.1%	84.4%
若柳 (n=25)	8.0%	4.0%	72.0%
栗駒 (n=30)	6.7%	0.0%	80.0%
高清水 (n=10)	0.0%	0.0%	100.0%
一迫 (n=16)	6.3%	0.0%	87.5%
瀬峰 (n=3)	0.0%	0.0%	100.0%
鶯沢 (n=5)	0.0%	20.0%	80.0%
金成 (n=13)	7.7%	7.7%	76.9%
志波姫 (n=18)	0.0%	5.6%	83.3%
花山 (n=2)	0.0%	0.0%	100.0%

(3) 祝日

- 前問で放課後に過ごさせたい場所で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」と回答した方(n=154)のうち、祝日の利用希望については、「利用する必要はない」が65.6%、「高学年になっても利用したい」が13.0%、「低学年の間は利用したい」が10.4%となっています。
- また「利用したい」回答者(n=36)の時間帯については、開始時刻、終了時刻の平均から、主に8時～18時頃まで利用したい意向がみられます。

図表 利用希望（祝日）

n=154



(n=154)

	回答数	構成比
1 低学年（1～3年生）の間は利用したい	16	10.4%
2 高学年（4～6年生）になっても利用したい	20	13.0%
3 利用する必要はない	101	65.6%
無回答	17	11.0%

図表 利用したい時間帯（開始時刻：祝日）

(n=36)

(単位：時刻)

平均開始時刻	8 : 02
最大	9 : 00
最小	7 : 00

図表 利用したい時間帯（終了時刻：祝日）

(n=36)

(単位：時刻)

平均終了時刻	17 : 56
最大	19 : 00
最小	16 : 00

図表 祝日の利用希望（地区別）

	低学年の間は 利用したい	高学年になっても 利用したい	利用する必要は ない
築館 (n=32)	15.6%	12.5%	56.3%
若柳 (n=25)	12.0%	16.0%	52.0%
栗駒 (n=30)	13.3%	6.7%	70.0%
高清水 (n=10)	0.0%	10.0%	90.0%
一迫 (n=16)	6.3%	6.3%	81.3%
瀬峰 (n=3)	0.0%	0.0%	100.0%
鶯沢 (n=5)	0.0%	20.0%	80.0%
金成 (n=13)	15.4%	15.4%	53.8%
志波姫 (n=18)	5.6%	27.8%	61.1%
花山 (n=2)	0.0%	0.0%	100.0%

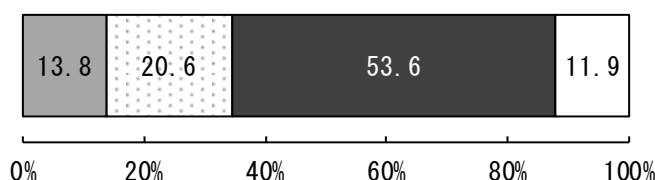
4. 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望

問 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内にご記入ください(数字は一枠に一字)。

- 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望について、「利用する必要はない」が53.6%、「高学年になっても利用したい」が20.6%、「低学年の間は利用したい」が13.8となっています。
- また「利用したい」回答者(n=147)の時間帯については、開始時刻、終了時刻の平均から、主に8時～17時30分頃まで利用したい意向がみられます。

図表 利用希望

n=427



低学年(1~3年生)の間は利用したい
 高学年(4~6年生)になっても利用したい
 利用する必要はない
 無回答

(n=427)

	回答数	構成比
1 低学年(1~3年生)の間は利用したい	59	13.8%
2 高学年(4~6年生)になっても利用したい	88	20.6%
3 利用する必要はない	229	53.6%
無回答	59	13.8%

図表 利用したい時間帯(開始時刻)

(n=147)

(単位:時刻)

平均開始時刻	8:10
最大	16:00
最小	7:00

図表 利用したい時間帯(終了時刻)

(n=147)

(単位:時刻)

平均終了時刻	17:34
最大	19:00
最小	12:00

図表 長期休暇期間中の利用希望（地区別）

	低学年の間は 利用したい	高学年になっても 利用したい	利用する必要は ない
築館 (n=79)	13.9%	20.3%	54.4%
若柳 (n=76)	14.5%	18.4%	53.9%
栗駒 (n=68)	19.1%	19.1%	51.5%
高清水 (n=29)	13.8%	24.1%	48.3%
一迫 (n=37)	13.5%	21.6%	48.6%
瀬峰 (n=30)	3.3%	6.7%	83.3%
鶯沢 (n=9)	11.1%	44.4%	44.4%
金成 (n=44)	11.4%	20.5%	54.5%
志波姫 (n=49)	16.3%	28.6%	42.9%
花山 (n=5)	0.0%	20.0%	80.0%

5. 地域における子育ての環境や支援への満足度

問 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

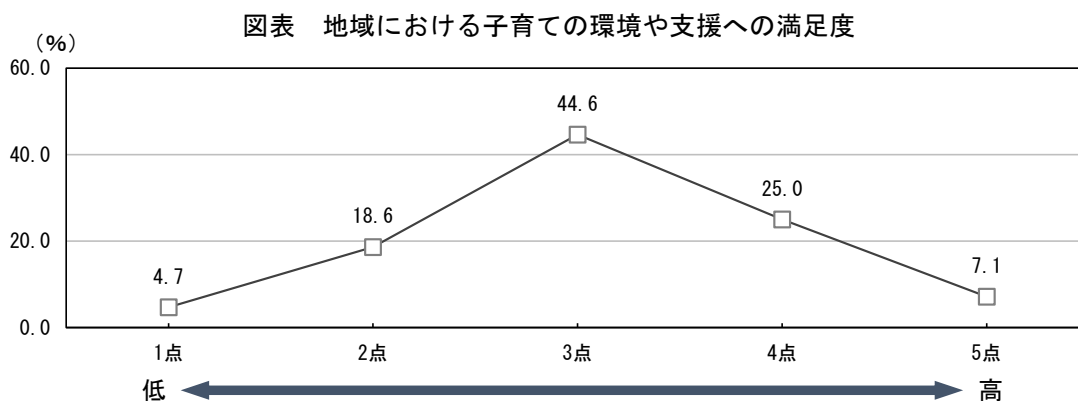
- 地域における子育ての環境や支援への満足度については、5段階で3.1点となっています。
- 点数の分布状況では、「3点」が44.6%と最も多くなっています。次いで「4点」が25.0%、「2点」が18.6%となっています。

図表 地域における子育ての環境や支援への満足度

(n=427)

(単位：点)

満足度 (5段階)	3.1点
-----------	------



(n=427)

	構成比
1 満足度“1”	4.7%
2 満足度“2”	18.6%
3 満足度“3”	44.6%
4 満足度“4”	25.0%
5 満足度“5”	7.1%